

保 健 衛 生 年 報

平 成 2 9 年 度

岡 山 市 保 健 福 祉 局

は じ め に

この保健衛生年報は、本市の保健衛生、生活衛生に関する事業をご理解いただくため、平成28年度の事業実績等の概要をまとめたものです。

岡山市では、平成28年度から岡山市第六次総合計画長期構想の中心となる基本目標を「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」としており、「都市の躍動感を創出する」「『住みやすさ』に磨きをかける」「市民と行政がともに変えていく」の実現に向けた取り組みを進めています。

平成28年度は、4月に熊本地震が発生し、熊本から大分にいたる広い範囲に被害が生じました。本市でも地震の発生直後から保健師チームを派遣し、避難所の衛生指導や、被災者の健康アセスメントを行うなど、住民の生活や行政機能の回復の支援をしました。そうした経験や今後の防災対策を防災プロセスとしてまとめた岡山市保健医療救護計画の策定を進めています。

母子保健の分野では、妊娠中から安心して出産・育児が迎えられるよう、妊娠期・産後に特化した相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」を開設しました。がん検診では、胃内視鏡検査や、ワンコインでの乳がん検診が受診できるようになりました。平成29年度からの新総合事業に向けて、全中学校区における地域包括ケアシステムの構築に向けた協議体づくりを推進しました。

国の動向としては、平成28年7月の相模原市障害者施設殺傷事件を受けて、措置入院患者の支援を強化するため、精神保健福祉法の運用に議論が高まりました。

本書を今後の地域保健の推進と本市の保健衛生の向上のため、広く皆様に役立てていただければ幸いです。

平成29年7月

保健福祉局審議監（保健医療担当） 松岡 宏明

目 次

第1章 岡山市の概要	
1 地 勢 等	3
2 人 口	4
(1) 人口推移、構成等	4
3 機 構	6
4 事 務 分 掌	7
5 人 員 配 置	12
(1) 職種別人員配置	12
(2) 保健所における各種検査員の職種	13
6 平成29年度予算	14
7 関係施設	15
第2章 総合健康推進事業	
1 健康市民おかやま21（第2次）	19
2 健康危機管理	20
第3章 保健衛生・統計	
第1節 統 計	23
1 保健の統計調査の概要	23
2 人口動態	24
(1) 人口動態年表	24
(2) 1日あたりの人口動態	26
(3) 出生率・死亡率の年次推移	26
3 出生統計	27
(1) 出生数、性別／体重別	27
(2) 出生数（率）、出生順位別／母の年齢別	27
(3) 出生数、母の年齢／体重別	28
(4) 低体重児の出生数、妊娠週数別／体重別	28
(5) 合計特殊出生率	28
4 死亡統計	29
(1) 年齢別死亡数	29
(2) 死因別死亡数	30
(3) 死亡数、主要死因別／保健センター別	32
(4) 主要死因の年次別・中学校区別死亡数	34
(5) 年次主要死因	36
(6) 標準化死亡比（SMR）（死因・年齢階級、性別）	37
(7) 乳児死亡数、乳児死因数	37
(8) 死亡場所	38
5 死産統計	41
(1) 自然－人工別死産の年次推移	41
(2) 死産数（率）、自然－人工別／母の年齢別	41

(3) 死産数（率）、自然－人工別／妊娠週数別	4 1
第2節 救急医療体制	4 2
1 初期救急医療体制	4 2
(1) 休日夜間急患診療所運営事業	4 2
(2) 在宅当番医制事業	4 3
(3) 専門科医在宅当番医制事業	4 4
2 二次救急医療体制	4 5
(1) 病院群輪番制病院運営事業	4 5
(2) 協力病院当番制病院運営事業	4 5
3 三次救急医療体制	4 6
4 精神科救急医療体制	4 6
(1) 精神科救急情報センター事業	4 6
(2) 精神科病院群輪番体制整備事業	4 6
(3) 精神科救急常時対応型医療施設事業	4 6
5 災害医療救護体制	4 6
第4章 医 療	
第1節 医 務	4 9
1 医療施設の状況	4 9
(1) 医療施設数	4 9
(2) 病院・一般診療所の病床種別ごとの施設数	4 9
(3) 病院・一般診療所・歯科診療所の病床数	4 9
(4) 診療所・助産所数	5 0
(5) 医療関係従事者数	5 0
2 医療関係事務	5 1
(1) 医務関係許可件数	5 1
(2) 免許等各種受付・交付	5 1
3 医療相談	5 1
4 立入検査等の状況	5 2
(1) 医療法第25条に基づく立入検査	5 2
(2) 医療法第27条に基づく立入検査	5 2
(3) 臨床検査技師等に関する法律第20条の5に基づく立入検査	5 2
第5章 保 健 事 業	
第1節 母子保健事業	5 5
1 相談・普及啓発事業	5 6
(1) 親子（母子健康）手帳の交付	5 6
(2) 健康相談	5 6
(3) 健康教育	5 7
(4) 訪問指導事業	5 8
(5) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）	5 9
(6) 養育支援訪問事業	5 9
(7) ハイリスク妊産婦連絡票	5 9

(8) 低出生体重児・ハイリスク新生児訪問連絡票	59
2 検査、健康診査	60
(1) 妊婦一般健康診査・妊婦超音波検査・妊婦血液検査・妊婦クラミジア抗原検査 ・B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査	60
(2) 乳児一般健康診査	60
(3) B型肝炎母子感染防止事業	61
(4) 先天性代謝異常等検査	61
(5) 新生児聴覚検査	61
(6) 3～5か月児健康診査	62
(7) 7・8か月児健康診査	62
(8) 1歳6か月児健康診査	63
(9) 三歳児健康診査	64
3 要経過観察乳幼児対策事業	65
4 医療等援護	66
(1) 未熟児養育医療の給付	66
(2) 自立支援医療（育成医療）の給付	66
(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業	66
5 おやこクラブの育成	67
第2節 歯科保健事業	68
1 母子歯科保健事業	69
2 成人・高齢者歯科保健事業	69
第3節 健康増進事業	70
I 健康増進事業	70
1 年度別健康増進事業の実施状況	71
2 健康教育	72
3 健康相談	72
4 健康診査	73
(1) 健康診査年度別受診者数	73
(2) 健康診査受診結果	74
5 訪問指導	82
6 元気の出る会	82
II 健康増進栄養事業	83
1 栄養改善事業	83
(1) 栄養運動指導実施状況	83
(2) 栄養相談実施状況	83
(3) 特定給食施設指導	84
(4) 特別用途食品表示許可	85
(5) 食品表示基準（栄養成分表示等）及び誇大表示に関する相談・指導及び 該当食品の収去	86
(6) 「栄養成分表示の店」登録事業（県への協力事業）	86
2 市民の健康づくり推進事業	86

(1) 食生活改善事業実施状況	86
(2) 栄養教室開催状況	86
3 健康づくりのための運動普及推進事業	87
(1) 運動普及事業実施状況	87
4 たばこ対策事業	87
(1) 「禁煙・完全分煙実施施設」認定事業（県への協力事業）	87
III 「健康市民おかやま21」関連事業	88
1 「健康市民おかやま21」推進会議	88
2 「健康市民おかやま21」普及啓発部会	88
3 「健康市民おかやま21」活動評価部会	88
4 職域・保険者連絡会	88
5 地域別推進会議	88
6 「健康市民おかやま21」推進宣言施設等登録事業	89
7 平成28年度に実施したその他の主な事業	89
IV 実習生・歯科医師臨床研修指導	90
1 実習生指導	90
2 歯科医師臨床研修指導	90
第4節 精神保健事業	91
I 保健所	91
1 精神障害者の医療	91
(1) 措置入院	91
(2) 医療保護入院	91
2 障害者総合支援法及び精神障害者保健福祉手帳に係る事務	92
(1) 自立支援医療費（精神通院）	92
(2) 自立支援医療費（精神通院）支払い事務	92
(3) 自立支援給付（障害福祉サービス）・地域生活支援事業給付	92
(4) 精神障害者保健福祉手帳の交付	92
3 地域精神保健活動	93
(1) 普及啓発	93
(2) 相談・支援事業	93
(3) 精神障害者地域交流事業	94
(4) 精神障害者社会参加地域啓発事業	94
(5) 地域精神保健福祉連絡会	94
(6) ケース検討会	94
4 社会復帰対策	94
(1) 当事者会、家族会活動の支援	94
(2) 精神障害者ピアサポーター活動支援事業	95
(3) 地域活動支援センターⅠ・Ⅱ・Ⅲ型事業所等への助成	95
II こころの健康センター	96
1 精神保健福祉相談・支援	96
(1) 専門相談	96

(2) こころの電話相談	9 6
(3) 来所相談	9 6
(4) 訪問	9 6
(5) 診察	9 6
2 地域での支援体制の基盤づくり	9 7
(1) 地域関係機関への技術援助	9 7
(2) 人材育成	9 7
(3) 精神障害者地域支援システム整備事業	9 7
(4) こころの健康早期支援事業	9 8
(5) 児童思春期精神保健対策事業	9 9
(6) ひきこもり対策推進事業	1 0 0
(7) 依存症対策推進事業	1 0 0
(8) 自殺予防情報センター事業	1 0 1
3 こころの健康についての普及啓発	1 0 2
4 自立支援医療費(精神通院医療)の支給認定、発行	1 0 2
5 精神障害者保健福祉手帳の判定、発行	1 0 2
6 精神医療審査会の運営	1 0 2
(1) 精神医療審査会審査件数	1 0 3
(2) 専用電話回線による入院患者からの相談延件数	1 0 3
III その他	1 0 3
1 精神科救急医療体制整備事業	1 0 3
(1) 精神科救急情報センター事業	1 0 3
(2) 精神科病院群輪番体制整備事業	1 0 4
(3) 精神科救急常時対応型医療施設事業	1 0 4
2 精神科病院に対する実地指導及び実地審査	1 0 5
3 岡山市認知症疾患医療センター	1 0 5
4 岡山市障害者生活支援センター“こらーれ”	1 0 5
5 岡山市精神保健事業の体系	1 0 6
第5節 特定保健対策事業	1 0 7
1 難病対策事業	1 0 7
(1) 医療費等の助成制度	1 0 7
(2) 地域療養の支援	1 1 0
(3) 福祉施策の推進	1 1 0
(4) 患者会への支援	1 1 1
(5) 小児慢性特定疾病	1 1 1
(6) 心臓病児医療附帯療養費支給人数	1 1 2
2 原子爆弾被爆者対策事業	1 1 2
(1) 被爆者健康手帳交付状況	1 1 2
(2) 被爆者健康診断実施状況	1 1 2
(3) 各種手当の支給状況	1 1 2
第6節 感染症対策事業	1 1 3

1	予防接種事業	1 1 3
2	感染症対策事業	1 1 4
	(1) 感染症予防対策	1 1 4
	(2) 一、二類感染症発生状況	1 1 5
	(3) 三類感染症（5疾病）発生状況	1 1 5
	(4) 病原体検査実施状況	1 1 5
	(5) 四、五類感染症発生状況	1 1 5
3	結核予防事業	1 1 7
	(1) 健康診断	1 1 7
	(2) 患者管理	1 1 8
	(3) 結核医療費	1 1 8
4	エイズ対策事業	1 1 9
	(1) エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座	1 1 9
	(2) エイズ対策研修会	1 1 9
	(3) 世界エイズデーにおける普及啓発活動	1 1 9
	(4) HIV検査普及週間における普及啓発活動	1 2 0
5	特定感染症検査等事業	1 2 0
	(1) 特定感染症検査等事業	1 2 0
	(2) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業	1 2 0
第7節	地域保健活動	1 2 1
1	地区組織育成	1 2 1
	(1) 岡山市愛育委員協議会	1 2 1
	(2) 岡山市栄養改善協議会	1 2 1
2	保健師活動	1 2 1
	(1) 保健師活動状況	1 2 2
	(2) 対象別訪問状況	1 2 2
	(3) 対象別活動状況	1 2 3
3	地域保健推進会議	1 2 3
第6章	生活衛生事業	
第1節	食品衛生事業	1 2 7
1	食品営業施設及び監視指導状況	1 2 7
2	行政処分等状況	1 2 7
3	衛生教育実施状況	1 3 0
4	収去検査状況及びふき取り検査	1 3 1
5	苦情処理の状況	1 3 1
第2節	食肉衛生事業	1 3 2
1	食肉衛生対策	1 3 2
	(1) とちく場の概況	1 3 2
	(2) 食品衛生法に基づく検査	1 3 3
2	食鳥処理衛生対策	1 3 3
	(1) 監視指導の状況	1 3 3

第3節	薬事衛生事業	1 3 4
1	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 関係許可施設数及び監視状況	1 3 4
2	毒物劇物取締法関係登録施設数及び監視状況	1 3 5
3	苦情・相談処理件数	1 3 5
第4節	環境衛生事業	1 3 6
1	環境衛生営業関係業務	1 3 6
(1)	興行場施設数及び監視指導件数	1 3 6
(2)	公衆浴場施設数及び監視指導件数	1 3 6
(3)	旅館業施設数及び監視指導件数	1 3 6
(4)	理容所施設数及び監視指導件数	1 3 6
(5)	美容所施設数及び監視指導件数	1 3 6
(6)	クリーニング所施設数及び監視指導件数	1 3 7
(7)	特定建築物施設数及び監視指導件数	1 3 7
(8)	温泉施設数及び監視指導件数	1 3 7
(9)	遊泳用プール施設数及び監視指導件数	1 3 7
(10)	公衆浴場対策	1 3 7
(11)	衛生教育実施状況	1 3 7
(12)	苦情相談件数	1 3 7
(13)	環境衛生業務関連検査状況	1 3 8
2	水道衛生に関する事業	1 3 8
(1)	専用水道、簡易専用水道、小規模貯水槽水道	1 3 8
3	家庭用品安全対策事業	1 3 9
4	雑草除去事業	1 4 0
第5節	動物衛生事業	1 4 1
1	動物衛生事業	1 4 1
(1)	狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付状況	1 4 1
(2)	犬・ねこの引取等の状況	1 4 1
(3)	犬・ねこに関する相談及び苦情等の状況	1 4 2
(4)	咬傷事故届出件数	1 4 3
(5)	行政指導状況	1 4 3
(6)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく特定動物（危険な動物）の飼養許可状況	1 4 3
(7)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業の登録状況	1 4 3
2	化製場等に関する事業	1 4 4
3	地域猫活動支援事業	1 4 4
第7章	検査事業	
1	食品衛生関係検査	1 4 7
(1)	食品衛生監視指導計画に基づく検査	1 4 7
(2)	食中毒に伴う検査及び食品の苦情に係る検査	1 5 3
2	環境衛生関係検査	1 5 4
(1)	プール水・浴槽水の水質検査及びおしぼりの検査	1 5 4

(2) 家庭用品の検査	154
3 性感染症関係検査	154
4 感染症関係検査	155
5 監視業務に従事する保健所職員の便検査	155
6 精度管理	156
7 調査研究に係る検査	156
(1) ユニカプスラ実態調査	156
(2) ノロウイルス検出キットによる生食用かきの検査の検討	156
(3) レジオネラ検査方法の検討	156
(4) キレックスを用いたPCR用テンプレートの検討	156
第8章 調査研究等	
第1節 調査研究	159
1 平成28年度 調査研究一覧	159
2 平成28年度 事業のまとめ作成一覧	159
3 平成28年度 冊子・パンフレット作成一覧	160
4 平成28年度 保健所主催の研修一覧	161
5 平成28年度 学会発表一覧	162
第2節 その他	163
1 保健所の業務案内	163
2 レディオMOMO	163
第9章 各種協議会等	
1 岡山市保健所運営委員会	167
2 岡山市予防接種健康被害調査委員会	167
3 小児慢性特定疾病審査会	167
4 岡山市感染症診査協議会	167
5 岡山市献血推進協議会	168
6 岡山市休日夜間診療運営協議会	168
7 岡山市精神保健福祉審議会	168
8 岡山市精神医療審査会	168
9 岡山市自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳審査委員会	169
10 岡山市思春期精神保健審議会	169
11 岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議会	169
12 岡山市精神障害者地域支援対策審議会	169
13 岡山市がん対策推進委員会	170
14 岡山市歯と口腔の健康づくり推進協議会	170

第1章 岡山市の概要

- 1 地 勢 等
- 2 人 口
- 3 機 構
- 4 事 務 分 掌
- 5 人 員 配 置
- 6 平成29年度予算
- 7 関 係 施 設

1 地 勢 等

本市は、旭川、吉井川の2大河川により、水資源に恵まれた岡山平野の中心に位置し、南部は地味豊かな沃野、北部には吉備高原につながる山並みがひろがる豊かな自然環境を有している。温暖な瀬戸内海特有の風土により、春秋は快晴の日が多く、冬は厳しい季節風を中国山地がさえぎって積雪をみることはまれであり、夏本土を襲う台風も四国山脈が防壁になって勢力が弱められ影響が比較的少ないなど、非常に恵まれている。

また、古代より吉備文化の発祥地として栄え、市西部には造山古墳をはじめ、今も多くの史跡が残り、中心部にも岡山城や日本三大名園の一つ後樂園等、貴重な文化遺産が数多く存在している。

明治22年の市制施行以来、周辺市町村と合併し市域を広げながら、政治経済はもとより、交通、教育文化、医療などさまざまな都市機能を備えた中心都市として発展してきた。そして、平成6年度に保健所政令市に、平成8年度には中核市に移行し、平成21年4月1日から政令指定都市に移行した。本市の拠点性は一段と高まっており、中四国地域の中心拠点都市として、独自性、創造性を一層発揮していくことが求められる。

〈市 域〉	面 積	789.95km ²
	人 口	707,625 人
	世帯数	321,447 世帯

※ 人口・世帯数は平成29年3月末住民基本台帳による。



※太線 ——— は県南東部保健医療圏を現す。

2 人 口

(1) 人口推移、構成等

① 人口推移

年 次	世帯数	人 口			1世帯 当たり 人員	人口密度	備考
		総 数	男	女			
明治22年	9,581	47,564	23,907	23,657	4.96	8,243	6.1 市制施行等
大正 9年	21,423	94,585	45,779	48,806	4.42	9,791	10.1 国勢調査
14	28,005	124,521	61,267	63,254	4.45	5,294	〃
昭和 5年	33,083	139,222	69,290	69,932	4.21	5,919	〃
10	35,837	166,144	81,594	84,550	4.64	3,499	〃
15	36,496	163,552	77,381	86,171	4.48	3,444	〃
22	34,226	140,631	69,079	71,552	4.11	2,961	〃
25	38,958	162,904	78,400	84,504	4.18	3,430	〃
30	54,710	235,754	113,306	122,448	4.31	1,537	〃
35	65,949	260,773	124,681	136,092	3.95	1,700	〃
40	81,016	291,825	139,348	152,477	3.60	1,836	〃
45	111,265	375,106	180,456	194,650	3.37	1,504	〃
50	156,933	513,471	248,453	265,018	3.27	1,006	〃
55	178,929	545,765	264,648	281,117	3.05	1,069	〃
60	191,318	572,479	277,727	294,752	2.99	1,121	〃
平成 2年	207,731	593,730	287,368	306,362	2.86	1,157	〃
8	-	621,152	300,830	320,322	-	1,210	1.1 推計人口
9	-	619,665	299,790	319,875	-	1,207	4.1 推計人口
10	-	623,151	301,357	321,794	-	1,214	〃
11	-	627,865	303,684	324,181	-	1,223	〃
12	244,010	626,642	302,339	324,303	2.57	1,221	10.1 国勢調査
13	-	625,329	301,205	324,124	-	1,218	4.1 推計人口
14	-	627,747	301,977	325,770	-	1,223	〃
15	-	631,120	303,387	327,733	-	1,230	〃
16	-	634,434	304,983	329,451	-	1,236	〃
17	275,242	674,746	324,623	350,123	2.42	1,025	10.1 国勢調査
18	-	673,180	323,632	349,548	-	1,022	4.1 推計人口
19	-	698,112	335,552	362,560	-	884	〃
20	-	700,646	336,735	363,911	-	887	〃
21	-	702,512	337,483	365,029	-	889	〃
22	296,790	709,584	341,158	368,426	2.39	898	10.1 国勢調査
23	-	709,182	340,269	368,913	-	898	4.1 推計人口
24	-	711,164	341,688	369,476	-	900	〃
25	-	711,435	341,699	369,736	-	901	〃
26	-	712,954	342,742	370,212	-	903	〃
27	309,409	719,474	345,913	373,561	2.33	911	10.1 国勢調査
28	-	719,302	345,709	373,593	-	911	4.1 推計人口
29	-	720,078	346,177	373,901	-	912	〃

② 年齢階級、男女別住民基本台帳人口

平成 29 年 3 月 31 日現在

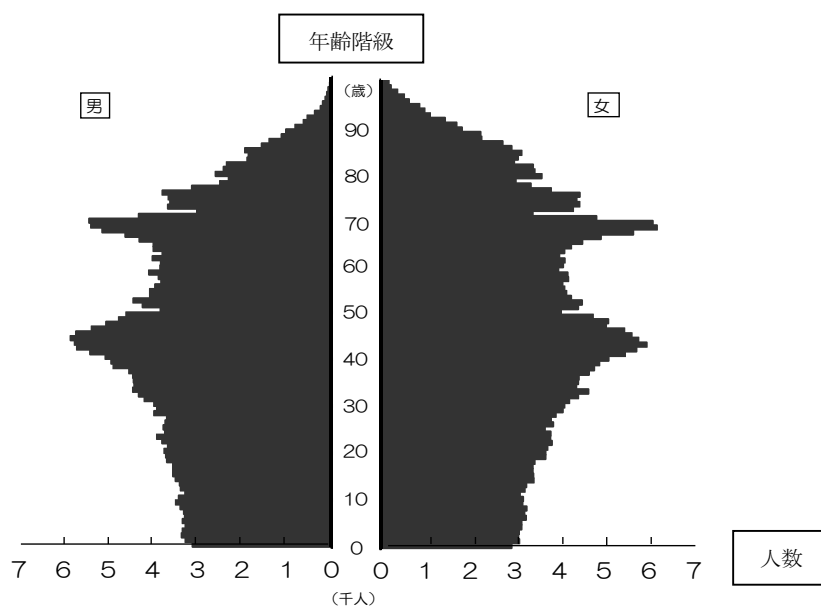
年 齢	総数	男	女	年 齢	総数	男	女
総 数	707 625	339 927	367 698	45～49 歳	51 442	25 502	25 940
0～4 歳	31 697	16 356	15 341	50～54 歳	41 992	20 628	21 364
5～9 歳	32 850	16 799	16 051	55～59 歳	40 081	19 556	20 525
10～14 歳	33 165	16 972	16 193	60～64 歳	40 150	19 594	20 556
15～19 歳	35 380	18 038	17 342	65～69 歳	52 223	24 872	27 351
20～24 歳	37 679	18 843	18 836	70～74 歳	39 619	18 260	21 359
25～29 歳	38 370	19 047	19 323	75～79 歳	32 557	14 315	18 242
30～34 歳	43 112	21 346	21 766	80～84 歳	26 511	10 455	16 056
35～39 歳	46 412	23 238	23 174	85～89 歳	17 871	5 922	11 949
40～44 歳	55 759	27 762	27 997	90 歳以上	10 755	2 422	8 333

(再掲)

区 分	総 数	年 少 人 口		生 産 年 齢 人 口		老 年 人 口	
		0～14歳	構成比 (%)	15～64歳	構成比 (%)	65歳以上	構成比 (%)
計	707,625	97,712	13.81	430,377	60.83	179,536	25.37

③ 所管区域別人口

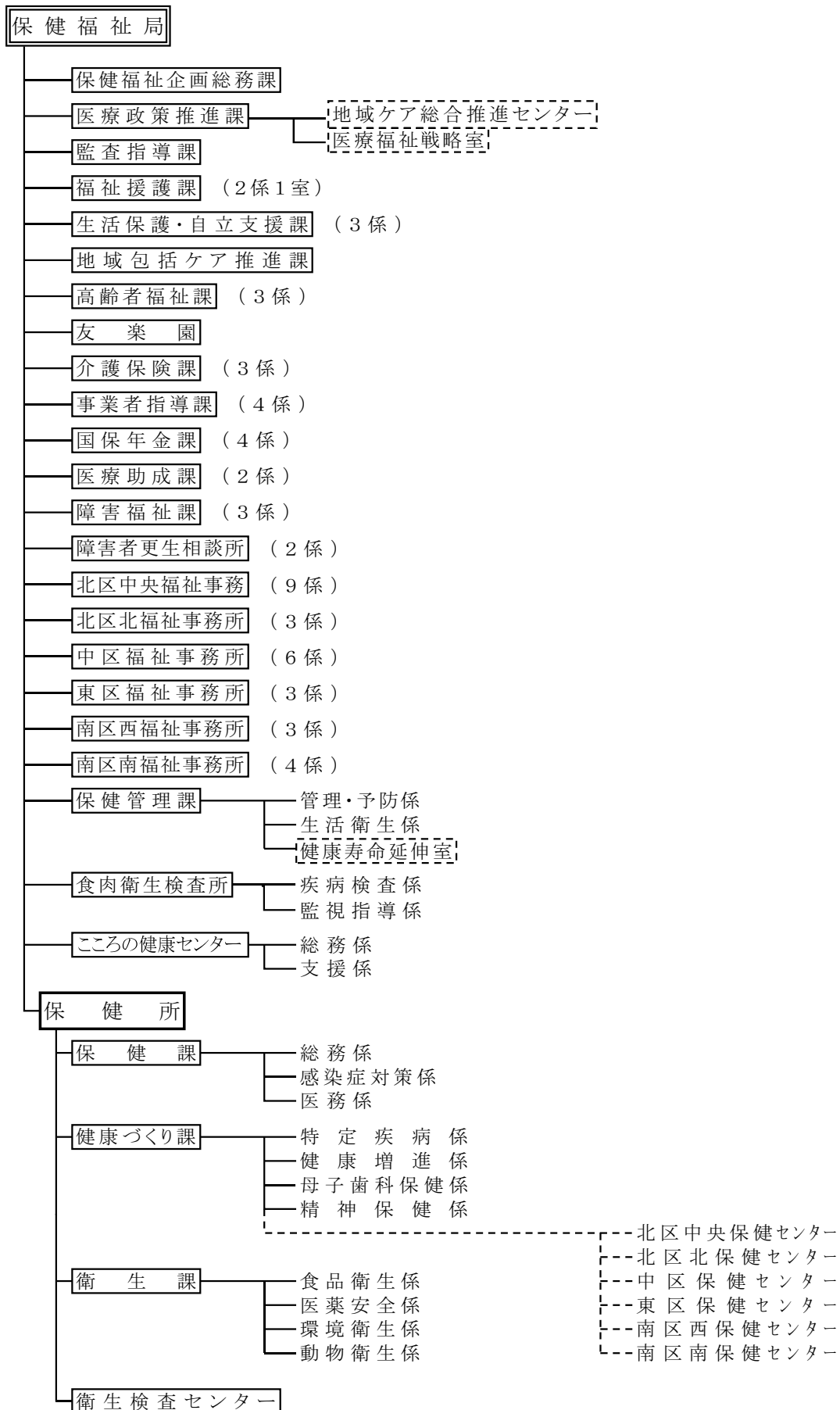
保健センター	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
北 区 中 央	96,857	187,875	90,711	97,164
北 区 北	44,999	107,083	51,426	55,657
中 区	65,949	146,201	69,178	77,023
東 区	40,610	96,241	45,914	51,840
南 区 西	27,592	69,035	33,348	35,687
南 区 南	45,440	101,190	49,350	51,840



2017/3/31 現在

3 機 構 (平成29年4月1日現在)

 : 局相当組織
 : 室相当組織
 : 課相当組織
 : 課内室相当組織



4 事務分掌（平成 29 年 4 月 1 日現在）

医療政策推進課

- (1) 岡山市域の医療政策の推進に関する事。
- (2) 保健・医療・福祉の連携機能の企画立案及び総合調整に関する事。
- (3) 地方独立行政法人に関する事。
- (4) 救急医療対策に関する事。
- (5) 国立病院機構岡山市立金川病院に関する事。
- (6) 岡山市久米南町組合立国民健康保険福渡病院に関する事。
- (7) 認知症医療に関する事。

地域ケア総合推進センター

- (1) 保健・医療・福祉の連携に係る事業の実施に関する事。
- (2) 総合相談・情報提供に関する事。
- (3) 地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進に関する事。

医療福祉戦略室

- (1) 医療・福祉を強みとするまちづくりに向けた関係団体との調整及び構想の策定に関する事。
- (2) 医療・福祉分野における大学との連携の拡大による研究・教育機能の強化に関する事。
- (3) 総合特区及び保健・医療・福祉分野に係る規制緩和に関する事。
- (4) 跡地利用の検討に関する事。

保健管理課

管理・予防係

- (1) 保健衛生行政の企画立案に関する事。
- (2) 審議会、協議会等の運営に関する事。
- (3) 保健関係課事務の連絡調整に関する事。
- (4) 保健医療関係団体等との連絡調整に関する事。
- (5) 国及び県補助金、県交付金等に関する事。
- (6) 岡山県都市衛生協議会に関する事。
- (7) 各種統計調査の総括に関する事。
- (8) 保健所に関する事。
- (9) こころの健康センターに関する事。
- (10) 上水道以外の飲用水供給に関する事。
- (11) 岡山市御津保健福祉ステーションの管理に関する事。
- (12) 母子保健事業の総括に関する事。
- (13) 歯科保健事業の総括に関する事。
- (14) 精神保健事業の総括に関する事。
- (15) 精神保健指定医及び指定病院の指定に関する事。
- (16) 指定自立支援医療機関(精神通院医療)の指定に関する事。
- (17) 精神科病院の実地指導及び実地審査に関する事。
- (18) 難病対策事業の総括に関する事。
- (19) 健康増進及び栄養事業の総括に関する事。
- (20) 感染症対策事業の総括に関する事。
- (21) 結核対策事業の総括に関する事。
- (22) 予防接種事業の総括に関する事。
- (23) 献血推進事業の総括に関する事。
- (24) 健康危機管理に関する事。
- (25) その他対人保健事業の総括に関する事。
- (26) 課内他係の主管に属しない事。

生活衛生係

- (1) 食品衛生及び環境衛生行政の企画立案に関する事。
- (2) 空き地に係る雑草の除去事業の総括に関する事。
- (3) 食品衛生業務の総括に関する事。
- (4) 食鳥検査業務の総括に関する事。
- (5) と畜場の許可等に関する事。

- (6) 化製場等の総括に関する事。
- (7) 狂犬病予防業務の総括に関する事。
- (8) 動物の愛護及び管理の総括に関する事。
- (9) 環境衛生業務の総括に関する事。
- (10) 特定建築物の環境衛生の総括に関する事。
- (11) 食肉衛生検査所に関する事。
- (12) 地区衛生組織に関する事。
- (13) 食品衛生及び環境衛生関係団体等との連絡調整に関する事。
- (14) 公衆浴場整備補助金に関する事。
- (15) 薬事業務の総括に関する事。
- (16) 毒物及び劇物の取締業務の総括に関する事。
- (17) 防疫業務の技術的支援に関する事。
- (18) 健康危機管理に関する事。

健康寿命延伸室

- (1) 健康寿命の延伸に関する事。

食肉衛生検査所

疾病検査係

- (1) 疾病検査に関する事。

監視指導係

- (1) 監視指導に関する事。

こころの健康センター

総務係

- (1) こころの健康センターの運営に関する事。
- (2) 精神医療審査会の運営に関する事。
- (3) 精神障害者保健福祉手帳の判定及び発行に関する事。
- (4) 自立支援医療費(精神通院医療)の支給認定及び受給者証の発行に関する事。
- (5) 精神科病院の实地指導及び实地審査の連携に関する事。
- (6) 医事会計及び診療報酬の請求に関する事。
- (7) 所内他係の主管に属しないこと。

支援係

- (1) 精神保健福祉施策の企画立案に関する事。
- (2) 複雑困難事例に関する精神保健福祉相談に関する事。
- (3) 精神保健福祉関係諸機関への技術指導及び技術援助, 人材育成支援等に関する事。
- (4) 精神保健福祉ネットワークの体制整備に関する事。
- (5) 精神障害者の社会復帰対策に関する事。
- (6) 児童思春期精神保健対策に関する事。
- (7) ひきこもり対策に関する事。
- (8) 依存症対策に関する事。
- (9) 自殺対策に関する事。
- (10) 精神保健福祉の普及啓発および調査研究に関する事。
- (11) 診療に関する事。
- (12) 各種審議会に関する事。
- (13) 認知症の医療相談に関する事。
- (14) 医療観察法に関する事。
- (15) 犯罪及び災害被害者等のメンタルヘルスに関する事。
- (16) 健康危機管理に関する事。

岡山市保健所

保健課

総務係

- (1) 保健所の運営に関する事。
- (2) 保健所内の庶務に関する事。

- (3) 保健課内の庶務に関する事。
- (4) 保健所内の研修に関する事。
- (5) 保健所施設，東区保健センター及び北区北保健センター御津分館の維持管理に関する事。
- (6) 保健所使用料及び手数料の徴収に関する事。
- (7) 表彰に関する事。
- (8) 保健所運営委員会等に関する事。
- (9) 保健統計の収集・集約・整理・集計・分析・提供に関する事。
- (10) 臨床研修医・医学生・その他実習生の実習指導に関する事。
- (11) 地域の医療計画・連携に関する事。
- (12) 健康危機管理に関する事。
- (13) 保健所内の連絡調整及び所内他課系の主管に属しない事。

感染症対策係

- (1) 結核対策事業に関する事。
- (2) 感染症対策事業に関する事。
- (3) 予防接種事業に関する事。
- (4) エイズ・性感染症・ウイルス性肝炎対策に関する事。
- (5) 献血推進事業に関する事。
- (6) 結核診査協議会に関する事。
- (7) 感染症診査協議会に関する事。

医務係

- (1) 医療施設等に関する許可，届出の受付，立入指導等に関する事。
- (2) 保健医療従事者等の免許(クリーニング師，調理師及び製菓衛生士を除く。)に関する事。
- (3) 医療相談に関する事。
- (4) 死体解剖許可に関する事。
- (5) その他医事業務の総括に関する事。

健康づくり課

特定疾病係

- (1) 難病対策事業に関する事。
- (2) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係る自立支援給付(難病等)に関する事。
- (3) 障害者総合支援法に係る地域生活支援事業(難病等)に関する事。
- (4) 原子爆弾被爆者の援護に関する事。
- (5) 臓器移植等推進に関する事。
- (6) 課内の専門職員の育成に関する事。
- (7) 森永ひ素ミルク中毒事件被害者対策事業に関する事。
- (8) 保健管理システムの運用管理に関する事。
- (9) 未熟児養育及び育成(自立支援)医療給付事業，並びに小児慢性特定疾病医療給付及びその他対策事業に関する事。
- (10) 実習生・研修医指導に関する事。
- (11) 課内他係の主管に属しない事。

健康増進係

- (1) 高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく健診等に関する事。
- (2) 健康増進事業に関する事。
- (3) 栄養事業に関する事。
- (4) 特定給食施設指導等に関する事。
- (5) 特別用途食品等許可申請取扱いに関する事。
- (6) 愛育委員協議会に関する事。
- (7) 栄養改善協議会に関する事。

母子歯科保健係

- (1) 母子保健普及啓発事業に関する事。
- (2) 母子保健相談指導事業に関する事。
- (3) こんにちは赤ちゃん事業に関する事。
- (4) 子どもの虐待予防に関する事。
- (5) 身体障害児療育指導事業に関する事。
- (6) 妊婦健康診査に関する事。
- (7) 乳児健康診査に関する事。
- (8) 幼児健康診査に関する事。
- (9) おやこクラブネットワークに関する事。
- (10) 歯科保健事業に関する事。
- (11) 不妊に悩む方への特定治療支援事業に関する事。
- (12) 母子保健事業の調査・研究、企画及び調整に関する事。

精神保健係

- (1) 精神緊急対応（措置入院を含む。）に関する事。
- (2) 医療保護入院等のための移送に関する事。
- (3) 医療保護入院に係る市長同意に関する事。
- (4) 診療報酬支払事務に関する事。
- (5) 障害者総合支援法に係る自立支援給付(精神障害者)に関する事。
- (6) 障害者総合支援法に係る地域生活支援事業(精神障害者)に関する事。
- (7) 精神障害者就労支援事業に関する事。
- (8) 精神障害者団体連絡会に関する事。
- (9) 精神障害者家族連絡会に関する事。
- (10) 岡山市精神保健福祉連絡会に関する事。
- (11) 精神保健福祉の普及啓発に関する事。
- (12) 精神保健相談に関する事。
- (13) 自殺予防に関する事。
- (14) 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律に関する事。
- (15) 障害者虐待防止に関する事。
- (16) 精神科病院の現地指導及び現地審査の連携に関する事。

保健センター

- (1) 保健センター業務に関する事。
- (2) 母子保健普及啓発事業に関する事。
- (3) 母子保健相談指導事業に関する事。
- (4) こんにちは赤ちゃん事業に関する事。
- (5) 子どもの虐待予防に関する事。
- (6) 身体障害児療育指導事業に関する事。
- (7) 妊婦健康診査に関する事。
- (8) 乳児健康診査に関する事。
- (9) 幼児健康診査の実施に関する事。
- (10) 健康増進事業の実施に関する事。
- (11) 精神保健事業の実施に関する事。
- (12) 難病対策の実施に関する事。
- (13) 栄養事業の実施に関する事。
- (14) 歯科保健事業の実施に関する事。
- (15) 結核等感染症対策の実施に関する事。
- (16) 愛育委員会に関する事。
- (17) 栄養改善協議会に関する事。
- (18) おやこクラブネットワークに関する事。
- (19) 元気のでる会、障害児(者)の会等の育成支援に関する事。
- (20) 実習生、研修医指導に関する事。

- (21) 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく健診等に関すること。
- (22) 健康危機管理に関すること。
- (23) その他対人保健事業の実施に関すること。

衛生課

食品衛生係

- (1) 食品関係営業許可及び監視指導等に関すること。
- (2) 中央卸売市場内の監視指導及び食品検査に関すること。
- (3) 食品衛生監視業務に関すること。
- (4) 食中毒対策に関すること。

医薬安全係

- (1) 薬局，医薬品販売業の許可に関すること。
- (2) 薬局，医薬品販売業等の監視業務に関すること。
- (3) 毒物劇物販売業の登録に関すること。
- (4) 毒物劇物販売業等の監視業務に関すること。
- (5) 覚醒剤等薬物乱用防止の普及啓発に関すること。
- (6) 課内他係の主管に属しないこと。

環境衛生係

- (1) 理容所，美容所及びクリーニング所の開設届の受理並びに指導に関すること。
- (2) 旅館業の営業許可等に関すること。
- (3) 興行場及び公衆浴場の許可等に関すること。
- (4) 特定建築物の届出の受理及び指導に関すること。
- (5) 温泉の利用許可等に関すること。
- (6) 専用水道，簡易専用水道等に関すること。
- (7) 遊泳用プールの指導に関すること。
- (8) 家庭用品の安全性に関すること。
- (9) その他環境衛生業務の実施に関すること。

動物衛生係

- (1) 動物由来感染症（狂犬病を含む。）対策に関すること。
- (2) 動物の愛護に関すること。
- (3) 動物の管理に関すること。

衛生検査センター

- (1) 食品衛生検査に関すること。
- (2) 食中毒、食品苦情に係る検査に関すること。
- (3) 環境衛生検査に関すること。
- (4) 感染症検査に関すること。
- (5) 地方衛生研究所業務に関すること。
- (6) その他公衆衛生上の検査に関すること。

5 人員配置

(1) 職種別人員配置

(平成29年4月1日現在)

職種	所属	医療政策推進課	保健管理課	岡山市保健所										食肉衛生検査所	こころの健康センター	合計
				保健課	健康づくり課	(再掲)						衛生課	衛生検査センター			
						北区中央保健センター	北区北保健センター	中区保健センター	東区保健センター	南区西保健センター	南区南保健センター					
総数	16	18	25(5)	165(30)	25(3)	18(3)	19(2)	16(2)	12(1)	18(2)	32(2)	8	15(3)	20(7)	299	
事務	9	11	11(1)	18(5)			1(1)		1(1)		1(1)		2(2)	4(1)	56	
医師			2	2(1)										1	5	
歯科医師				1											1	
薬剤師		1	1								7	1			10	
管理栄養士		1	12(2)	2(1)	3(1)	1	2	1	1	1					14	
診療放射線技師			1												1	
臨床検査技師												2			2	
理学療法士															0	
歯科衛生士			4(1)			1				1					4	
獣医師		1									5(1)	3	13(1)		22	
保健師	3	2	6	111(11)	21(1)	15(2)	15	13(1)	10	15(1)				4(1)	126	
看護師	1		4(4)	3(3)	1(1)			1(1)							8	
助産師				5(5)			1(1)								5	
保育士															0	
ホームヘルパー															0	
精神保健福祉士				7	1									8(4)	15	
心理判定員														3(1)	3	
作業療法士															0	
社会福祉士	3			1(1)						1(1)					4	
化学											2				2	
農業															0	
農芸化学		1									11				12	
土木															0	
水産		1									1	2			4	
畜産											2				2	
自動車技師				1(1)											1	
防疫員兼自動車技師															0	
衛生主事															0	
業務主事															0	
自動車技師兼防疫員															0	
業務員											2				2	
防疫員															0	

() 内数は、嘱託・再任用・任期付

(2) 保健所における各種検査員の職種

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分 職種	医 療 監 視 員	栄 養 指 導 員	環 境 衛 生 監 視 員	食 品 衛 生 監 視 員	狂 犬 病 予 防 員	温 泉 監 視 員	水 道 法 検 査 員	薬 事 監 視 員	合 計
事 務	4								4
医 師	4								4
歯 科 医 師	1								1
薬 剤 師	1			3				4	8
管 理 栄 養 士		12		1					13
診療放射線技師	1								1
獣 医 師				2	3				5
保 健 師	9								9
看 護 師	2								2
化 学			2						2
農 芸 化 学			1	10					11
水 産			1						1
畜 産			2						2
合 計	22	12	6	16	3	0	0	4	63

※人数は実数。複数兼務は主たるものに計上。

6 平成29年度予算

衛生費のうち、保健関係課予算額（一般会計）

（単位：千円）

項目	平成28年度 当初予算額 ①	平成29年度 当初予算額 ②	差引増減額 ③(②-①)	前年度比 (%) ③÷①	平成29年度当初予算額の財源内訳			
					国 支 出 金	県 地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1 保健衛生費	7,411,058	7,638,355	227,297	3.1	494,410	96,300	650,539	6,397,106
1 保健衛生総務費	470,875	474,827	3,952	0.8	8,063	0	31,811	434,953
2 保健対策推進費	2,875,792	2,926,808	51,016	1.8	394,737	0	229,152	2,302,919
3 救急診療対策費	173,934	170,313	△ 3,621	△ 2.1	10,554	0	115,777	43,982
5 予 防 費	2,292,123	2,330,877	38,754	1.7	69,869	0	204,550	2,056,458
13 保 健 所 費	1,489,508	1,631,280	141,772	9.5	9,160	96,300	0	1,525,820
15 環 境 衛 生 費	108,826	104,250	△ 4,576	△ 4.2	2,027	0	69,249	32,974
10 病院費	1,460,524	1,534,839	74,315	5.1	0	0	0	1,534,839
1 病 院 費	1,460,524	1,534,839	74,315	5.1	0	12,000	0	1,522,839
15 上水道整備費	8,271	19,671	11,400	137.8	0	18,600	0	1,071
1 上水道整備費	8,271	19,671	11,400	137.8	0	18,600	0	1,071
保健関係課計(a)	8,879,853	9,192,865	313,012	3.5	494,410	126,900	650,539	7,921,016
一般会計合計(b)	284,323,707	314,385,691	30,061,984	10.6	74,046,503	15,835,900	11,546,299	212,956,989
構成比(a)÷(b) (%)	3.1	2.9	-	-	0.7	0.8	5.6	3.7

※ 予算額の財源内訳は、特定財源の充当額による。

※ 病院費、上水道整備費については、地方公営企業法に基づく一般会計の負担金等。

7 関係施設

施設名	施設所在地 (電話番号)	建物構造 (開設年月日)	床面積 (敷地面積)	備考
岡山市保健所 (北区中央保健センター)	〒700-8546 北区鹿田町一丁目1-1 (803-1200)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階地下2階 (H10.4.1)	14,619㎡ (3,163㎡)	岡山市保健福祉会館 2階
北区北保健センター	〒700-0071 北区谷万成二丁目6-33 (251-6515)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階建 (H10.4.1)	7,296㎡ (7,882㎡)	北ふれあいセンター内
北区北保健センター 御津・建部分室	〒709-3111 北区建部町福渡487-1 (086-722-1114)	鉄筋コンクリート造 2階建 (S55.6.30)	811㎡ (5,250㎡)	旧建部町保健センター
中区保健センター	〒702-8002 中区桑野715-2 (274-5164)	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建 一部3,4階建 (H5.5.18)	12,819㎡ (29,162㎡)	岡山ふれあいセンター内
東区保健センター	〒704-8192 東区西大寺中野本町4-5 (943-3210)	鉄筋コンクリート造 地上2階建 (H6.4.1)	980㎡ (2,501㎡)	
南区西保健センター	〒701-0205 南区妹尾880-1 (281-9625)	鉄筋コンクリート造 5階、地下1階建 一部鉄骨4階建 (H10.6.1)	7,297㎡ (6,484㎡)	西ふれあいセンター内
南区南保健センター	〒702-8021 南区福田690-1 (261-7051)	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4階建 (H11.4.1)	7,363㎡ (6,979㎡)	南ふれあいセンター内
地域ケア総合 推進センター	〒700-0962 北区北長瀬表町三丁目 20-1 (242-3135)	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造地上8階塔 屋1階建の1階部分 (H27.5.7)	625㎡ (18,584㎡)	岡山市立市民病院内
休日夜間急患診療所	〒700-0835 北区東中央町3-14 (225-2225)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階建の1 階部分 (H4.10.1)	364㎡ (1,545㎡)	旧市民病院別館1階
障害者生活支援センター	〒709-3111 北区建部町福渡834-2 (086-722-5200)	鉄筋コンクリート造 2階建 (H13.10.1)	552㎡ (910.36㎡)	旧御津地域生活支援セ ンター
食肉衛生検査所	〒703-8285 中区桜橋一丁目2-43 (272-8399)	鉄筋コンクリート造 (H6.4.1)	299㎡	岡山県営食肉地方卸売 市場内総合管理棟3F部 分を県から借用
こころの健康センター	〒700-8546 北区鹿田町一丁目1-1 (803-1273)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階地下2階 (H21.4.1)	183.1㎡	岡山市保健福祉会館 4階
保健所衛生課 市場駐在所	〒702-8052 南区市場一丁目1 (264-1020)	鉄筋コンクリート造 (H6.4.1)	141.5㎡ (2,641㎡)	岡山市中央卸売市場 管理棟3階

<施設分布図>

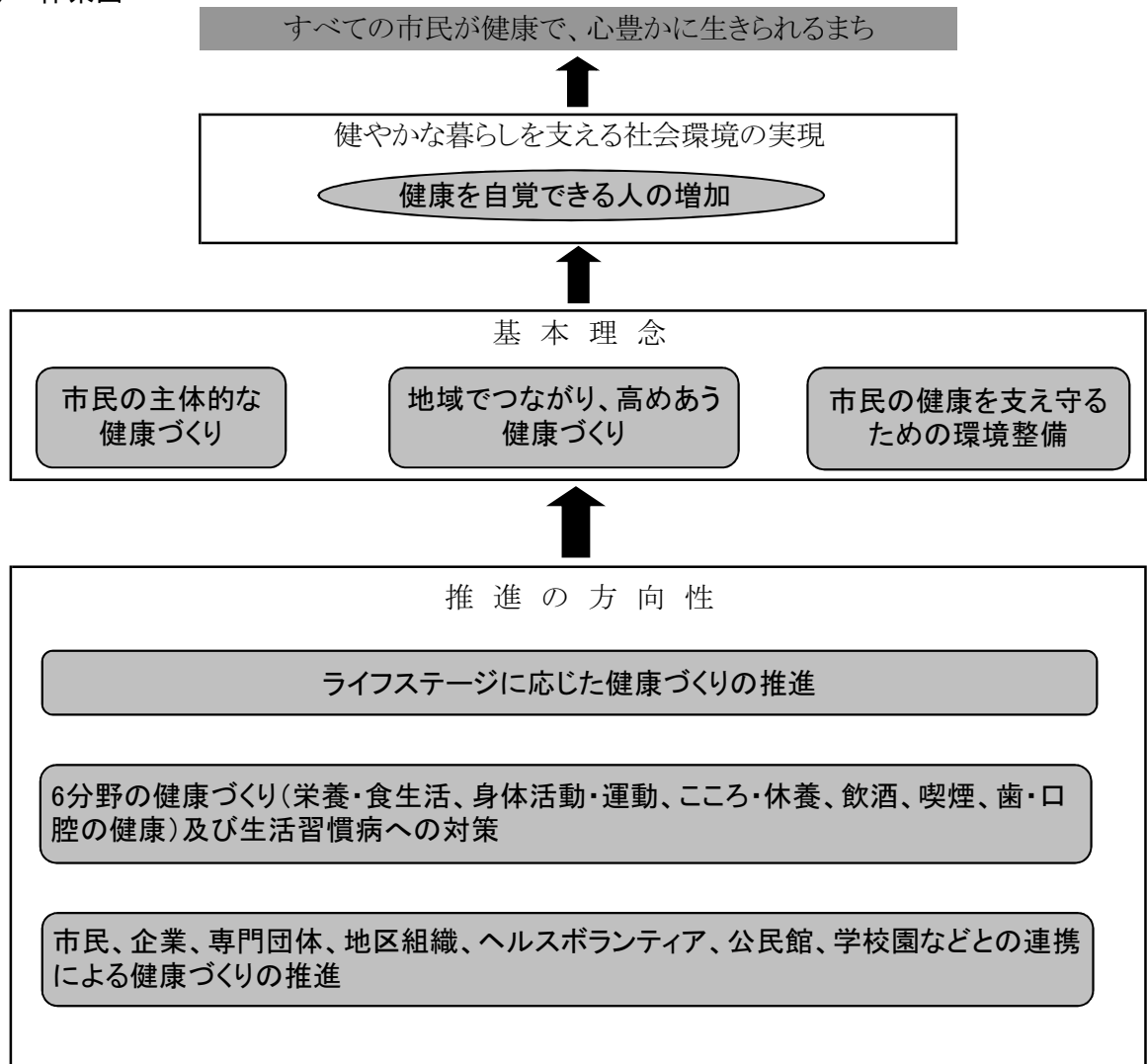


第2章 総合健康推進事業

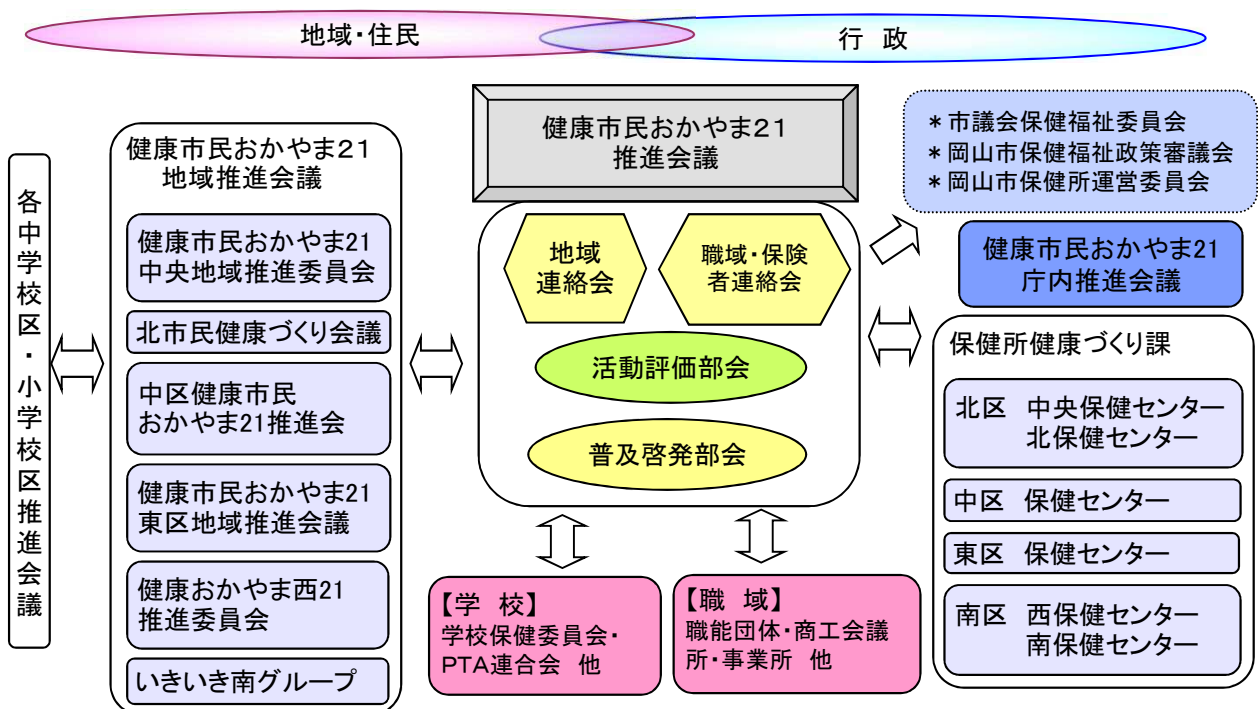
- 1 健康市民おかやま21(第2次)
- 2 健康危機管理

1 健康市民おかやま21(第2次)

(1) 体系図

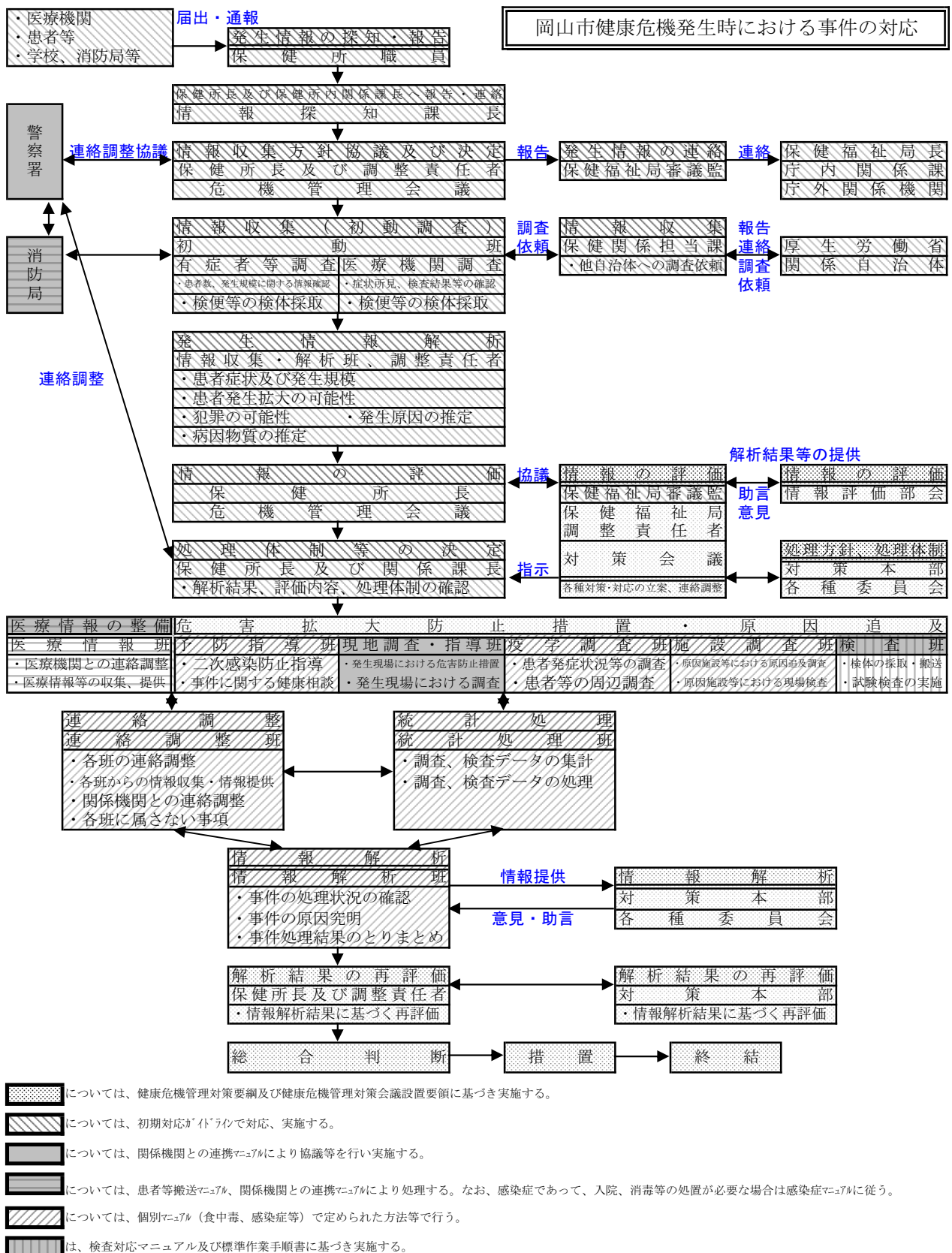


(2) 推進体制



2 健康危機管理

市民の生命と健康の安全を脅かす健康危機発生時に迅速で適切な対応を図ることを目的に、危機管理体制を定めている。



第3章 保健衛生・統計

第 1 節 統 計

第 2 節 救急医療体制

第1節 統計

1 保健の統計調査の概要

保健所では次のような統計調査を行い、保健衛生施策の推進のための基礎資料として活用している。

調 査 名		調査の概要									
		調査時期	26	実績	27	実績	28	実績	29	見込み	備 考
人口動態調査		人口動態事象（出生、死亡、死産、婚姻、離婚）について調査									
		毎月	○	18,362	○	18,757	○	18,256	○	19,000	調査票枚数
医療施設調査	動態調査	病院、一般診療所、歯科診療所の動態（開設、廃止、再開、変更等）を集計									
		毎月	○	123	○	116	○	132	○	120	調査票枚数
	静態調査	3年毎	○	1,186				○	1,200	対象施設数	
患者調査		病院、一般診療所、歯科診療所を利用する入院・外来患者の傷病状況等について調査（抽出調査）									
		3年毎	○	102				○	100	対象施設数	
受療行動調査		医療施設を利用する患者の受療の状況や医療に対する満足度等を調査									
		3年毎	○	3				○	3	対象施設数	
病院報告		病院（療養病床を有する診療所を含む。）の各月の入院・外来患者数等を調査									
		毎月	○	844	○	829	○	840	○	852	調査票枚数
		病院の従事者数等を調査（10月1日現在）									
毎年	○	54	○	54	○	55	○	56	調査票枚数		
医師・歯科医師・薬剤師調査		医師、歯科医師、薬剤師の数、従事場所等を調査（12月末現在）									
		2年毎	○	5,824			○	6,167			調査票枚数
看護師等従事者調査		保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士の従事者数、従事場所等を調査（12月末現在）									
		2年毎	○	12,140			○	13,089			調査票枚数
国民生活基礎調査		国民の保健、医療、福祉、年金、所得等、国民生活の基礎的事項について調査（抽出調査）									
		大規模調査	3年毎				○	60			対象地区数
								3,780			対象世帯数
通常	中間年	○	6	○	6			○	6	対象地区数	
			373		268				289	対象世帯数	
社会保障・人口問題調査		国民の人口動態事象（出生、死亡、死産、婚姻、離婚）に関する調査									
		毎年	○	2	○	5	○	12	○	2	対象地区数
			131		178		611		88	対象世帯数	
地域保健・老人保健事業報告 (H11年までは地域保健事業報告)		保健所活動における事業実績及び保健法による保健事業の実績を集計									
		年度報	○	64	○	64	○	64		64	調査票枚数

2 人口動態

(1) 人口動態年表

年	人口 (10月1日現在)	出生				乳児死亡		新生児死亡		件数
		件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	
58	559,977	7,610	13.6	3,462	6.2	36	4.7	15	2.0	46
59	565,276	7,576	13.4	3,502	6.2	43	5.7	28	3.7	52
60	572,423	7,380	12.9	3,546	6.2	29	3.9	13	1.8	47
61	577,910	7,309	12.6	3,578	6.2	30	4.1	17	2.3	33
62	582,924	7,010	12.0	3,521	6.0	26	3.7	16	2.3	46
63	587,408	6,888	11.7	3,715	6.3	21	3.0	9	1.3	42
平成1年	591,319	6,562	11.1	3,802	6.4	34	5.2	21	3.2	49
2	593,730	6,566	11.1	3,721	6.3	39	5.9	23	3.5	33
3	597,238	6,594	11.0	3,731	6.2	30	4.5	14	2.1	23
4	601,094	6,529	10.9	4,043	6.7	26	4.0	13	2.0	25
5	604,513	6,555	10.8	3,978	6.6	28	4.3	14	2.1	29
6	608,115	6,635	10.9	4,144	6.8	34	5.1	15	2.3	30
7	615,757	6,614	10.7	4,388	7.1	25	3.8	14	2.1	36
8	619,883	6,994	11.3	4,120	6.6	15	2.1	10	1.4	34
9	624,269	6,918	11.1	4,252	6.8	21	3.0	11	1.6	38
10	627,650	7,030	11.2	4,289	6.8	42	6.0	24	3.4	46
11	618,620	6,918	11.2	4,571	7.4	27	3.9	15	2.2	39
12	621,311	6,969	11.2	4,511	7.3	25	3.6	10	1.4	25
13	623,415	6,879	11.0	4,604	7.4	22	3.2	11	1.6	42
14	626,007	6,951	11.1	4,519	7.2	19	2.7	7	1.0	35
15	626,330	6,566	10.5	4,738	7.6	19	2.9	9	1.4	24
16	630,891	6,537	10.4	4,638	7.4	18	2.8	6	0.9	24
17	659,882	6,343	9.6	5,024	7.6	19	3.0	9	1.4	22
18	661,461	6,659	10.1	5,241	7.9	14	2.1	7	1.1	33
19	685,527	6,742	9.8	5,504	8.0	14	2.1	3	0.4	24
20	687,136	6,790	9.9	5,725	8.3	20	2.9	11	1.6	28
21	699,919	6,487	9.3	5,660	8.1	19	2.9	11	1.7	31
22	700,228	6,752	9.6	6,088	8.7	10	1.5	5	0.7	26
23	701,498	6,698	9.5	6,167	8.8	16	2.4	10	1.5	25
24	703,333	6,609	9.4	6,414	9.1	15	2.3	5	0.8	19
25	704,025	6,700	9.5	6,426	9.1	11	1.6	6	0.9	28
26	705,180	6,397	9.1	6,389	9.1	8	1.3	5	0.8	23
27	707,023	6,449	9.1	6,555	9.3	10	1.6	3	0.5	23
28	708,134	6,264	8.8	6,521	9.2	11	1.8	5	0.8	29

平成10年以前は「推計人口」(10月1日現在)、平成11年以降は岡山市「住民基本台帳人口」を使用。

また、各年の数値は概数のため、確定数と異なる場合がある。

全国	125,319,299	1,005,677	8.0	1,290,444	10.3	1,916	1.9	902	0.9	3,728
岡山県	1,903,981	15,599	8.2	21,525	11.3	23	1.5	8	0.5	55

全国、岡山県ともに平成27年(確定数)、ただし人口は総務省統計局「平成27年国勢調査の日本人人口(按分済み)」を使用。

※出生率＝出生数÷推計人口×1,000

※死亡率＝死亡数÷推計人口×1,000

※婚姻率＝婚姻数÷推計人口×1,000

※離婚率＝離婚数÷推計人口×1,000

※死産率＝死産数÷出産数(出生数+死産数)×1,000

周	産 期 死 亡			婚 姻 離 婚		死		産				
	(再掲)			件数	率	件数	率	件数	率	(再掲)		
	22週以後 の死産数	28週以後 の死産数	早期新生 児死亡数							自 死 産 数	然 死 産 数	人 死 産 数
6.0	-	36	10	3,779	6.7	924	1.7	448	55.6	179	269	
6.8	-	33	19	3,726	6.6	958	1.7	395	49.6	177	218	
6.3	-	37	10	3,899	6.8	983	1.7	389	50.1	133	256	
4.5	-	22	11	3,682	6.4	900	1.6	330	43.2	127	203	
6.5	-	31	15	3,588	6.2	861	1.5	369	50.0	133	236	
6.1	-	36	6	3,570	6.1	862	1.5	344	47.6	124	220	
7.4	-	31	18	3,534	6.0	856	1.4	324	47.1	108	216	
5.0	-	15	18	3,716	6.3	866	1.5	290	42.3	86	204	
3.5	-	13	10	3,772	6.3	961	1.6	327	47.2	96	231	
3.8	-	13	12	3,854	6.4	907	1.5	254	37.4	86	168	
4.4	-	19	10	4,065	6.7	1,030	1.7	260	38.2	72	188	
4.5	-	18	12	4,079	6.7	1,039	1.7	286	41.3	93	193	
5.4	25	-	11	4,229	6.9	1,050	1.7	228	33.3	79	149	
4.8	27	-	7	4,308	6.9	1,132	1.8	248	34.2	98	150	
5.5	29	-	9	4,180	6.7	1,174	1.9	220	30.8	80	140	
6.5	31	-	15	4,386	7.0	1,342	2.1	248	34.1	75	173	
5.6	28	-	11	4,191	6.8	1,402	2.3	235	32.9	74	161	
3.6	20	-	5	4,274	6.9	1,490	2.4	225	31.3	71	154	
6.1	36	-	6	4,421	7.1	1,640	2.6	233	32.8	83	150	
5.2	31	-	4	4,210	6.7	1,616	2.6	224	31.2	76	148	
3.6	17	-	7	4,024	6.4	1,548	2.5	242	35.5	73	170	
3.7	20	-	4	3,942	6.2	1,451	2.3	211	31.3	69	142	
3.5	15	-	7	3,962	6.0	1,414	2.1	185	28.3	53	132	
4.9	28	-	5	4,051	6.1	1,436	2.2	211	30.7	82	129	
3.6	22	-	2	4,096	6.0	1,490	2.2	177	25.6	72	105	
4.1	19	-	9	4,236	6.2	1,407	2.0	177	25.4	70	107	
4.8	21	-	10	4,096	5.9	1,394	2.0	168	25.2	73	95	
3.8	21	-	5	4,071	5.8	1,348	1.9	151	22.4	60	91	
3.7	18	-	7	3,943	5.6	1,425	2.0	152	22.2	70	82	
2.9	16	-	3	4,029	5.7	1,455	2.1	146	21.6	48	98	
4.2	24	-	4	3,927	5.6	1,360	1.9	158	23.0	61	97	
3.6	20	-	3	3,868	5.5	1,299	1.8	161	24.6	68	93	
3.6	20	-	3	3,866	5.5	1,308	1.9	139	21.1	54	85	
4.6	24	-	5	3,744	5.3	1,270	1.8	116	18.2	46	70	

3.7	3,063	-	665	635,156	5.1	226,215	1.8	22,617	22.0	10,862	11,755
3.5	50	-	5	9,260	4.9	3,296	1.7	342	21.5	140	202

※新生児死亡：生後4週未満の死亡

※早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

※周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
(平成6年以前は妊娠満28週以後の死産)

※乳児死亡率＝乳児死亡数÷出生数×1,000

※新生児死亡率＝新生児死亡数÷出生数×1,000

※周産期死亡率＝(妊娠満22週以後の死産数＋早期新生児死亡数)
÷(妊娠満22週以後の死産数＋出生数)×1,000

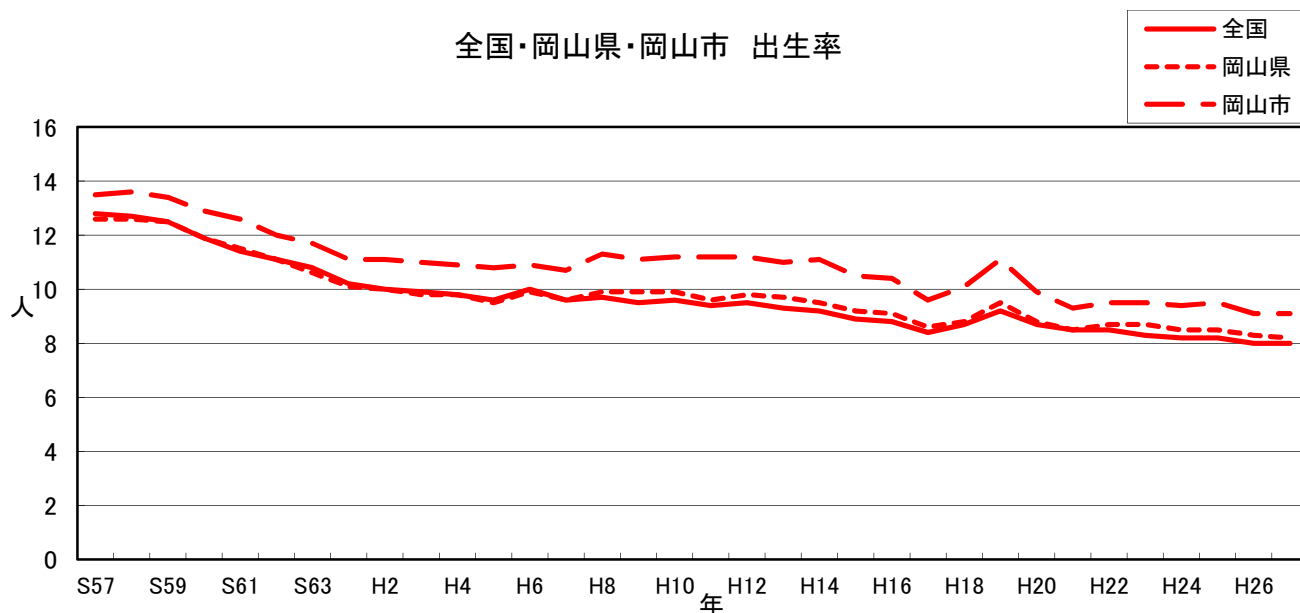
(2) 1日あたりの人口動態

(平成27年分)但し岡山市については平成28年分

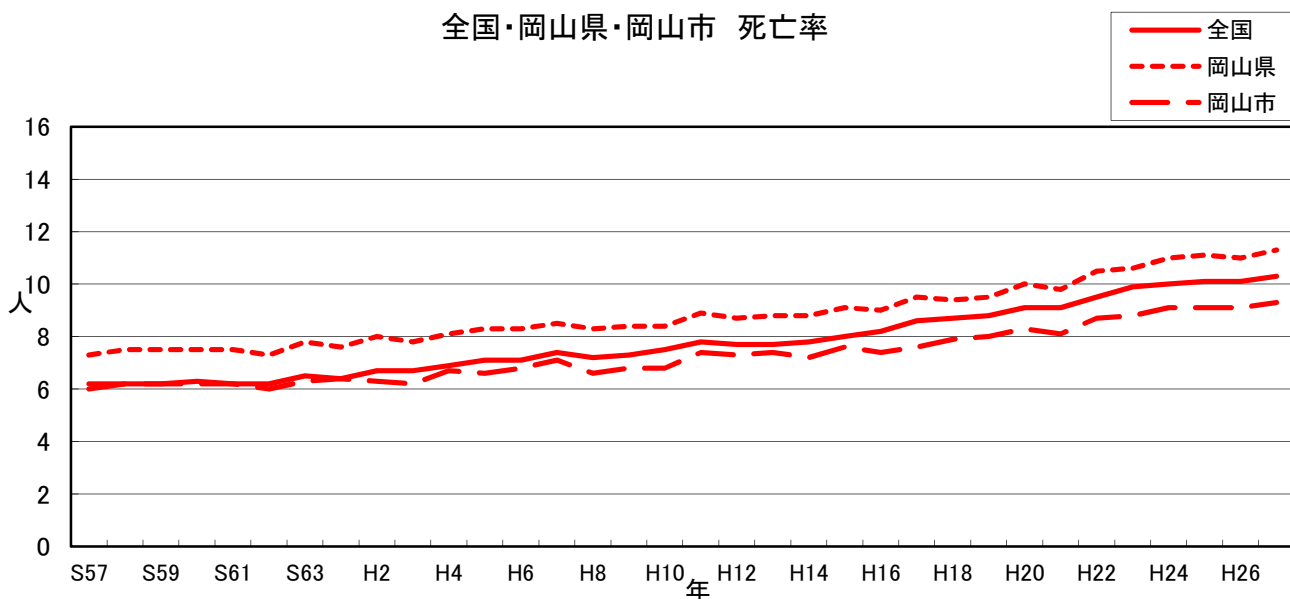
区分	1年間の発生件数			1日あたりの発生件数			1件あたりの発生間隔											
	全国	岡山県	岡山市	全国	岡山県	岡山市	全国			岡山県			岡山市					
							日	時	分	秒	日	時	分	秒	日	時	分	秒
出生	1,005,677	15,599	6,264	2755.3	42.7	17.2	0	0	0	31	0	0	33	42	0	1	23	54
死亡	1,290,444	21,525	6,521	3535.5	59.0	17.9	0	0	0	24	0	0	24	25	0	1	20	36
乳児死亡	1,916	23	11	5.2	0.1	0.0	0	4	34	19	15	20	52	10	33	4	21	49
死産	22,617	342	116	62.0	0.9	0.3	0	0	23	14	1	1	36	51	3	3	31	2
婚姻	635,156	9,260	3,744	1740.2	25.4	10.3	0	0	0	50	0	0	56	46	0	2	20	23
離婚	226,215	3,296	1,270	619.8	9.0	3.5	0	0	2	19	0	2	39	28	0	6	53	51

(3) 出生率・死亡率の年次推移

全国・岡山県・岡山市 出生率



全国・岡山県・岡山市 死亡率



3 出生統計

(1) 出生数、性別／体重別

(平成 27 年分)

体重(g)・ 性別	～999	1,000～ 1,499	1,500～ 1,999	～ 2,000～ 2,499	2,500～ 2,999	3,000～ 3,499	～ 3,500～ 3,999	4,000～	計
男	8	14	27	193	1,226	1,457	368	38	3,331
女	13	9	32	252	1,399	1,160	233	20	3,118
計	21	23	59	445	2,625	2,617	601	58	6,449

日本における日本人の出生のみ

(2) 出生数（率）、出生順位別／母の年齢別

(平成 27 年分)

出生順位	母の年齢						総計
	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～	
第1子	70 (83.3%)	369 (68.8%)	1,110 (60.8%)	975 (42.2%)	494 (35.4%)	116 (38.9%)	3,134 (48.6%)
第2子	13 (15.5%)	141 (26.3%)	551 (30.2%)	935 (40.5%)	555 (39.7%)	115 (38.6%)	2,310 (35.8%)
第3子	1 (1.2%)	24 (4.5%)	141 (7.7%)	321 (13.9%)	266 (19.0%)	50 (16.8%)	803 (12.5%)
第4子		2 (0.4%)	20 (1.1%)	58 (2.5%)	58 (4.2%)	12 (4.0%)	150 (2.3%)
第5子			3 (0.2%)	16 (0.7%)	15 (1.1%)	3 (1.0%)	37 (0.6%)
第6子				2 (0.1%)	3 (0.2%)	2 (0.7%)	7 (0.1%)
第7子				1 (0.0%)	5 (0.4%)		6 (0.1%)
第8子				1 (0.0%)			1 (0.0%)
第9子							
第10子							
第11子					1 (0.1%)		1 (0.0%)
計	84 (100%)	536 (100%)	1,825 (100%)	2,309 (100%)	1,397 (100%)	298 (100%)	6,449 (100%)

日本における日本人の出生のみ(小数点以下第2位の四捨五入により各百分率の合計は100にならない)

(3) 出生数、母の年齢／体重別

(平成 27 年分)

母の年齢	体重(g)									総計
	～999	1,000～1,499	1,500～1,999	2,000～2,499	低体重児計	2,500～2,999	3,000～3,499	3,500～3,999	4,000～	
	～19		1	4	5	37	34	7	1	
20～	2	2	46	50	206	244	33	3	536	
25～	6	7	15	142	796	718	156	13	1,825	
30～	4	5	28	198	922	925	239	25	2,309	
35～	6	10	11	115	560	577	133	12	1,397	
40～	3	1	2	38	104	119	33	4	298	
計	21	23	59	445	548	2,625	2,617	601	58	6,449

日本における日本人の出生のみ

(4) 低体重児の出生数、妊娠週数別／体重別

(平成 27 年分)

妊娠週数	体重(g)				総計
	～999	1,000～1,499	1,500～1,999	2,000～2,499	
不明					0
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
～23	2				2
	(9.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)
24～27	11				11
	(52.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(2.0%)
28～31	8	15	4		27
	(38.1%)	(65.2%)	(6.8%)	(0.0%)	(4.9%)
32～35		8	29	54	91
	(0.0%)	(34.8%)	(49.2%)	(12.1%)	(16.6%)
36～39			23	355	378
	(0.0%)	(0.0%)	(39.0%)	(79.8%)	(69.0%)
40～			3	36	39
	(0.0%)	(0.0%)	(5.1%)	(8.1%)	(7.1%)
計	21	23	59	445	548
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

日本における日本人の出生のみ(小数点以下第2位の四捨五入により各百分率の合計は100にならない)

(5) 合計特殊出生率

H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
1.326	1.416	1.406	1.449	1.407	1.491	1.504	1.454	1.507	1.470	1.501
					(1.476)	(1.488)	(1.438)	(1.491)	(1.453)	(1.485)

各年9月末現在の住民基本台帳人口を基に算出

() 日本における日本人の出生のみの場合

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \quad 15\sim 49\text{歳までの合計}$$

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとした時の子ども数に相当する。

H27 区別合計特殊出生率	
北	1.468 (1.444)
中	1.660 (1.644)
東	1.322 (1.323)
南	1.524 (1.521)

4 死亡統計

(1) 年齢別死亡数

(平成 27 年分)

総数		岡山市			岡山県			全国		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
		6,555	3,294	3,261	21,525	10,888	10,637	1,290,444	666,707	623,737
0～4	0	10	7	3	23	11	12	1,916	1,042	874
	1	1	-	1	3	1	2	345	177	168
	2	1	-	1	4	2	2	200	119	81
	3	-	-	-	2	1	1	122	66	56
	4	1	-	1	3	2	1	109	69	40
5～9		3	3	-	5	4	1	452	253	199
10～14		1	1	-	6	2	4	470	267	203
15～19		3	3	-	12	8	4	1,220	836	384
20～24		9	7	2	28	20	8	2,101	1,515	586
25～29		16	12	4	45	33	12	2,616	1,786	830
30～34		28	19	9	54	35	19	3,549	2,325	1,224
35～39		22	15	7	58	41	17	5,402	3,455	1,947
40～44		43	26	17	139	85	54	9,770	6,214	3,556
45～49		66	42	24	175	115	60	13,540	8,656	4,884
50～54		85	55	30	258	173	85	19,717	12,838	6,879
55～59		149	104	45	425	299	126	28,735	19,460	9,275
60～64		240	176	64	733	523	210	52,217	36,141	16,076
65～69		405	288	117	1,299	923	376	88,287	61,424	26,863
70～74		551	371	180	1,705	1,172	533	114,323	76,916	37,407
75～79		694	449	245	2,318	1,500	818	153,465	96,964	56,501
80～84		1,123	616	507	3,644	2,095	1,549	222,455	126,762	95,693
85～89		1,321	633	688	4,548	2,217	2,331	256,258	120,810	135,448
90～94		1,097	347	750	3,724	1,200	2,524	197,174	64,596	132,578
95～99		520	97	423	1,789	352	1,437	90,723	19,914	70,809
100～		166	23	143	525	74	451	24,823	3,743	21,080
不詳		-	-	-	-	-	-	455	359	96

外国人を含まない。

人口動態統計 2015 年 中巻 死亡 表 3、4-1 に基づく

(2) 死因別死亡数

(平成27年分)

	岡山市			岡山県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	6,555	3,294	3,261	21,525	10,888	10,637	1,290,444	666,707	623,737
感染症及び寄生虫症	129	69	60	402	189	213	25,240	12,307	12,933
腸管感染症	9	4	5	40	16	24	2,332	1,036	1,296
結核	8	4	4	21	12	9	1,956	1,169	787
呼吸器結核	6	3	3	17	9	8	1,723	1,064	659
その他の結核	2	1	1	4	3	1	233	105	128
敗血症	50	25	25	188	92	96	11,357	5,485	5,872
ウイルス肝炎	36	21	15	79	34	45	4,514	2,024	2,490
B型ウイルス肝炎	5	5	-	10	9	1	407	234	173
C型ウイルス肝炎	31	16	15	67	25	42	3,881	1,673	2,208
その他	-	-	-	2	-	2	226	117	109
HIV病	-	-	-	-	-	-	56	50	6
その他の感染症	26	15	11	74	35	39	5,025	2,543	2,482
新生物	1,826	1,042	784	5,767	3,428	2,339	381,664	225,453	156,211
悪性新生物	1,767	1,006	761	5,595	3,336	2,259	370,346	219,508	150,838
口唇、口腔及び咽頭	49	32	17	121	81	40	7,380	5,258	2,122
食道の悪性新生物	62	49	13	170	146	24	11,739	9,774	1,965
胃の悪性新生物	200	120	80	678	429	249	46,679	30,809	15,870
結腸の悪性新生物	148	64	84	467	228	239	34,338	17,063	17,275
直腸S状結腸移行部	69	39	30	186	114	72	15,361	9,755	5,606
肝及び肝内胆管	167	114	53	490	332	158	28,889	19,008	9,881
胆のう及び他の胆道	83	37	46	301	139	162	18,152	9,066	9,086
膵の悪性新生物	147	67	80	483	236	247	31,866	16,186	15,680
喉頭の悪性新生物	8	7	1	23	22	1	971	899	72
気管、気管支及び肺	351	247	104	1,135	837	298	74,378	53,208	21,170
皮膚の悪性新生物	8	1	7	29	5	24	1,505	745	760
乳房の悪性新生物	56	-	56	169	2	167	13,705	121	13,584
子宮の悪性新生物	25	-	25	85	-	85	6,429	-	6,429
卵巣の悪性新生物	25	-	25	66	-	66	4,676	-	4,676
前立腺の悪性新生物	36	36	-	144	144	-	11,326	11,326	-
膀胱の悪性新生物	39	27	12	130	88	42	8,130	5,582	2,548
中枢神経系	19	10	9	48	28	20	2,445	1,406	1,039
悪性リンパ腫	76	43	33	209	132	77	11,829	6,656	5,173
白血病	38	22	16	119	74	45	8,631	5,104	3,527
その他のリンパ組織	26	14	12	83	40	43	4,174	2,044	2,130
その他の悪性新生物	135	77	58	459	259	200	27,743	15,498	12,245
その他の新生物	59	36	23	172	92	80	11,318	5,945	5,373
中枢神経系	11	6	5	33	19	14	2,491	1,200	1,291
中枢神経系を除く	48	30	18	139	73	66	8,827	4,745	4,082
血液及び造血器の疾患	28	13	15	71	29	42	4,342	1,923	2,419
貧血	12	7	5	27	13	14	1,994	778	1,216
その他	16	6	10	44	16	28	2,348	1,145	1,203
内分泌、栄養及び代謝疾患	105	58	47	334	167	167	20,943	10,497	10,446
糖尿病	65	40	25	214	119	95	13,327	7,125	6,202
その他	40	18	22	120	48	72	7,616	3,372	4,244
精神及び行動の障害	61	20	41	156	40	116	13,190	4,088	9,102
血管性及び不明の認知症	47	15	32	125	30	95	11,118	3,150	7,968
その他の障害	14	5	9	31	10	21	2,072	938	1,134
神経系の疾患	230	99	131	583	245	338	30,911	13,843	17,068
髄膜炎	1	1	-	3	2	1	293	153	140
脊髄性筋萎縮症	20	9	11	41	25	16	2,266	1,331	935
パーキンソン病	63	35	28	141	66	75	7,159	3,332	3,827
アルツハイマー病	80	19	61	215	57	158	10,544	3,315	7,229
その他の神経系の疾患	66	35	31	183	95	88	10,649	5,712	4,937
眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-	-	4	3	1
耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-	-	14	7	7
循環器系の疾患	1,626	748	878	5,645	2,599	3,046	339,134	160,357	178,777
高血圧性疾患	27	8	19	89	27	62	6,726	2,605	4,121
高血圧性心疾患	11	2	9	40	10	30	3,213	1,176	2,037
その他	16	6	10	49	17	32	3,513	1,429	2,084
心疾患(高血圧性除く)	925	436	489	3,333	1,555	1,778	196,113	92,142	103,971
慢性リウマチ性心疾患	9	3	6	23	8	15	2,313	740	1,573
急性心筋梗塞	301	181	120	1,020	599	421	37,222	21,137	16,085
その他の虚血性心疾患	80	50	30	196	122	74	34,451	19,939	14,512
慢性非リウマチ性心内膜症	57	21	36	157	51	106	10,656	3,528	7,128
心筋症	17	7	10	61	33	28	3,831	2,224	1,607
不整脈及び伝導障害	91	34	57	315	139	176	30,300	14,689	15,611

死因	岡山市			岡山県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
心不全	357	131	226	1,527	579	948	71,860	26,961	44,899
その他の心疾患	13	9	4	34	24	10	5,480	2,924	2,556
脳血管疾患	555	252	303	1,855	858	997	111,973	53,576	58,397
くも膜下出血	62	21	41	202	71	131	12,476	4,643	7,833
脳内出血	149	86	63	541	279	262	32,113	17,541	14,572
脳梗塞	333	143	190	1,073	495	578	64,523	30,070	34,453
その他の脳血管疾患	11	2	9	39	13	26	2,861	1,322	1,539
大動脈瘤及び解離	78	35	43	253	111	142	16,887	8,616	8,271
その他の循環器系の疾患	41	17	24	115	48	67	7,435	3,418	4,017
呼吸器系の疾患	1,177	666	511	4,115	2,312	1,803	208,400	118,495	89,905
インフルエンザ	11	7	4	50	29	21	2,262	1,068	1,194
肺炎	654	358	296	2,396	1,297	1,099	120,953	65,609	55,344
急性気管支炎	2	1	1	8	3	5	445	181	264
慢性閉塞性肺疾患	82	66	16	279	218	61	15,756	12,642	3,114
喘息	7	2	5	30	11	19	1,511	573	938
その他の呼吸器系の疾患	421	232	189	1,352	754	598	67,473	38,422	29,051
消化器系の疾患	201	101	100	780	385	395	48,275	25,336	22,939
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10	4	6	34	11	23	2,666	1,511	1,155
ヘルニア及び腸閉塞	23	9	14	108	46	62	6,919	3,290	3,629
肝疾患	63	39	24	231	137	94	15,659	10,016	5,643
肝硬変	25	15	10	110	62	48	7,649	4,114	3,535
その他の肝疾患	38	24	14	121	75	46	8,010	5,902	2,108
その他の消化器系の疾患	105	49	56	407	191	216	23,031	10,519	12,512
皮膚及び皮下組織の疾患	7	3	4	29	10	19	1,648	612	1,036
筋骨格系・結合組織の疾患	38	13	25	96	35	61	6,100	2,308	3,792
腎尿路生殖器系の疾患	188	83	105	653	268	385	37,065	16,439	20,626
糸球体疾患	25	11	14	83	28	55	4,489	1,668	2,821
腎不全	136	64	72	461	207	254	24,560	11,908	12,652
急性腎不全	18	5	13	66	20	46	3,571	1,631	1,940
慢性腎不全	90	47	43	286	140	146	15,739	7,849	7,890
詳細不明の腎不全	28	12	16	109	47	62	5,250	2,428	2,822
その他の腎尿路生殖器系の疾患	27	8	19	109	33	76	8,016	2,863	5,153
妊娠、分娩及び産じょく	1	-	1	2	-	2	44	-	44
周産期に発生した病態	1	1	-	5	2	3	497	279	218
妊娠期間に関連する障害	-	-	-	-	-	-	39	22	17
出産外傷	-	-	-	-	-	-	6	5	1
特異的な呼吸障害	1	1	-	3	2	1	251	137	114
周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-	-	35	18	17
出血性障害及び血液障害	-	-	-	1	-	1	84	49	35
その他の発生した病態	-	-	-	1	-	1	82	48	34
先天奇形及び染色体異常	9	4	5	22	6	16	2,022	926	1,096
神経系の先天奇形	1	-	1	2	-	2	89	43	46
循環器系の先天奇形	4	1	3	9	2	7	952	409	543
心臓の先天奇形	1	-	1	2	-	2	670	295	375
その他の循環器系	3	1	2	7	2	5	282	114	168
消化器系の先天奇形	1	1	-	1	1	-	113	58	55
その他の先天奇形	3	2	1	7	3	4	568	295	273
他に分類されないもの	-	-	-	3	-	3	300	121	179
症状、徴候・異常臨床所見	538	140	398	1,734	466	1,268	103,046	31,873	71,173
老衰	472	105	367	1,505	345	1,160	84,810	20,894	63,916
乳幼児突然死症候群	-	-	-	-	-	-	96	61	35
その他の症状	66	35	31	229	121	108	18,140	10,918	7,222
傷病及び死亡の外因	390	234	156	1,131	707	424	67,905	41,961	25,944
不慮の事故	240	140	100	706	416	290	38,306	22,121	16,185
交通事故	36	24	12	121	86	35	5,646	3,886	1,760
転倒・転落	56	26	30	169	95	74	7,992	4,461	3,531
不慮の溺死及び溺水	44	26	18	119	64	55	7,484	3,911	3,573
不慮の窒息	62	34	28	161	82	79	9,356	4,764	4,592
煙、火・火炎への曝露	14	9	5	22	12	10	940	567	373
有害物質による中毒	6	5	1	12	9	3	612	382	230
その他の不慮の事故	22	16	6	102	68	34	6,276	4,150	2,126
自殺	120	85	35	346	250	96	23,152	16,202	6,950
他殺	1	-	1	3	2	1	314	138	176
その他の外因	29	9	20	76	39	37	6,133	3,500	2,633
特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

人口動態統計 下巻 死亡 表4に基づく

外国人を含まない

(3) 死亡数、主要死因別／保健センター別

岡山市

上段: 死亡数、下段: 人口10万人対死亡率

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	1828 (259.9)	悪性新生物	1892 (268.5)	悪性新生物	1775 (251.2)
心疾患(高血圧性除く)	964 (137.0)	心疾患(高血圧性除く)	966 (137.1)	心疾患(高血圧性除く)	929 (131.5)
脳血管疾患	633 (90.0)	肺 炎	616 (87.4)	肺 炎	659 (93.3)
肺 炎	623 (88.6)	脳血管疾患	581 (82.4)	脳血管疾患	557 (78.8)
その他の呼吸器系の疾患	400 (56.9)	老 衰	381 (54.1)	老 衰	473 (66.9)

北区中央保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	462 (251.8)	悪性新生物	495 (267.0)	悪性新生物	411 (219.4)
心疾患(高血圧性除く)	222 (121.0)	心疾患(高血圧性除く)	236 (127.3)	心疾患(高血圧性除く)	209 (111.6)
肺 炎	148 (80.7)	肺 炎	155 (83.6)	肺 炎	151 (80.6)
脳血管疾患	145 (79.0)	脳血管疾患	147 (79.3)	脳血管疾患	149 (79.5)
その他の呼吸器系の疾患	94 (51.2)	老 衰	88 (47.5)	老 衰	113 (60.3)

北区北保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	319 (297.2)	悪性新生物	313 (293.1)	悪性新生物	321 (301.0)
心疾患(高血圧性除く)	160 (149.1)	心疾患(高血圧性除く)	179 (167.6)	心疾患(高血圧性除く)	196 (183.8)
脳血管疾患	129 (120.2)	脳血管疾患	117 (109.5)	脳血管疾患	135 (126.6)
肺 炎	128 (119.3)	肺 炎	115 (107.7)	肺 炎	106 (99.4)
その他の呼吸器系の疾患	77 (71.7)	老 衰	72 (67.4)	老 衰	93 (87.2)

中区保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	371 (256.6)	悪性新生物	394 (272.4)	悪性新生物	362 (249.0)
心疾患(高血圧性除く)	161 (111.3)	心疾患(高血圧性除く)	176 (121.7)	心疾患(高血圧性除く)	167 (114.9)
肺 炎	123 (85.1)	肺 炎	107 (74.0)	肺 炎	118 (81.2)
脳血管疾患	119 (82.3)	脳血管疾患	105 (72.6)	脳血管疾患	101 (69.5)
その他の呼吸器系の疾患	87 (60.2)	その他の呼吸器系の疾患	71 (49.1)	老 衰	70 (48.2)

東区保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	263 (269.4)	悪性新生物	274 (281.8)	悪性新生物	288 (297.5)
心疾患(高血圧性除く)	181 (185.4)	心疾患(高血圧性除く)	178 (183.0)	心疾患(高血圧性除く)	166 (171.4)
脳血管疾患	108 (110.6)	肺 炎	117 (120.3)	肺 炎	105 (108.4)
肺 炎	96 (98.3)	脳血管疾患	78 (80.2)	脳血管疾患	86 (88.8)
老 衰	61 (62.5)	老 衰	57 (58.6)	老 衰	76 (78.5)

南区西保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	177 (255.7)	悪性新生物	199 (287.4)	悪性新生物	149 (215.7)
心疾患(高血圧性除く)	111 (160.4)	心疾患(高血圧性除く)	114 (164.6)	心疾患(高血圧性除く)	98 (141.8)
肺 炎	64 (92.5)	脳血管疾患	68 (98.2)	肺 炎	69 (99.9)
脳血管疾患	60 (86.7)	肺 炎	54 (78.0)	老 衰	56 (81.1)
老 衰	45 (65.0)	その他の呼吸器系の疾患	40 (57.8)	脳血管疾患	56 (81.1)

南区南保健センター

死 因	平成25年	死 因	平成26年	死 因	平成27年
悪性新生物	236 (233.3)	悪性新生物	217 (214.2)	悪性新生物	244 (241.0)
心疾患(高血圧性除く)	129 (127.5)	心疾患(高血圧性除く)	83 (81.9)	心疾患(高血圧性除く)	93 (91.8)
脳血管疾患	72 (71.2)	老 衰	72 (71.1)	肺 炎	81 (80.0)
肺 炎	64 (63.3)	肺 炎	68 (67.1)	老 衰	65 (64.2)
老 衰	52 (51.4)	脳血管疾患	66 (65.1)	脳血管疾患	59 (58.3)

各保健センターの管轄地域は平成21年度の管轄地域変更後の区分に基づいて、再集計した。
死亡に外国人を含むが、岡山市内の居住地不明者は含まない。
死亡率の計算には、下記の各年の6月末住民登録人口を用いた。

6月末住民登録人口	総計	中央	北	中区	東区	西	南
平成25年	703,449	183,485	107,330	144,606	97,634	69,220	101,174
平成26年	704,679	185,417	106,801	144,653	97,247	69,251	101,310
平成27年	706,510	187,311	106,662	145,366	96,822	69,090	101,259

(5) 年次主要死因

(上段 : 死亡数、下段 : 人口 10 万人対死亡率)

年	総数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
8	4,120	悪性 新生物 1243 (200.5)	心疾患(高血 圧症を除く) 649 (104.7)	脳血管 疾患 587 (94.7)	肺炎 355 (57.3)	不慮の 事故 171 (27.6)
9	4,252	悪性 新生物 1241 (198.8)	心疾患(高血 圧症を除く) 641 (102.7)	脳血管 疾患 615 (98.5)	肺炎 400 (64.1)	不慮の 事故 186 (29.8)
10	4,289	悪性 新生物 1332 (212.2)	心疾患(高血 圧症を除く) 676 (107.7)	脳血管 疾患 582 (92.7)	肺炎 384 (61.2)	不慮の 事故 193 (30.7)
11	4,571	悪性 新生物 1,348 (217.9)	心疾患(高血 圧症を除く) 715 (115.6)	脳血管 疾患 613 (99.1)	肺炎 469 (75.8)	不慮の 事故 205 (33.1)
12	4,511	悪性 新生物 1,418 (228.2)	心疾患(高血 圧症を除く) 682 (109.8)	脳血管 疾患 595 (95.8)	肺炎 420 (67.6)	不慮の 事故 195 (31.4)
13	4,604	悪性 新生物 1,379 (221.2)	心疾患(高血 圧症を除く) 732 (117.4)	脳血管 疾患 636 (102.0)	肺炎 431 (69.1)	不慮の 事故 200 (32.1)
14	4,519	悪性 新生物 1411 (225.3)	心疾患(高血 圧症を除く) 742 (118.5)	脳血管 疾患 556 (88.8)	肺炎 439 (70.2)	不慮の 事故 202 (32.3)
15	4,738	悪性 新生物 1454 (231.2)	心疾患(高血 圧症を除く) 755 (120.0)	脳血管 疾患 576 (91.6)	肺炎 492 (78.2)	不慮の 事故 208 (32.8)
16	4,638	悪性 新生物 1469 (232.8)	心疾患(高血 圧症を除く) 705 (111.7)	脳血管 疾患 563 (89.2)	肺炎 501 (79.4)	不慮の 事故 194 (30.7)
17	5,106	悪性 新生物 1496 (226.9)	心疾患(高血 圧症を除く) 808 (122.5)	脳血管 疾患 647 (98.1)	肺炎 537 (81.4)	不慮の 事故 217 (32.9)
18	5,241	悪性 新生物 1525 (230.6)	心疾患(高血 圧症を除く) 827 (125.0)	脳血管 疾患 655 (99.0)	肺炎 551 (83.3)	不慮の 事故 200 (30.2)
19	5,556	悪性 新生物 1670 (243.8)	心疾患(高血 圧症を除く) 902 (131.7)	脳血管 疾患 622 (90.8)	肺炎 565 (82.5)	不慮の 事故 197 (28.8)
20	5,763	悪性 新生物 1661 (241.7)	心疾患(高血 圧症を除く) 912 (132.8)	脳血管 疾患 679 (98.9)	肺炎 592 (86.2)	不慮の 事故 249 (36.3)
21	5,700	悪性 新生物 1691 (245.6)	心疾患(高血 圧症を除く) 882 (128.1)	脳血管 疾患 614 (89.2)	肺炎 576 (83.7)	不慮の 事故 224 (32.5)
22	6,088	悪性 新生物 1,756 (250.6)	心疾患(高血 圧症を除く) 944 (134.7)	脳血管 疾患 644 (91.9)	肺炎 621 (88.6)	不慮の 事故 248 (35.4)
23	6,167	悪性 新生物 1,738 (244.4)	心疾患(高血 圧症を除く) 933 (131.2)	肺炎 673 (94.7)	脳血管 疾患 588 (82.7)	老衰 250 (35.2)
24	6,414	悪性 新生物 1,773 (248.7)	心疾患(高血 圧症を除く) 1,014 (142.2)	肺炎 620 (87.0)	脳血管 疾患 594 (83.3)	老衰 312 (43.8)
25	6,426	悪性 新生物 1,821 (255.4)	心疾患(高血 圧症を除く) 958 (134.4)	肺炎 629 (88.2)	脳血管 疾患 621 (87.1)	老衰 352 (49.4)
26	6,388	悪性 新生物 1,877 (262.5)	心疾患(高血 圧症を除く) 955 (133.6)	肺炎 613 (85.7)	脳血管 疾患 575 (80.4)	老衰 381 (53.3)
27	6,555	悪性 新生物 1,767 (248.5)	心疾患(高血 圧症を除く) 925 (130.1)	肺炎 654 (92.0)	脳血管 疾患 555 (78.1)	老衰 472 (66.4)
全国	1,290,444	悪性 新生物 370,346 (295.5)	心疾患(高血 圧症を除く) 196,113 (156.5)	肺炎 120,953 (96.5)	脳血管 疾患 111,973 (89.4)	老衰 84,810 (67.7)
岡山県	21,525	悪性 新生物 5,595 (293.9)	心疾患(高血 圧症を除く) 3,333 (175.1)	肺炎 2,396 (125.8)	脳血管 疾患 1,855 (97.4)	老衰 1,505 (79.0)

全国、岡山県ともに平成 27 年分 人口動態統計 上巻 死亡表 5-19、5-20、下巻 死亡表 4 に基づく(外国人を含まない)

(6) 標準化死亡比(SMR)(死因・年齢階級、性別 平成 23～27 年 5 年分)

死亡数は各期間の岡山市の各疾病の死亡数で、外国人及び合併町村の合併前の死亡、過年次報告分を含み、岡山市内の居住地不明者を除く。下限及び、上限はそれぞれ 95%信頼区間

	65歳未満		65歳以上		男女全年齢
	男	女	男	女	
	SMR(下限～上限)	SMR(下限～上限)	SMR(下限～上限)	SMR(下限～上限)	
結核			91(59～133)	71(40～117)	79(57～107)
悪性新生物	97(91～103)	90(83～ 97)	99(96～101)	97(94～101)	97(95～ 99)
(内)食道の悪性新生物	108(83～139)	102(49～187)	86(73～100)	128(96～169)	96(85～108)
(内)胃の悪性新生物	92(77～110)	86(65～112)	87(80～ 95)	104(94～115)	93(87～ 98)
(内)結腸の悪性新生物	109(86～136)	103(78～132)	87(78～ 98)	81(72～ 91)	88(81～ 94)
(内)直腸S状結腸移行部	85(64～111)	58(34～ 93)	82(69～ 96)	93(76～112)	84(75～ 94)
(内)肝及び肝内胆管	94(75～116)	75(42～124)	131(120～142)	114(101～128)	119(112～127)
(内)胆のう及び他の胆道	97(63～142)	100(59～158)	95(82～110)	91(79～104)	93(85～103)
(内)膵の悪性新生物	98(78～121)	87(63～117)	100(89～112)	102(92～114)	100(93～107)
(内)気管、気管支及び肺	110(95～125)	99(77～126)	101(96～108)	89(81～ 98)	99(95～104)
(内)乳房の悪性新生物		101(85～118)		90(77～104)	94(84～105)
(内)子宮の悪性新生物		88(67～113)		86(69～107)	87(73～102)
(内)卵巣の悪性新生物		70(49～ 97)		127(103～156)	104(86～123)
(内)前立腺の悪性新生物	82(39～150)		85(74～ 97)		85(74～ 96)
(内)中枢神経系	96(54～159)	95(45～175)	158(105～229)	205(140～289)	143(114～177)
(内)悪性リンパ腫	75(46～116)	59(27～112)	114(97～134)	116(97～138)	108(96～121)
(内)白血病	94(63～134)	66(35～112)	80(63～101)	96(74～122)	86(74～ 99)
糖尿病	98(69～136)	70(30～138)	105(89～123)	97(83～114)	100(90～110)
パーキンソン病			138(112～168)	142(118～169)	140(122～159)
アルツハイマー病			147(119～179)	141(122～162)	142(126～159)
心疾患 (高血圧性除く)	96(86～106)	95(77～115)	97(93～102)	92(89～ 96)	95(92～ 97)
(内)急性心筋梗塞	154(132～178)	209(156～275)	162(150～174)	151(140～163)	157(150～165)
(内)心不全	164(133～200)	138(95～195)	106(98～114)	96(90～102)	102(97～106)
脳血管疾患	91(78～105)	111(90～135)	96(90～101)	98(94～104)	97(94～101)
(内)くも膜下出血	89(66～118)	140(107～181)	139(112～170)	114(98～131)	118(107～130)
(内)脳内出血	100(82～120)	84(56～119)	100(90～111)	96(86～106)	97(91～104)
(内)脳梗塞	75(49～110)	86(39～164)	92(85～ 99)	97(91～103)	94(90～ 99)
呼吸器系の疾患	100(84～119)	109(82～141)	108(105～112)	106(102～110)	107(104～110)
肺炎	96(75～122)	114(78～162)	102(97～107)	100(95～106)	101(98～105)
慢性閉塞性肺疾患	54(17～127)	54(1～298)	94(84～106)	86(68～108)	91(82～101)
肝硬変	56(35～ 85)	85(42～151)	86(66～110)	72(55～ 93)	75(63～ 87)
慢性腎不全	101(55～169)	33(4～118)	108(93～124)	118(103～134)	111(101～122)
交通事故	113(88～143)	107(62～171)	120(91～156)	139(103～183)	120(104～139)
転倒・転落	67(38～109)	222(114～387)	113(92～137)	111(90～136)	110(96～125)
不慮の溺死及び溺水	109(71～161)	73(29～150)	100(79～125)	116(94～141)	107(93～122)
自殺	98(88～109)	82(67～ 98)	79(64～ 97)	82(63～105)	90(83～ 97)

人口は各年次の6月末の性年齢階級別住民登録人口
基準死亡率は各年次の全国の性年齢階級別死因簡単分類別死亡率

(7) 乳児死亡数、乳児死因数

(平成 27 年分)

		1歳未満(内、4週未満)
Ba02	敗血症	1 (0)
Ba15	心疾患(高血圧症を除く)	1 (0)
Ba23	周産期に発生した病態	1 (1)
Ba29	周産期に発生した心血管障害	1 (1)
Ba35	先天奇形、変形及び染色体異常	4 (2)
Ba36	神経系の先天奇形	1 (1)
Ba37	心臓の先天奇形	1 (0)
Ba38	その他の循環器系の先天奇形	1 (0)
Ba42	その他の先天性奇形及び変形	1 (1)
Ba46	不慮の事故	3 (0)
Ba51	その他の不慮の窒息	3 (0)
総計		10 (3)

人口動態統計 2015 年 下巻 乳児死亡 表 2 から(日本人のみ)

(8) 死亡場所（外国人を含む 岡山市内の居住地不明者を除く）

年	性	死亡場所	北区中央	北区北	中区	南区南	南区西	東区	総計
平成 25年	男	自宅	109(14.0)	78(14.1)	79(12.2)	76(18.2)	42(12.5)	55(11.0)	439(13.6)
		入所施設	39(5.0)	38(6.9)	23(3.5)	16(3.8)	25(7.4)	13(2.6)	154(4.8)
		医療機関	592(76.3)	414(74.7)	529(81.6)	307(73.4)	258(76.8)	419(83.6)	2519(77.9)
		その他	36(4.6)	24(4.3)	17(2.6)	19(4.5)	11(3.3)	14(2.8)	121(3.7)
	男 集計		776(100.0)	554(100.0)	648(100.0)	418(100.0)	336(100.0)	501(100.0)	3233(100.0)
	女	自宅	95(12.0)	80(13.1)	53(9.1)	34(8.5)	25(7.6)	52(10.3)	339(10.5)
		入所施設	116(14.6)	126(20.7)	66(11.3)	73(18.3)	74(22.6)	55(10.9)	510(15.8)
		医療機関	545(68.8)	380(62.3)	457(78.1)	285(71.3)	218(66.5)	388(77.1)	2273(70.6)
		その他	36(4.5)	24(3.9)	9(1.5)	8(2.0)	11(3.4)	8(1.6)	96(3.0)
女 集計		792(100.0)	610(100.0)	585(100.0)	400(100.0)	328(100.0)	503(100.0)	3218(100.0)	
平成 26年	男	自宅	130(15.6)	65(11.1)	99(16.1)	56(13.5)	50(14.1)	35(7.2)	435(13.2)
		入所施設	41(4.9)	49(8.4)	26(4.2)	26(6.3)	27(7.6)	17(3.5)	186(5.7)
		医療機関	638(76.5)	449(76.8)	470(76.5)	312(75.2)	266(75.1)	420(87.0)	2555(77.8)
		その他	25(3.0)	22(3.8)	19(3.1)	21(5.1)	11(3.1)	11(2.3)	109(3.3)
	男 集計		834(100.0)	585(100.0)	614(100.0)	415(100.0)	354(100.0)	483(100.0)	3285(100.0)
	女	自宅	111(13.6)	72(12.7)	57(9.2)	38(11.2)	36(11.5)	47(9.4)	361(11.5)
		入所施設	113(13.8)	122(21.6)	81(13.1)	68(20.1)	69(22.0)	60(12.0)	513(16.3)
		医療機関	562(68.7)	350(61.9)	449(72.8)	221(65.4)	205(65.3)	384(77.1)	2171(68.9)
		その他	32(3.9)	21(3.7)	30(4.9)	11(3.3)	4(1.3)	7(1.4)	105(3.3)
女 集計		818(100.0)	565(100.0)	617(100.0)	338(100.0)	314(100.0)	498(100.0)	3150(100.0)	
平成 27年	男	自宅	118(15.1)	90(14.5)	94(15.1)	56(12.8)	45(13.5)	48(9.3)	451(13.6)
		入所施設	50(0.4)	61(9.8)	25(4.0)	25(5.7)	25(7.5)	13(2.5)	199(6.0)
		医療機関	581(74.1)	447(71.9)	490(78.8)	336(76.9)	253(75.7)	439(85.1)	2546(76.8)
		その他	35(4.5)	24(3.9)	13(2.1)	20(4.6)	11(3.3)	16(3.1)	119(3.6)
	男 集計		784(100.0)	622(100.0)	622(100.0)	437(100.0)	334(100.0)	516(100.0)	3315(100.0)
	女	自宅	109(13.4)	68(10.7)	60(9.9)	44(12.0)	31(10.0)	34(6.3)	346(10.6)
		入所施設	132(16.2)	152(23.9)	76(12.6)	75(20.4)	67(21.5)	59(10.9)	561(17.1)
		医療機関	538(66.0)	388(61.1)	449(74.2)	234(63.6)	196(63.0)	438(81.3)	2243(68.5)
		その他	36(4.4)	27(4.3)	20(3.3)	15(4.1)	17(5.5)	8(1.5)	123(3.8)
女 集計		815(100.0)	635(100.0)	605(100.0)	368(100.0)	311(100.0)	539(100.0)	3273(100.0)	

外国人を含むが、岡山市内の居所不明者を含まない。過年次分を含む。(カッコ内は100分率。小数点以下第2位の四捨五入により、各カッコ内の合計は100にならない。)

平成 25～27 年次の死因、センター別死亡場所

	死亡場所	北区中央	北区北	中区	南区南	南区西	東区	総計
悪性 新生物	自宅	137(10.0)	108(11.3)	89(7.9)	68(9.8)	56(10.7)	58(7.0)	516(9.4)
	入所施設	40(2.9)	36(3.8)	33(2.9)	25(3.6)	19(3.6)	21(2.5)	174(3.2)
	医療機関	1171(85.6)	793(83.2)	993(88.1)	598(85.8)	447(85.1)	738(89.5)	4740(86.3)
	その他	20(1.5)	16(1.7)	12(1.1)	6(0.9)	3(0.6)	8(1.0)	65(1.2)
	計	1368(100.0)	953(100.0)	1127(100.0)	697(100.0)	525(100.0)	825(100.0)	5495(100.0)
心 疾患	自宅	190(28.4)	131(24.5)	138(27.4)	91(29.8)	64(19.8)	83(15.8)	697(24.4)
	入所施設	67(10.0)	84(15.7)	41(8.1)	34(11.1)	35(10.8)	27(5.1)	288(10.1)
	医療機関	386(57.8)	296(55.3)	312(61.9)	172(56.4)	215(66.6)	409(77.9)	1790(62.6)
	その他	25(3.7)	24(4.5)	13(2.6)	8(2.6)	9(2.8)	6(1.1)	85(3.0)
	計	668(100.0)	535(100.0)	504(100.0)	305(100.0)	323(100.0)	525(100.0)	2860(100.0)
脳血 管疾 患	自宅	55(12.5)	23(6.5)	38(11.7)	27(13.7)	24(13.0)	37(13.6)	204(11.5)
	入所施設	84(19.0)	87(24.7)	34(10.5)	36(18.3)	38(20.7)	16(05.9)	295(16.7)
	医療機関	291(66.0)	235(66.8)	250(76.9)	131(66.5)	118(64.1)	217(79.8)	1242(70.1)
	その他	11(2.5)	7(2.0)	3(0.9)	3(1.5)	4(2.2)	2(0.7)	30(1.7)
	計	441(100.0)	352(100.0)	325(100.0)	197(100.0)	184(100.0)	272(100.0)	1771(100.0)
肺 炎	自宅	13(2.9)	15(4.0)	6(1.7)	3(1.4)	3(1.6)	5(1.6)	45(2.4)
	入所施設	21(4.6)	49(13.0)	20(5.7)	13(6.1)	18(9.6)	12(3.8)	133(7.0)
	医療機関	412(90.7)	307(81.2)	321(92.2)	194(91.1)	160(85.6)	296(93.1)	1690(89.0)
	その他	8(1.8)	7(1.9)	1(0.3)	3(1.4)	6(3.2)	5(1.6)	30(1.6)
	計	454(100.0)	378(100.0)	348(100.0)	213(100.0)	187(100.0)	318(100.0)	1898(100.0)
上 記 以 外	自宅	278(14.7)	176(13.0)	171(12.3)	115(11.9)	82(10.8)	88(08.0)	910(12.2)
	入所施設	279(14.8)	292(21.5)	169(12.2)	175(18.1)	177(23.4)	141(12.8)	1233(16.5)
	医療機関	1196(63.2)	797(58.8)	968(69.8)	600(62.2)	456(60.2)	828(75.2)	4845(65.0)
	その他	138(7.3)	90(6.6)	79(5.7)	75(7.8)	43(5.7)	44(4.0)	469(6.3)
	計	1891(100.0)	1355(100.0)	1387(100.0)	965(100.0)	758(100.0)	1101(100.0)	7457(100.0)

過年度訂正分及び外国人を含み、居住地不明者を除く。(カッコ内は 100 分率。小数点以下第 2 位の四捨五入により、各カッコ内の合計は 100 にならない。)

平成 25 年から 27 年までの 3 年間の年次、年齢階級別の死亡場所

		0～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳～	総計
平成 25 年	自宅	162(20.4)	147(15.5)	197(10.3)	273(9.7)	779(12.1)
	入所施設	3(0.4)	14(1.5)	114(6.0)	533(19.0)	664(10.3)
	医療機関	554(69.8)	758(80.0)	1564(82.0)	1916(68.2)	4792(74.2)
	その他	75(9.4)	28(3.0)	32(1.7)	86(3.1)	221(3.4)
	計	794(100.0)	947(100.0)	1907(100.0)	2808(100.0)	6456(100.0)
平成 26 年	自宅	165(23.0)	149(15.1)	222(12.1)	261(9.0)	797(12.4)
	入所施設	3(0.4)	19(1.9)	120(6.5)	557(19.2)	699(10.9)
	医療機関	488(68.2)	792(80.5)	1463(79.5)	1983(68.4)	4726(73.4)
	その他	60(8.4)	24(2.4)	35(1.9)	99(3.4)	218(3.4)
	計	716(100.0)	984(100.0)	1840(100.0)	2900(100.0)	6440(100.0)
平成 27 年	自宅	174(25.3)	154(16.0)	212(11.6)	257(8.3)	797(12.1)
	入所施設	10(1.5)	18(1.9)	124(6.8)	608(19.5)	760(11.5)
	医療機関	446(64.8)	763(79.5)	1449(79.3)	2132(68.5)	4790(72.7)
	その他	58(8.4)	25(2.6)	43(2.4)	116(3.7)	242(3.7)
	計	688(100.0)	960(100.0)	1828(100.0)	3113(100.0)	6589(100.0)

外国人を含み、市内の居住地不明者を含まない。過年次分を含む。(カッコ内は 100 分率。小数点以下第 2 位の四捨五入により、各カッコ内の合計は 100 にならない。)

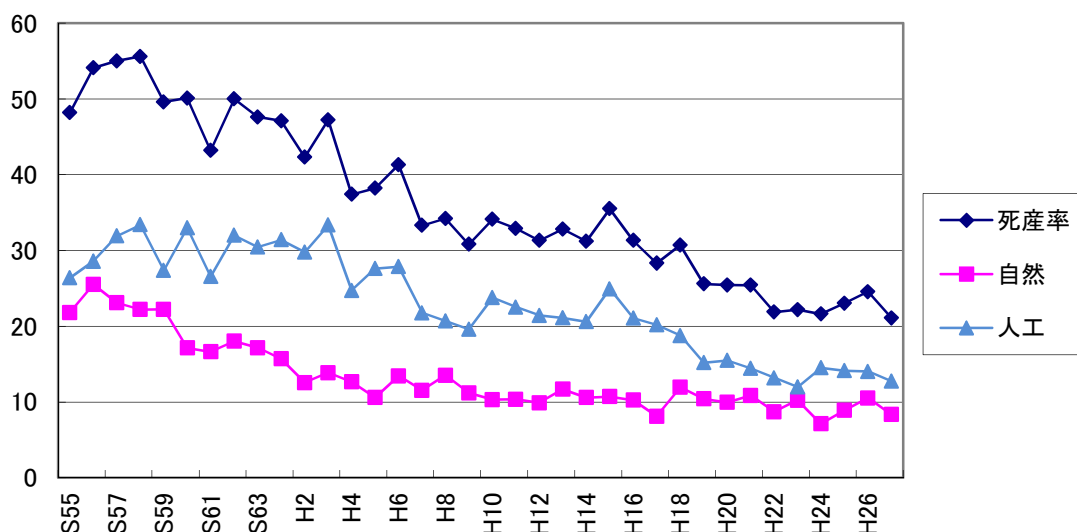
平成 25 年から 27 年までの 3 年間の死因、年齢階級別の死亡場所

		0～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳～	総計
悪性 新 生 物	自宅	73(8.4)	128(9.5)	191(10.3)	124(8.7)	516(9.4)
	入所施設	4(0.5)	7(0.5)	44(2.4)	119(8.4)	174(3.2)
	医療機関	791(90.5)	1209(89.8)	1599(86.3)	1142(80.3)	4741(86.3)
	その他	6(0.7)	3(0.2)	18(1.0)	38(2.7)	65(1.2)
	計	874(100.0)	1347(100.0)	1852(100.0)	1423(100.0)	5496(100.0)
心 疾 患	自宅	119(45.8)	146(41.8)	217(27.0)	215(14.8)	697(24.4)
	入所施設	(0.0)	8(2.3)	53(6.6)	227(15.7)	288(10.1)
	医療機関	127(48.8)	188(53.9)	515(64.1)	960(66.3)	1790(62.6)
	その他	14(5.4)	7(2.0)	18(2.2)	46(3.2)	85(3.0)
	計	260(100.0)	349(100.0)	803(100.0)	1448(100.0)	2860(100.0)
脳 血 管 疾 患	自宅	50(29.8)	35(17.9)	53(10.8)	66(7.2)	204(11.5)
	入所施設	2(1.2)	10(5.1)	47(9.6)	236(25.8)	295(16.7)
	医療機関	113(67.3)	149(76.0)	387(78.7)	593(64.8)	1242(70.1)
	その他	3(1.8)	2(1.0)	5(1.0)	20(2.2)	30(1.7)
	計	168(100.0)	196(100.0)	492(100.0)	915(100.0)	1771(100.0)
肺 炎	自宅	3(5.5)	4(2.6)	14(2.6)	25(2.2)	46(2.4)
	入所施設	2(3.6)	4(2.6)	27(5.0)	100(8.7)	133(7.0)
	医療機関	50(90.9)	144(93.5)	488(90.9)	1008(87.4)	1690(89.0)
	その他	(0.0)	2(1.3)	8(1.5)	20(1.7)	30(1.6)
	計	55(100.0)	154(100.0)	537(100.0)	1153(100.0)	1899(100.0)
上 記 以 外	自宅	256(30.4)	137(16.2)	156(8.2)	361(9.3)	910(12.2)
	入所施設	8(1.0)	22(2.6)	187(9.9)	1016(26.2)	1233(16.5)
	医療機関	407(48.4)	623(73.7)	1487(78.6)	2328(60.0)	4845(65.0)
	その他	170(20.2)	63(7.5)	61(3.2)	177(4.6)	471(6.3)
	計	841(100.0)	845(100.0)	1891(100.0)	3882(100.0)	7459(100.0)

過年次訂正分を含む。外国人を含み、市内の居住地不明者を含まない(カッコ内は 100 分率。小数点以下第 2 位の四捨五入により、各カッコ内の合計は 100 にならない。)

5 死産統計

(1) 自然－人工別死産の年次推移



(2) 死産数 (率)、自然－人工別／母の年齢別

(平成 27 年分)

自然・人工別	母の年齢(歳)						総計
	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～	
自然	0 (0.0%)	4 (7.3%)	7 (12.7%)	29 (52.7%)	9 (16.4%)	6 (10.9%)	55 (100.0%)
人工	11 (13.1%)	23 (27.4%)	15 (17.9%)	15 (17.9%)	11 (13.1%)	9 (10.7%)	84 (100.0%)
計	11 (7.9%)	27 (19.4%)	22 (15.8%)	44 (31.7%)	20 (14.4%)	15 (10.8%)	139 (100.0%)

日本における日本人の死産のみ(小数点以下第2位の四捨五入により各百分率の合計は100にならない)

(3) 死産数 (率)、自然－人工別／妊娠週数別

(平成 27 年分)

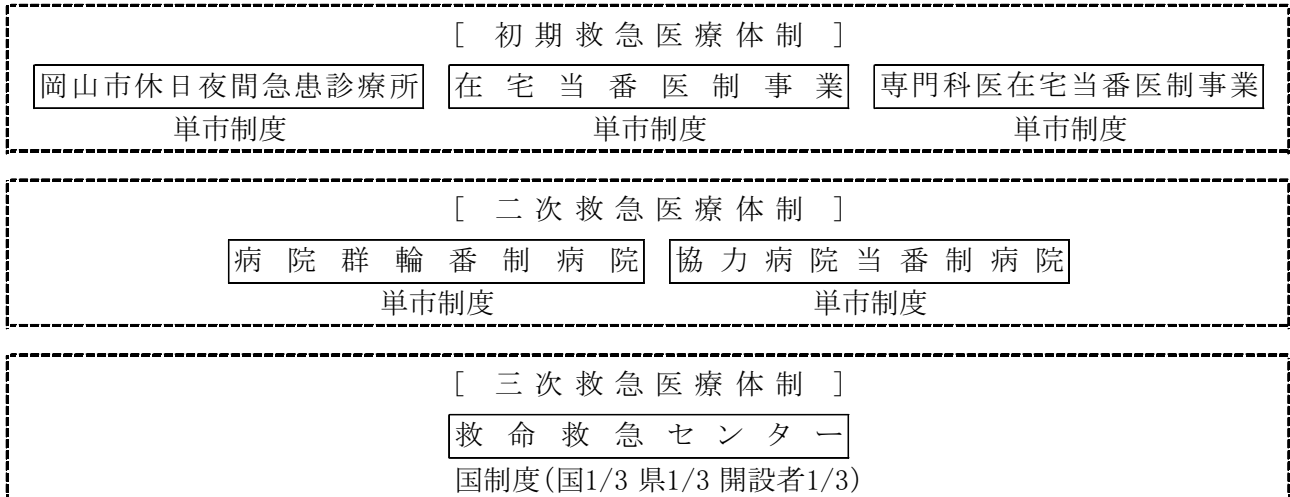
自然・人工別	妊娠週数(週)								総計
	～15	16～19	20～23	24～27	28～31	32～35	36～39	40～	
自然	12 (21.8%)	17 (30.9%)	7 (12.7%)	6 (10.9%)	1 (1.8%)	5 (9.1%)	7 (12.7%)	0 (0.0%)	55 (100.0%)
人工	33 (39.3%)	26 (31.0%)	25 (29.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	84 (100.0%)
計	45 (32.4%)	43 (30.9%)	32 (23.0%)	6 (4.3%)	1 (0.7%)	5 (3.6%)	7 (5.0%)	0 (0.0%)	139 (100.0%)

日本における日本人の死産のみ(小数点以下第2位の四捨五入により各百分率の合計は100にならない)

第2節 救急医療体制

休日・夜間における救急患者に対する医療を確保するため、救急医療体制の整備を図り、初期救急医療体制として岡山市休日夜間急患診療所を開設するとともに、在宅当番医制事業及び専門科医在宅当番医制事業を実施している。また、二次救急医療体制として病院群輪番制病院運営事業、協力病院当番制病院運営事業を実施している。

◎救急医療体制システム図



1 初期救急医療体制

(1) 休日夜間急患診療所運営事業

岡山市における救急医療対策事業の一環として、休日の昼間における救急患者に対し内科・小児科の応急の医療を行うため、昭和55年4月から休日急患診療所を開設した。

平成4年10月からは、夜間の急病患者にも対応するため、名称を「岡山市休日夜間急患診療所」と改め、毎夜間の診療も行っている。

◎診療科目体制

施設 旧市民病院別館1階

開設者 岡山市長

管理者 岡山市医師会長（指定管理者：一般社団法人岡山市医師会）

診療科目 内科・小児科

診療時間	ア 休日昼間	日曜日、祝日、年末年始 午前10時から正午、午後1時から午後5時
	イ 平日夜間	祝日、年末年始を除く月曜日から土曜日 午後8時30分から午後11時00分（小児科のみ）
	ウ 休日夜間	日曜日、祝日、年末年始 内科：午後8時30分から午後11時00分 小児科：午後7時30分から午後11時00分

診療体制	休日昼間	夜間
医師	2名	医師 1名 (休日夜間のみ 2名)
薬剤師	1名	薬剤師 1名
調剤補助事務員	1名	看護師 2名
看護師	3名	事務員 1名
事務員	3名(事務長を含む)	

◎診療状況

ア 休日昼間受診者

診療科別受診者数の推移 (休日昼間)

(単位：人)

診療科目	26年度		27年度		28年度	
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均
内科	1,232	17.1	1,324	18.4	1,344	18.7
小児科	3,987	55.4	3,805	52.8	3,528	49.0
計	5,219	72.5	5,129	71.2	4,872	67.7
診療日数	72日		72日		72日	

イ 夜間受診者

診療科別受診者数の推移 (夜間)

(単位：人)

診療科目	26年度		27年度		28年度	
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均
内科	376	5.3	468	6.5	505	7.0
小児科	4,261	11.7	4,324	11.8	4,166	11.4
計	4,637	12.7	4,792	13.1	4,671	12.8
診療日数	365日(内科は72日)		366日(内科は72日)		365日(内科は72日)	

(2) 在宅当番医制事業

休日における市民の医療を確保するため、市内医師会の協力を得て内科系の診療を実施している。

◎診療科目等体制

実施場所 旭川東地域、旭川西地域、西大寺・上道地域、瀬戸地域、一宮・津高・御津・建部・高松・足守地域、吉備・妹尾・福田地域、藤田・興除・灘崎地域の7地域において、市内5～8施設で実施。

診療科目 内科系

診療日 日曜日、休日、年末年始

診療時間 午前9時から午後5時まで

(単位：人)

医師会・地域		26年度		27年度		28年度	
		患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均
岡山市	旭川東地域	2,275	31.6	2,138	29.7	2,108	29.3
	旭川西地域	2,139	29.7	1,923	26.7	1,937	26.9
西大寺	西大寺・上道	2,432	33.8	2,408	33.4	2,249	31.2
赤磐	瀬戸	999	30.3	778	25.9	1,269	33.4
御津	一宮・津高・御津・建部	1,789	24.8	1,384	19.2	1,386	19.3
御津 (旧吉備)	高松・足守	952	13.2	1,127	15.7	1,001	13.9
都窪	吉備・妹尾・福田	1,681	33.0	1,398	27.4	1,296	24.5
北児島	藤田・興除・灘崎	485	11.5	764	15.9	1,046	18.4
計		12,752	26.2	11,920	24.4	12,292	24.2

※診療日数及び診療日の診療施設数は医師会ごとに異なる。※1日平均＝患者数÷診療実施施設数（年間のべ件数）

(3) 専門科医在宅当番医制事業

休日における市民の医療を確保するため、市内医師会の専門医会の協力を得て診療を実施している。

◎診療科目等体制

診療科目 眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科

診療日 日曜日、休日、年末年始

診療時間 午前9時から午後5時

(単位：人)

診療科目	26年度			27年度			28年度		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
眼科	668	141	809	661	161	822	474	136	610
耳鼻咽喉科	1,097	217	1,314	1,015	212	1,227	889	134	1,023
産婦人科	81	20	101	94	31	125	100	30	130
計	1,846	378	2,224	1,770	404	2,174	1,463	300	1,763
診療日数	72日			72日			72日		

2 二次救急医療体制

(1) 病院群輪番制病院運営事業

休日または夜間における重症救急患者の医療確保を図るため、岡山県南東部圏域の病院群が共同連携して輪番方式により実施している。

◎ 診療科目等体制

実施主体 国立病院機構岡山医療センター・岡山市立市民病院・岡山赤十字病院・岡山済生会総合病院・川崎医科大学総合医療センター・労働者健康安全機構岡山労災病院

診療科目 内科・小児科

診療日 日曜日、休日、年末年始の昼間及び毎夜間

診療時間 昼間 午前9時から午後5時

夜間 午後5時から翌日午前9時

県南東部圏域 岡山市・備前市・玉野市・瀬戸内市・赤磐市・吉備中央町・和気町 [5市2町]

(単位：人)

区 分	26年度				27年度				28年度			
	内科	小児科	外科他	計	内科	小児科	外科他	計	内科	小児科	外科他	計
夜 間	9,266	6,011	5,797	21,074	8,770	5,613	5,586	19,969	9,498	5,653	5,308	20,459
休 日	3,710	3,251	2,626	9,587	3,529	3,316	2,744	9,589	3,671	2,589	2,635	8,895
計	12,976	9,262	8,423	30,661	12,299	8,929	8,330	29,558	13,169	8,242	7,943	29,354
診療日数	休日72日, 夜間365日				休日72日, 夜間366日				休日72日, 夜間365日			

(2) 協力病院当番制病院運営事業

圏域内の人口密度及び病院群輪番制病院までの距離などを考慮し、必要な地域について病院群輪番制病院を補完する協力病院として、当番制により実施している。

◎ 診療科目等体制

実施主体 岡山市地区 14 病院

岡山記念病院・旭ヶ丘病院・心臓病センター榊原病院・岡山協立病院・光生病院・佐藤病院・岡山中央病院・おおもと病院・岡山リハビリテーション病院・岡山博愛会病院・国保福渡病院・岡山旭東病院・岡村一心堂病院・岡山西大寺病院

玉野市地区 5 病院

玉野三井病院・玉野市民病院・大西病院・玉野中央病院・岡山赤十字病院玉野分院

備前地区 7 病院

北川病院・平病院・市立日生病院・市立備前病院・市立瀬戸内市民病院・赤磐医師会病院・市立吉永病院

診療科目 内科系

診療日 日曜日、休日、年末年始の昼間

診療時間 午前9時から午後5時

(単位：人)

科目 地域	26年度				27年度				28年度			
	内科	小児科	外科他	計	内科	小児科	外科他	計	内科	小児科	外科他	計
岡山	462	13	254	729	350	21	235	606	475	20	242	737
玉野	173	66	123	362	219	7	89	315	157	16	107	280
備前	553	43	261	857	468	17	247	732	607	19	243	869
計	1,188	122	638	1,948	1,037	45	571	1,653	1,239	55	592	1,886
診療日数	72日(玉野, 備前70日)				72日(玉野, 備前70日)				72日(玉野, 備前70日)			

3 三次救急医療体制

初期救急及び二次救急医療施設で対応できない重篤者を受け入れるため、高度な診療機能を有する24時間診療体制の救命救急センターが整備されている。岡山県下では川崎医科大学附属病院高度救命救急センター・岡山大学病院高度救命救急センター・岡山赤十字病院救命救急センター・津山中央病院救命救急センター・倉敷中央病院救命救急センターの5施設が整備されている。

4 精神科救急医療体制

緊急な医療を必要とする精神障害者等のための精神科救急医療体制を確保することを目的に、岡山県及び岡山市が実施主体として「岡山県精神科救急医療システム整備事業実施要綱」に基づき次の事業を共同実施している。

- (1) 精神科救急情報センター事業 詳細は103ページを参照
- (2) 精神科病院群輪番体制整備事業 詳細は104ページを参照
- (3) 精神科救急常時対応型医療施設備事業 詳細は104ページを参照

5 災害医療救護体制

都市化の進展等に伴い、自然災害に加え、大規模な交通事故や高層ビル火災等の都市型災害が発生する危険性が高まっている。このため、岡山市内医師会連合会をはじめ関係者の協力を得て、昭和63年から災害発生時に適切かつ迅速な救急医療活動が実施できる体制づくりを行っている。

◎概要

- ・平時から、医師1名、看護師2名を1班とする医療救護班を、岡山市医師会連合会(14班)、岡山市医師会(14班)、日本赤十字社岡山県支部(8班)編成し、災害時又は事故発生時、速やかに出動できる体制を整備。また、後方医療施設として22病院・4診療所を指定している。
- ・災害又は事故等の発生により、集団的多数(おおむね10人)の傷病者が発生し、救助を必要とする場合医療救護班の派遣を要請する。
- ・医療救護班は、市が設置する救護所において傷病者に対する救急処理、重傷者等の後方医療施設への転送の可否及び順位の設定、死亡の確認等を行う。

第4章 医 療

第 1 節 医 務

第1節 医 務

1 医療施設の状況

(1) 医療施設数

各年度の4月1日現在

年度	病院				一般診療所			歯科診療所			助産所	衛生 検査所
	総数	特定機能病院	臨床研究中核病院	地域医療支援病院	総数	有床施設	無床施設	総数	有床施設	無床施設		
27	54	1		8	698	72	626	441	1	440	11	6
28	55	1		9	700	71	629	444	1	443	10	7
29	56	1	1	9	700	69	631	445	1	444	11	6

(2) 病院・一般診療所の病床種別ごとの施設数

平成29年4月1日現在

区 分	病 院	一 般 診 療 所
総 数	56	69
一 般 病 床	41	68
療 養 病 床	18	15
精 神 病 床	8	
感 染 症 病 床	2	
結 核 病 床	2	

(3) 病院・一般診療所・歯科診療所の病床数

各年度の4月1日現在

年度	全病床数	病 院						一 般 診 療 所			歯 科 診 療 所
		総 数	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	総 数	一 般	療 養	総 数
27	12,036	10,977	2,706	8	58	974	7,231	1,055	882	173	4
28	11,990	10,970	2,666	8	53	972	7,271	1,016	843	173	4
29	11,985	11,010	2,666	8	53	1,092	7,191	971	804	167	4

(4) 病院・診療所・助産所数

年 度	区 分	増 加 数	減 少 数	年度末現在数
26	一般診療所	48	47	697
	歯科診療所	18	22	441
	助産所	2	1	11
27	病 院	3	2	55
	一般診療所	64	62	699
	歯科診療所	14	13	442
	助産所	2	3	10
28	病 院	3	2	56
	一般診療所	58	60	697
	歯科診療所	20	17	445
	助産所	1	0	11

(5) 医療関係従事者数（概数）

区分 年月日	医	歯	薬	助	看	准	保	歯	歯
	師	科 医 師	劑 師	産 師	護 師	看 護 師	健 師	科 技 工 士	科 衛 生 士
14.12.31	2,282	774	1,663	151	6,122	2,076	264	222	671
16.12.31	2,279	791	1,709	171	6,332	1,932	272	230	730
18.12.31	2,397	833	1,809	180	6,847	1,887	279	200	786
20.12.31	2,627	886	1,920	219	7,532	1,949	303	232	930
22.12.31	2,689	904	1,911	214	8,005	1,806	298	275	952
24.12.31	2,744	932	1,897	233	8,424	1,673	324	225	1,002
26.12.31	2,861	934	1,962	231	9,145	1,514	310	231	1,067

2 医療関係事務

(1) 医務関係許可件数

区分 年度	病院開設許可	診療所開設許可	病院変更許可	診療所変更許可	病院構造設備使用許可	診療所構造設備使用許可	助産所構造設備使用許可	診療所管理者選任許可	診療所管理者兼任許可	診療所専属薬剤師免除許可	死体解剖許可	死体保存許可
	26		39		22		12	0	0	2	2	0
27	2	55	60	35	44	20	1	0	2	1	1	0
28	2	38	51	40	43	24	0	0	0	2	0	0

(2) 免許等各種受付・交付

区分 年度	大臣免許														知事免許				
	医師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師	保健師	診療放射線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	歯科技工士	視能訓練士	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	准看護師	栄養士	クリーニング師	調理師	製菓衛生師
26	134	56	122	35	1,018	276	34	55	0	17	14	105	70	146	64	63	6	200	35
27	168	40	123	32	912	155	25	42	0	2	18	98	61	125	71	65	7	201	43
28	173	59	122	38	977	189	24	55	1	0	11	115	61	130	71	84	6	179	30

3 医療相談

年度	26	27	28
相談件数	286	383	360

4 立入検査等の状況

(1) 医療法第25条に基づく立入検査

年度	施設別	立入検査数	文書による指導件数	処分件数		告発件数
				改善命令	その他の命令	
26	病院	54	40			
	診療所	12	12			
27	病院	54	30			
	診療所	11	11			
28	病院	55	34			
	診療所	0	0			

(2) 医療法第27条に基づく立入検査

年度	施設別	新規開設に伴う検査件数	構造設備の変更に伴う検査件数
26	病院	5	43
	診療所	0	12
	助産所	0	0
27	病院	9	35
	診療所	3	17
	助産所	1	0
28	病院	10	33
	診療所	1	23
	助産所	0	0

(3) 臨床検査技師等に関する法律第20条の5に基づく立入検査

年度	施設別	立入検査件数	文書による指導件数
26	衛生検査所	6	0
27	衛生検査所	6	0
28	衛生検査所	4	0

第5章 保 健 事 業

第 1 節 母子保健事業

第 2 節 齒科保健事業

第 3 節 健康増進事業

第 4 節 精神保健事業

第 5 節 特定保健対策事業

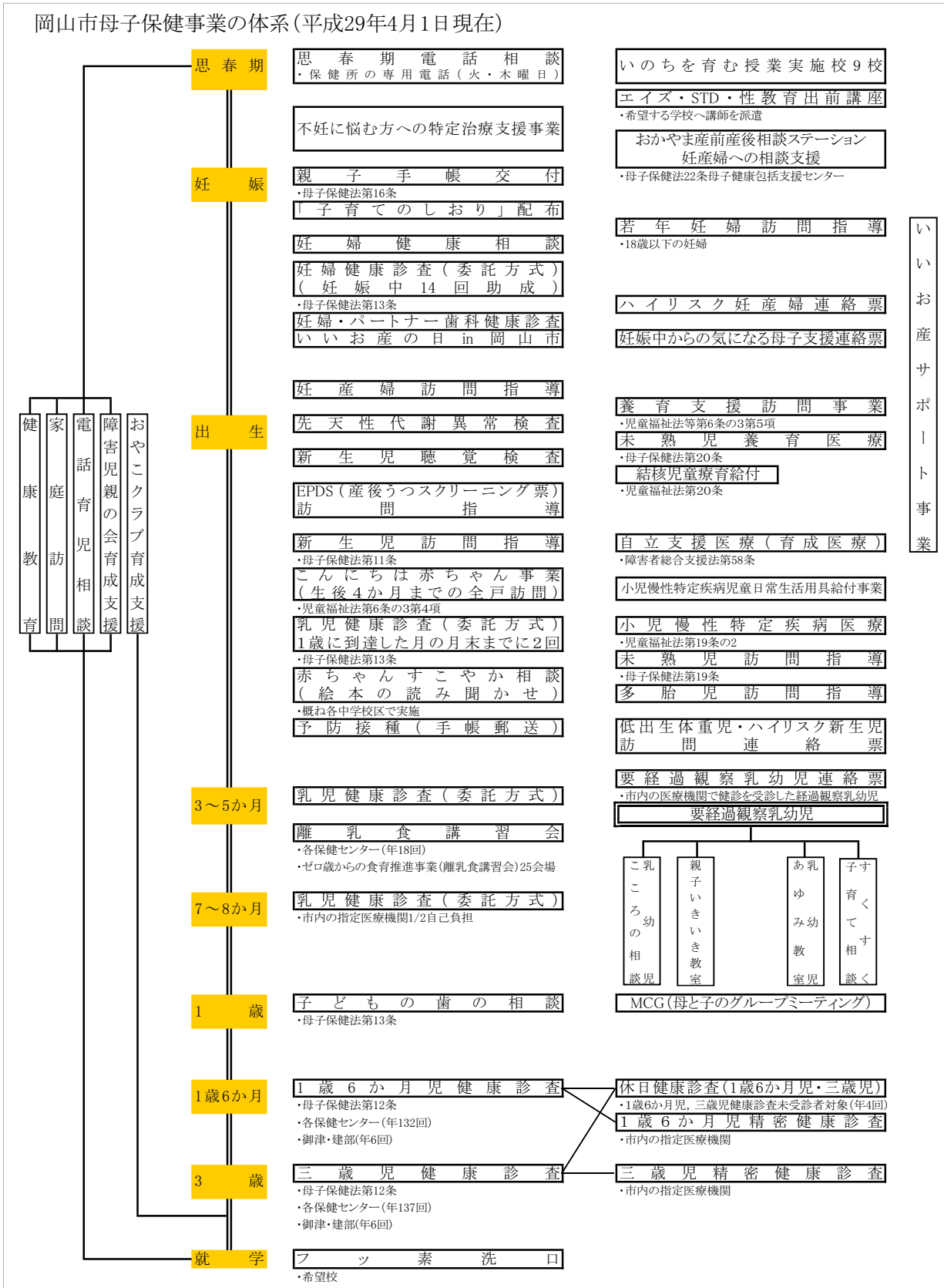
第 6 節 感染症対策事業

第 7 節 地域保健活動

第1節 母子保健事業

母子保健事業は、母性の尊重と乳幼児の健康の保持増進という母子保健法の基本理念に基づき、すべての母と子及びその家族を対象に継続的援助を行うものである。生涯にわたる健康づくりの基礎として母子保健活動に重点を置き、思春期から妊娠、出産、育児、乳幼児期を通して一貫した切れ目のないきめ細やかな支援事業を展開していく。

岡山市母子保健事業の体系(平成29年4月1日現在)



1 相談・普及啓発事業

(1) 親子（母子健康）手帳の交付（母子保健法第 15 条及び第 16 条による。）

親子（母子健康）手帳の交付は、妊婦から産婦へ、さらに乳幼児へと一貫した母子保健対策を実施するための出発点として重要なものである。

◎ 妊娠届出状況

区分 年度	届出数	性病の検査 を受けた者 の数	結核の検査 を受けた者 の数	妊 娠 週 数					
				11週以内	12～21週	22～27週	28週以上	分娩後	不詳
27	6,727	1,054	1,618	6,352	319	30	15	11	0
28	6,624	1,049	1,649	6,296	294	12	19	3	0

(2) 健康相談

妊婦健康相談、赤ちゃんすこやか相談等個別の相談支援を行うことにより母子保健に関する正しい知識の普及啓発を図っている。

ア 思春期電話相談

電話を通じて思春期に特有の健康問題に関する相談に応じ、適切な保健指導を行うことにより、母性の健康の保持増進と性意識の健全育成を図ることを目的として実施している。

（毎週火曜日、木曜日に保健所の専用電話で実施）

年度	件数
27	310
28	405

イ 妊婦健康相談

妊娠中の疾病や異常を予防し、安全に分娩させ、母体の早期回復と新生児の保育の適正化を図り、母乳栄養への意識を高めることを目的として実施している。

（親子（母子健康）手帳交付時に実施）

◎ 妊婦健康相談

区分 年度	回数	総数	相談数		妊娠週数					
			妊娠	その他	15週以内	16～19週	20～23週	24～27週	28週以上	不明
27	2,162	2,162	2,157	5	2,121	17	9	3	7	0
28	3,614	3,614	3,611	3	3,557	27	13	4	10	0

◎ おかやま産前産後相談ステーション（子育て世代包括支援センター母子保健型）

妊娠期から概ね出産後 1 年未満の産婦と乳児、その家族を対象とした相談窓口として、平成 28 年 9 月に開設。助産師などの専門職が親子手帳の交付や、妊娠・出産・育児についての相談に応じている。

年度	来所者数 (実数)	来所目的(重複あり)					電話相談
		妊娠届	受診券交換等	来所相談	妊婦体験	体重測定	
28	1,736	995	612	154	34	40	98

※平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの集計

ウ 母子サンデーサポート事業

妊婦や子育て中の母親を対象に癒しのケア等を行うことにより、育児の不安やストレスを解消し、いきいきとした子育てができるよう岡山母子の支援を考える会を通じ、活動の支援を行う。

区分 年度	回数	延人員
27	20	38
28	20	34

エ 電話育児相談

気軽に育児の悩みが相談できる窓口として、保健所に専用電話を設置して実施している。

区分 年度	相談回数	指 導 区 分					
		指導済み	要継続児	要 継 続 指 導 (内 訳)			
				訪問指導	育児相談	電話相談	その他
27	486	527	53	29	0	10	14
28	486	571	42	25	0	5	12

オ 赤ちゃんすこやか相談

乳幼児の成長・発達に関することや、母親の育児上の悩み・不安について相談や助言を行い、日常生活の中で解決が図られるよう適切な育児支援を行うことを目的として実施している。

◎乳 児

区分 年度	実施回数(回)	実受診数	延受診数	発育状況(延)			栄養別(3か月未満)(実)			相談結果(延)	
				大	中	小	母乳	混合	人工	発達上問題のある児	要継続児
				90パーセント以上	10～90パーセント	10パーセント未満					
27	371	2,704	7,284	109	7,170	271	1,668	963	60	272	328
28	373	2,599	7,885	158	7,356	276	1,542	1,019	60	325	202

◎幼 児

区分 年度	実相談数	延相談数	発育状況(延)			相談結果(延)	
			大	中	小	発達上問題のある児	要継続児
			90パーセント以上	10～90パーセント	10パーセント未満		
27	12	44	0	43	1	3	0
28	5	35	0	38	0	4	1

カ 絵本の読み聞かせ事業

赤ちゃんすこやか相談や、健診などの機会をとらえて、地域の関係機関（愛育委員会、おやこクラブ、文庫、保育士、ボランティア等）と連携して、育児支援の推進を図っている。

区分 年度	実施回数	参加人数	
		乳幼児(人)	保護者(人)
		27	127
28	110	2,421	2,313

(3) 健康教育

ア いいお産サポート事業

11月3日をいいお産の日とし、出産の現状を知り、より良いお産についての理解を深めるための機会とし、市民向けのイベントを実施している。

イ 離乳食講習会

離乳期に乳以外の形のある食物に慣れさせ、幼児食への移行が順調に進むように適切な指導を行うことによって、望ましい食生活の基盤づくりをしていくことを目的として実施している。

年度	区分	実施回数	受講者数
27		18	526
28		18	529

ウ ゼロ歳からの食育推進事業

離乳食に関して、家庭での食育、ライフステージに応じた栄養指導の更なる充実を目的とする。身近な公民館等で地域の栄養改善協議会等の協力により、平成21年度から実施している。

年度	区分	実施回数	参加者数	
			乳児	保護者
27		25	572	586
28		25	575	542

エ いのちを育む授業

中学3年生を対象に、いのちの重みを感じ、自分自身や周囲の人を大切にすることを育むことを目指し、平成18年度から「いのちを育む授業」を実施している。学校の授業時間の中に位置づけ、親子ボランティア・愛育委員・民生委員・おやこクラブなど地域のボランティアの協力を得て実施している。

いのちを育む授業

年 度	学 校 数	参加者数(延べ)			
		生 徒	乳 児	保 護 者	地域ボランティア
27	9	5,724	536	546	526
28	9	5,563	541	586	483

(4) 訪問指導事業

母子保健法第11条、第17条、第19条及び岡山市妊産婦訪問指導実施要綱、岡山市新生児訪問指導実施要綱、岡山市養育支援訪問事業実施要綱に基づき、妊産婦及び新生児等に対し、保健師・助産師等による訪問指導を実施し、母体の健康保持増進、健全な子の出生を図るとともに、乳幼児の発育・栄養・環境・疾病予防について支援している。

年度	区分	妊産婦	乳 児		幼 児	児童虐待	
			総 数	うち新生児			うち未熟児
27		1,688	3,535	552	248	1,820	1,602
28		1,403	3,322	562	178	1,518	1,397

(5) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）

すべての乳児がいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供に結びつける。また、地域の愛育委員の訪問ボランティアが訪問することで地域のつながりを持ち、親の孤立を防止するとともに、地域全体で親を支援する体制を構築していくことを目的とし、平成20年12月から実施している。

年度	訪問対象者数 (各年1月～12月生まれ)	訪問ボランティア 訪問件数	職員訪問件数	訪問率
27	6,590	5,254	1,184	97.7%
28	6,458	5,091	1,218	97.7%

(6) 養育支援訪問事業

養育が困難になっている家庭に対して、具体的な育児に関する技術指導や養育者の精神的なサポートを行うことにより、個々の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図り、当該家庭において安定した養育が可能となるよう支援することで、児童虐待を未然に防止することを目的とし、平成17年度から実施している。

年度	件数	延訪問回数
27	35	902
28	32	717

(7) ハイリスク妊産婦連絡票

妊娠中から児童虐待の発生を未然に防止するため、産婦人科医療機関とハイリスク妊産婦の情報共有し、連携して支援することを目的として、平成16年3月から実施している。

年度	連絡票件数	
	妊婦	産婦
27	117	240
28	172	278

(8) 低出生体重児・ハイリスク新生児訪問連絡票

周産期医療機関とハイリスク新生児の情報を共有することにより、後遺症の発症頻度が高いハイリスク新生児の地域における長期的なフォローアップをすすめることを目的とし、実施している。

年度	連絡票件数
27	245
28	196

2 検査、健康診査

(1) 妊婦一般健康診査・妊婦超音波検査・妊婦血液検査・妊婦クラミジア抗原検査・B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。妊婦の健康診査の徹底を図り、疾病等を早期に発見し、適切な指導等を行うことを目的とする。

妊婦一般健康診査は、平成19年度までは妊娠前半期と後半期に2回実施、平成20年度は5回実施していたが、平成21年度からは、妊婦一般健康診査に加え、妊婦超音波検査と妊婦血液検査を併せて、医療機関に委託して実施している。

妊婦一般健康診査は、妊婦1人につき14回以内とし、妊娠初期から妊娠23週までは4週間に1回、妊娠24週から妊娠35週までは2週間に1回、妊娠36週以降分娩までは、1週間に1回で実施している。妊婦超音波検査は、妊婦1人につき4回以内とし、8週頃、20週頃、30週頃、37週頃を目安に、必ず妊婦一般健康診査と併せて実施している。妊婦血液検査は、妊婦1人につき2回以内とし、26週頃、37週頃に必ず妊婦一般健康診査と併せて実施している。

平成22年度途中から、HTLV-1抗体価検査が追加され、妊婦一般健康診査第1回目の健診に含めて行っている。また、平成23年度から妊娠30週頃を目安に妊婦クラミジア抗原検査が追加され、平成28年度からは妊娠34週頃を目安にB群溶血性レンサ球菌（GBS）検査と、妊婦一般健康診査第1回目に不規則抗体検査が追加された。（受診票は親子（母子健康）手帳別冊の受診票つづりに添付）

項目	区分	年度	受診者数 (延人数)	健 診 結 果			
				異常なし	要 観 察	要精検	要 医 療
妊婦一般健康診査	27	77,780	71,180	1,460	295	4,845	
	28	75,969	69,288	1,755	313	4,613	
妊婦超音波検査	27	25,388	24,388		157	843	
	28	24,531	23,494		160	877	
妊婦血液検査	27	12,261	9,667	296	185	2,113	
	28	11,905	9,397	457	203	1,849	
妊婦クラミジア抗原検査	27	6,312	6,253			59	
	28	6,208	6,142			66	
B群溶血性レンサ球菌(GBS)検査	27						
	28	5,727	5,350			377	

(2) 乳児一般健康診査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康診査の徹底を図り、心身障害等の異常を早期に発見し、適切な指導等を行うことを目的とする。医療機関に委託して1歳に到達した月の月末までに2回実施している。（受診票は親子（母子健康）手帳別冊の受診票つづりに添付）

年度	区分	受診者数(延)	健 診 結 果			
			異常なし	要 観 察	要 精 検	要 医 療
27		10,677	9,835	482	87	273
28		10,390	9,548	512	86	244

(3) B型肝炎母子感染防止事業

岡山市B型肝炎母子感染防止事業実施要綱に基づいて行うもの。医療機関に委託して妊婦にHBs抗原検査等を実施することにより、B型肝炎の母子感染をおこすおそれのある妊婦を発見し、これらの妊婦から生まれた乳児に対し、B型肝炎ワクチン投与等の予防措置を実施している。

◎ 妊婦の検査状況

年度	区分	Hbs抗原検査者数(A)	Hbs抗原陽性者数(B)	陽性率(B/A) (%)
27		6,629	1	0.015
28		6,499	3	0.046

(4) 先天性代謝異常等検査

従来、先天性代謝異常疾患及びクレチン症の早期発見を図るため、新生児（生後4～6日）について血液によるマススクリーニング検査を実施していた。平成24年度から先天性代謝異常等検査にタンデムマス検査を導入し、6疾患から19疾患の早期発見・早期治療が可能になった。

年度	区分	先天性代謝異常等				クレチン症	
		基本5項目		タンデムマス13項目		受診者数	患者数
		受診者数	患者数	受診者数	患者数		
27		(7,182) 6,164	(1) 1	(7,182) 6,164	(2) 2	(7,182) 6,164	(6) 6
28		(6,883) 5,914	(1) 1	(6,883) 5,914	(1) 1	(6,883) 5,914	(5) 5

* () 内は、岡山県外に住所を有する新生児受診者を含む

(5) 新生児聴覚検査

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で、必要な治療や療育を受け、聴覚障害によってもたらせるコミュニケーション障害を軽減するため、新生児に対する自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）による聴覚検査を平成13年7月から県事業として実施。平成20年4月から市事業として実施している。

年度	検査数	健診結果		
		異常なし(初回検査)	異常なし(確認検査)	要再検
27	5,739	5,566	127	46
28	5,437	5,292	114	31

(6) 3～5か月児健康診査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康増進を図るとともに、疾病や障害を早期に発見し、適切な指導を行うことを目的とし（受診票は親子（母子健康）手帳別冊の受診票つづりに添付）、平成6年度から医療機関へ委託して実施している。

◎健康診査の状況

区分 年度	対象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	発育状況(体重)			栄養種別(3か月未満)		
				大 90パーセン タイル以 上	中 10～90 パーセン タイル	小 10パーセン タイル未 満	母乳	混合	人工
27	6,526	6,067	93.0	287	4,781	999	3,534	2,253	280
28	6,347	5,969	94.0	304	4,628	1,037	3,202	2,601	166

区分 年度	指導区分(延)				診査所見(延)											
	正 常	要 観 察	要 精 検	要 医 療	脱 先 天 性 股 関 節 白 節	口 唇 ・ 口 蓋 裂	形 態 異 常	斜 頸	心 臓 疾 患	皮 膚 疾 患	呼 吸 器 疾 患	消 化 器 疾 患	神 精 経 障 害 ・ そ の 他	そ の 計		
27	5,438	401	115	117	85	6	0	10	48	281	3	7	8	92	540	
28	5,333	389	97	158	60	8	0	5	52	317	5	8	13	89	557	

(7) 7・8か月児健康診査

母子保健法第13条及び岡山市7・8か月児健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康の保持増進を図るとともに、疾病や障害を早期に発見し、適切な指導を行うことを目的として医療機関に委託して実施している。

◎健康診査の状況

区分 年度	対象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	発育状況(体重)			指導区分(延)			
				大 90パーセン タイル以 上	中 10～90 パーセン タイル	小 10パーセン タイル未 満	正 常	要 観 察	要 精 検	要 医 療
27	6,561	4,604	70.2	289	3,496	819	4,029	445	28	103
28	6,391	4,589	71.8	349	3,413	827	4,011	445	36	105

区分 年度	診 査 所 見 (延)											
	発 育 の 異 常	精 神 発 達 障 害	運 動 発 達 障 害	視 聴 覚 の 異 常	痙 攣	異 循 環 呼 吸 器 系	血 液 疾 患	腹 部 消 化 器 異 常	皮 膚 の 疾 患	形 態 異 常	そ の 他	計
27	83	7	82	19	4	50	28	38	254	44	72	681
28	102	6	93	20	3	37	31	37	273	49	70	721

(8) 1歳6か月児健康診査

母子保健法第12条及び岡山市1歳6か月児健康診査実施要綱に基づいて行うもの。身体及び精神発達の上で、重要な時期である1歳6か月児について、疾病等の早期発見及び育児支援を行うことを目的として実施している。平成15年度から年4回日曜日の健診実施日を設けている。

ア 一般健康診査の状況

区分 年度	実 施 回 数	対 象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	発育状況			
					体重			身長3パーセ ンタイトル未 満
					97パーセン タイトル以 上	3～97パー セント タイトル	3パーセン タイトル未 満	
27	140	6,441	6,065	94.2	96	5,768	199	469
28	141	6,521	6,214	95.3	114	5,881	219	468

区分 年度	発達状況				指導区分(延)				個別相談件数		
	言 語		運 動		正 常	要 観 察	要 精 検	要 医 療	心 理	栄 養	歯 科
	正 常	観 察	正 常	観 察							
27	5,265	703	5,936	112	4,324	1,468	207	91	362	859	957
28	5,381	701	6,096	106	4,427	1,441	267	117	348	838	858

区分 年度	診 査 所 見 (延)																
	耳 の 異 常	鼻 咽 喉 の 異 常	眼 の 異 常	皮 膚 の 異 常	呼 吸 器 疾 患	四 肢 の 異 常	心 臓 疾 患	口 腔 異 常	精 神 発 達 異 常	言 葉 の 遅 れ	歩 行 遅 延	ひ き つ け	扁 桃 腺 肥 大	腫 頸 部 リン パ 腺	脳 性 小 児 麻 痺	そ の 他	計
27	7	3	57	457	74	44	82	9	22	410	74	116	4	2	0	577	1,938
28	5	5	43	426	89	40	89	9	26	450	52	105	9	3	0	625	1,976

イ 歯科健康診査の状況

区分 年度	対 象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	むし歯の状況(延本数)			むし歯のある児(実数)				う 蝕 有 病 者 率 (%)	不 正 咬 合	軟 組 織 疾 患	そ の 他 の 異 常
				総 数	う 1 人 歯 平 均 数	処 置 歯 数	A 型	B 型	C 型	計				
27	6,441	6,061	94.1	170	0.03	6	62	4	1	67	1.1	267	413	73
28	6,521	6,211	95.2	188	0.03	13	52	9	3	64	1.0	281	464	68

(9) 三歳児健康診査

母子保健法第12条及び岡山市三歳児健康診査施要綱に基づいて行うもの。身体発育及び精神発達の面から重要な時期である三歳児に対し、医師等による発育状態、疾病の有無等の健診を実施している。各種心身障害の早期発見及び早期療育を行うことを目的として実施している。平成17年度から年4回日曜日の健診実施日を設けている。

ア 一般健康診査の状況

区分 年度	実施回数	対象数	受診数	受診率 (%)	発育状況		
					体重		
					97パーセント 以上	3～97パー セント	3パーセント 未満
27	142	6,474	5,912	91.3	83	5,578	242
28	144	6,410	6,001	93.6	88	5,670	243

区分 年度	正常	指導区分(延)			
		身体面		精神面	
		要観察	要精検	要医療	計
27	3,693	1,354	896	140	2,390
28	3,840	1,433	794	92	2,319

◎ 診査所見(延)

区分 年度	診査所見(延)												尿検査 蛋白+
	胸郭異常	け有熱 い無熱 れ熱 ん時	貧血	眼の異常	四肢の異常	皮膚の異常	耳鼻咽喉の疾患	扁桃腺肥大	心臓疾患	呼吸器疾患	言語障害		
27	9	214	8	351	10	502	50	27	91	131	187	45	
28	6	217	1	344	14	407	46	47	98	137	169	26	

イ 歯科健康診査の状況

区分 年度	対象数	受診数	受診率 (%)	むし歯の状況(延本数)			むし歯のある児(実数)					う蝕有病者率 (%)	不正咬合	軟組織疾患	異その他 常の
				総数	1人平均 歯数	処置歯数	A型	B型	C1型	C2型	計				
27	6,474	5,889	91.0	4,023	0.683	832	845	289	5	43	1,182	20.1	1,776	312	228
28	6,410	5,983	93.3	3,794	0.634	762	787	303	7	41	1,138	19.0	1,834	375	267

3 要経過観察乳幼児対策事業

各種健診等の結果、要経過観察児、発育・発達状況が心配される乳幼児に対する支援を目的として実施している。

ア すくすく子育て相談：小児科医、歯科医等による身体発育・発達に関する相談や子育て相談

（1歳6か月児健康診査、三歳児健康診査の受診時期を超過した未受診者を対象とする）

区分 年度	実施回数	内科							歯科				
		小児科受診数		指導区分(延)					歯科受診者数	指導区分			
		実数	延数	問題なし	要観察	要精検	要医療	その他		問題なし	要清掃	経過観察	要治療
27	6	6	6	3	3	0	0	0	6	1	0	3	2
28	6	11	11	0	9	2	0	0	10	3	0	2	5

イ 乳幼児こころの相談：児童精神科医による情緒・精神発達に関する相談

区分 年度	実施回数	受診数		指導区分(延)										
		実数	延数	(問題 放置 可 なし)	(問 題 再 来 観 察 に 関 連 な い)	こ こ ろ の 相 談 に 関 連 な い	(要 指 導 室)	要 精 検 ・ 要 療 育	他 機 関 紹 介				保 育 園 他	フ 保 健 師 等 の
									児 童 発 達 支 援	教 室 の	支 援 セ ン ター	市 発 達 障 害 者		
27	73	250	271	1	17	4	220	3	0	5	0	0	25	
28	73	255	263	0	26	8	208	6	2	6	4	1	24	

ウ 乳幼児あゆみ教室：運動発達の遅れが気になる乳幼児に対して、専門の指導員、保健師等による日常生活習慣の中での関わり方や、体操による発達アドバイスを行う教室。

エ 親子いきいき教室：情緒・精神発達に問題が疑われる児や子育てに不安を有する保護者に対して児童精神科医・臨床心理士・保育士・保健師等による親子のふれあいや集団生活等の指導を通して児の発達を促したり育児を見直す教室。

(単位：組)

区分 年度	実施回数	来所数		来所時年齢				教室終了時事後方針(重複あり)									
		実数	延数	0歳	1歳	2歳	3歳以上	放 置 可 な い	保 健 師 等 の フ ォ ロ ー	教 室 継 続	乳 幼 児 こ こ ろ の 相 談	保 育 園	医 療 機 関	児 童 デ イ	児 童 相 談 所	転 出	
																	0歳
乳幼児	27	12	16	65	8	7	1	0	0	7	8	0	0	4	0	0	0
あゆみ教室	28	12	16	73	8	8	0	0	0	5	5	0	4	2	3	0	0
親子	27	8	27	94	0	4	23	0	0	12	0	1	0	11	11	0	2
いきいき教室	28	12	39	130	0	10	29	0	0	27	0	10	1	9	2	0	0

オ MCG（母と子のグループミーティング）

育児不安や、育児困難感を抱える母親たちが同じ悩みを持つ母親と話し合い、自らの課題に気づくことで、親子関係を見直し虐待を未然に防止することを目的とする。

区分 年度	実施回数	母		子	
		実数	延数	実数	延数
27	24	17	95	19	107
28	23	16	94	21	129

4 医療等援護

(1) 未熟児養育医療の給付

入院療育の必要な乳児に対し、医療給付を行うものであり、出生体重が 2,000g 以下または生活力が特に薄弱な未熟児が対象となる。[母子保健法第 20 条]

◎ 出生体重別給付新規認定数

出生体重 年度	総 数	対前年度比(%)	1,000g以下	1,001～ 1,500g	1,501～ 2,000g	2,001～ 2,500g	2,501g以上
			27	174	114.5	23	20
28	143	82.2	13	23	46	36	25

(2) 自立支援医療（育成医療）の給付（中核市移行に伴い、平成 8 年度より市が実施）

身体に障害のある児童に対して障害を除去し、生活の能力を得るために必要な医療の給付を行うものであり、身体障害者福祉法で掲げる程度の障害を持つ又は放置により将来において同程度の障害を残すと認められる児童が対象となる。[障害者総合支援法第 5 8 条、岡山市自立支援医療費（育成医療）支給認定実施要綱]

◎ 自立支援医療（育成医療）給付認定数

疾患 年度	総 数	対前年度比(%)	肢体不 自由によるもの	視覚障 害によるもの	聴覚・平 衡機能 障害によるもの	音声・言 語・そしゃく 機能障害 によるもの	心臓障 害によるもの	腎臓障 害によるもの	小腸機 能障害 によるもの	その他 の内臓 障害によるもの	免疫機 能障害 によるもの	肝臓機 能障害 によるもの
			27	138	81.7	15	15	2	23	16	0	2
28	118	85.5	19	24	0	50	9	0	2	13	0	1

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業（旧 特定不妊治療費助成事業）

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1 回の治療費が高額であり、その経済的負担が大きいことから十分な治療を受けることが出来ず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくないことから、治療に要する費用の一部を助成している。

平成 16 年 10 月 1 日から事業実施。平成 28 年 1 月分より、初回特定不妊申請の助成額の拡充と男性不妊治療についても助成。

年 度	助 成 件 数
27	987
28	931

5 おやこクラブの育成

◎ おやこクラブネットワーク

市内に居住する乳児から就園前の幼児とその親を対象に、親と子の仲間づくりをすすめるとともに、健康の保持増進を図ることを目的に活動している。

平成18年度から合併地区である御津・灘崎地区おやこクラブを平成20年度から建部地区おやこクラブを加え、平成21年度には瀬戸地区おやこクラブを加えるとともに、政令指定都市への移行に伴い、組織体制を6ブロックから5ブロック体制としたが、平成25年度から6ブロック体制に戻し活動している。また、ブロックの名称を「北区中央ほしブロック」「北区北ゆきブロック」「中区つきブロック」「東区はなブロック」「南区西そらブロック」「南区南おひさまブロック」と決め、地区活動のほか、ブロック別交流会等のブロック活動やネットワーク全体の活動を繰り広げている。その中で母と子の健康づくり普及啓発事業として、おやこクラブの活動や岡山市の健康情報をPRするおやこクラブネットワーク発行の情報誌「通信あんだんて」を市から委託を受けて作成している。

また地域における子育てグループリーダーの育成や子育てグループ活動の事業を市から委託を受けて実施している。

1 会員数

年度	区分	地区数	会員数	会員数内訳	
				親	子
27		72	3,233	1,505	1,728
28		72	2,790	1,292	1,498

2 ブロック別会員数

ブロック名	会員数(親+子)
北区中央ほし	689 (320+369)
北区北ゆき	544 (251+293)
中区つき	659 (306+353)
東区はな	374 (173+201)
南区西そら	206 (94+112)
南区南おひさま	318 (148+170)
計	2,790 (1,292+1,498)

(※会員数は平成28年9月現在)

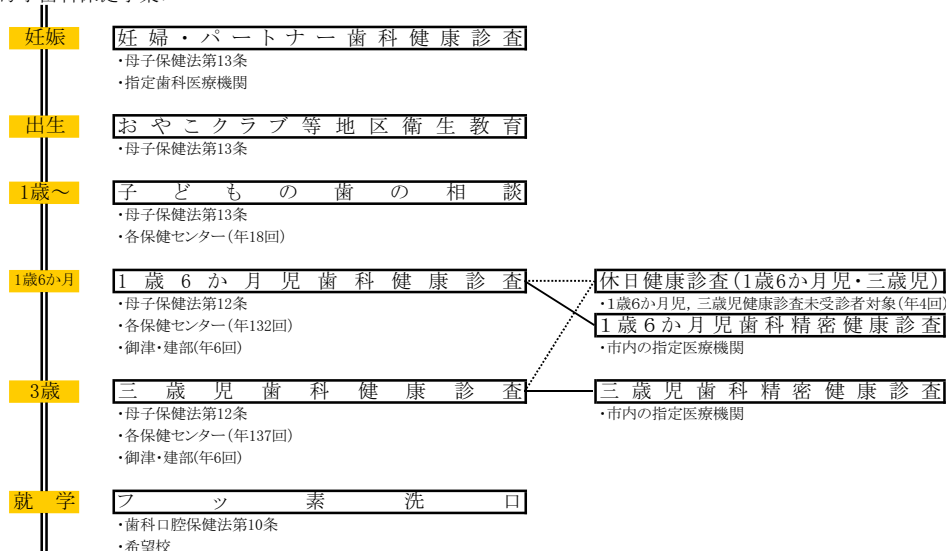
第2節 歯科保健事業

口腔の健康は、国民が健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たしているとともに、国民の日常生活における歯科疾患の予防に向けた取組が、口腔の健康の保持にきわめて有効である。

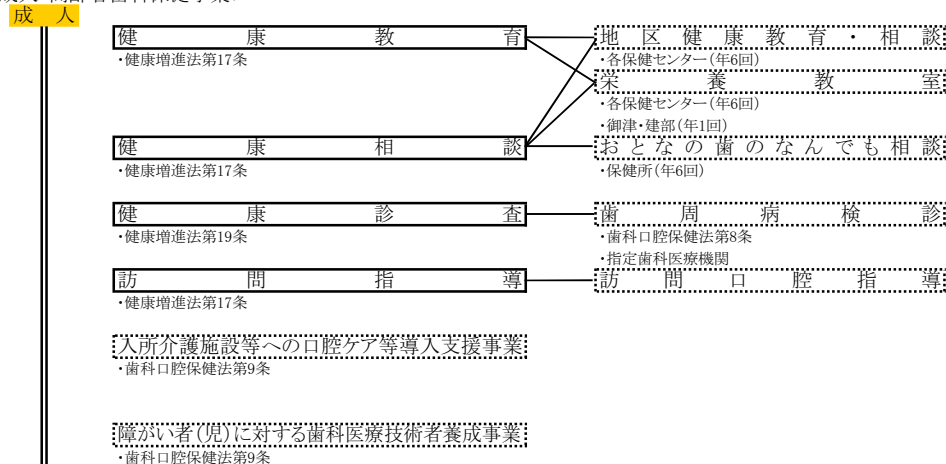
歯科保健事業は、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、①国民が、生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることを促進すること、②乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯科口腔保健を推進すること、③保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的に歯科口腔保健を推進すること、を基本理念として行う。

岡山市歯科保健事業の体系(平成29年4月1日現在)

<母子歯科保健事業>



<成人・高齢者歯科保健事業>



<その他>

- 多職種連携等調査研究事業 (歯科口腔保健法第11条)
- 実習生・歯科医師臨床研修指導 (歯科衛生士養成校3校、岡山大学病院臨床研修歯科医)

1 母子歯科保健事業

ア 妊婦・パートナー歯科健康診査

平成27年10月から、妊婦とそのパートナーを対象に自身と生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を目的に歯科健康診査が追加され、妊娠期間中に1回、指定医療機関で実施している。

年度	妊婦	パートナー
27(半期)	1,225	591
28	1,697	762

イ 子どもの歯の相談

満1歳から就学時までの幼児を対象に、各保健センターで歯科医師による検診、歯科衛生士による指導、希望者へのフッ素塗布を実施している。

年度	回数	受診数	フッ素塗布者数
27	36	1,192	960
28	36	1,306	989

ウ 小学校等におけるフッ素洗口

永久歯の虫歯予防のためフッ素洗口（ブクブクうがい）を実施している。

年度	保育園	幼稚園	認定こども園	小学校	合計
27	11	9	1	11	32
28	9	9	2	8	28

エ 母子に対する歯科衛生教育（おやこクラブ、幼稚園児、保護者を対象）

年度	実施回数	人数
27	63	2,710
28	51	1,942

2 成人・高齢者歯科保健事業

ア 入所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業

歯科保健医療サービスの提供が困難な入所介護施設等に対し、歯科医師や歯科衛生士を派遣することで施設利用者の口腔の機能と衛生状態の改善・向上を図るとともに、各事業所が主体的に口腔ケア等を行う契機とする。（平成28年度 2か所実施）

イ 障害者（児）に対する歯科医療技術者養成事業

障害者（児）への歯科治療に関して、様々な状態に応じた知識や技術を有する歯科専門職を育成し、市内の歯科診療所で、むし歯や歯周病といった一般的な治療（1次治療）が行えるようにすることにより、岡山大学病院や旭川荘などの高次医療機関において、全身麻酔を要するような2次、3次治療が円滑に実施できる体制を整備する。

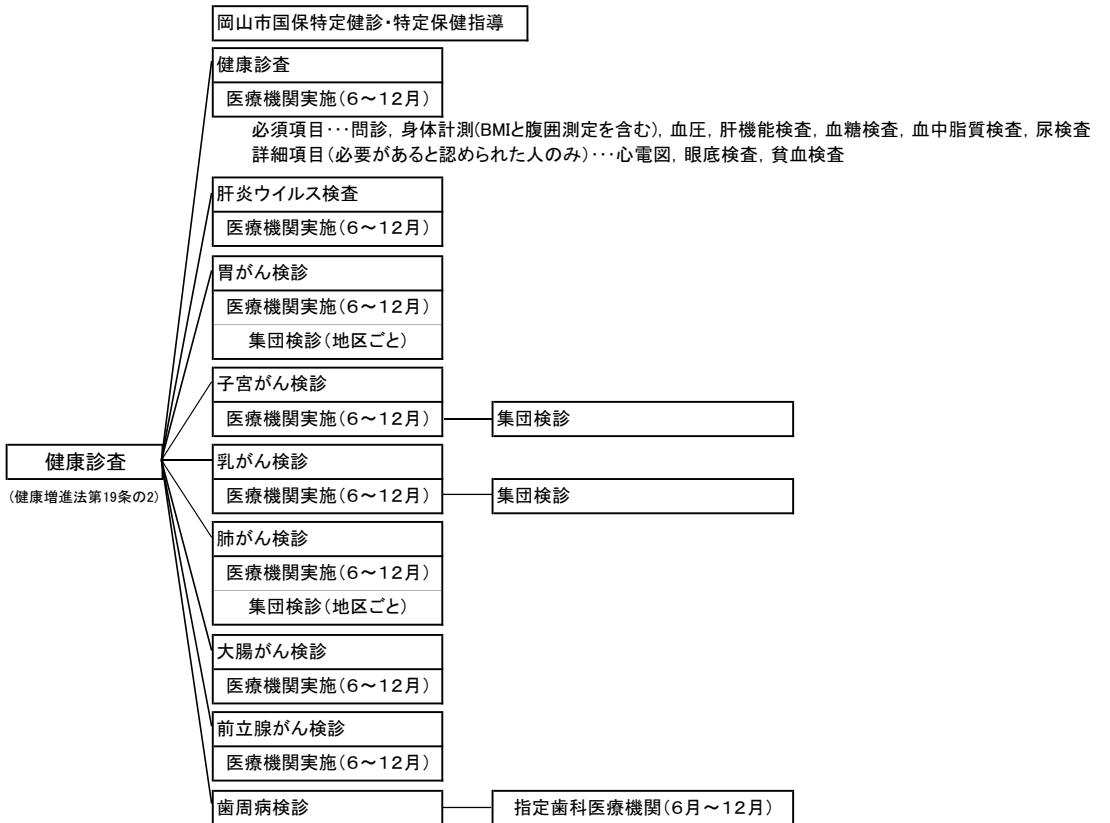
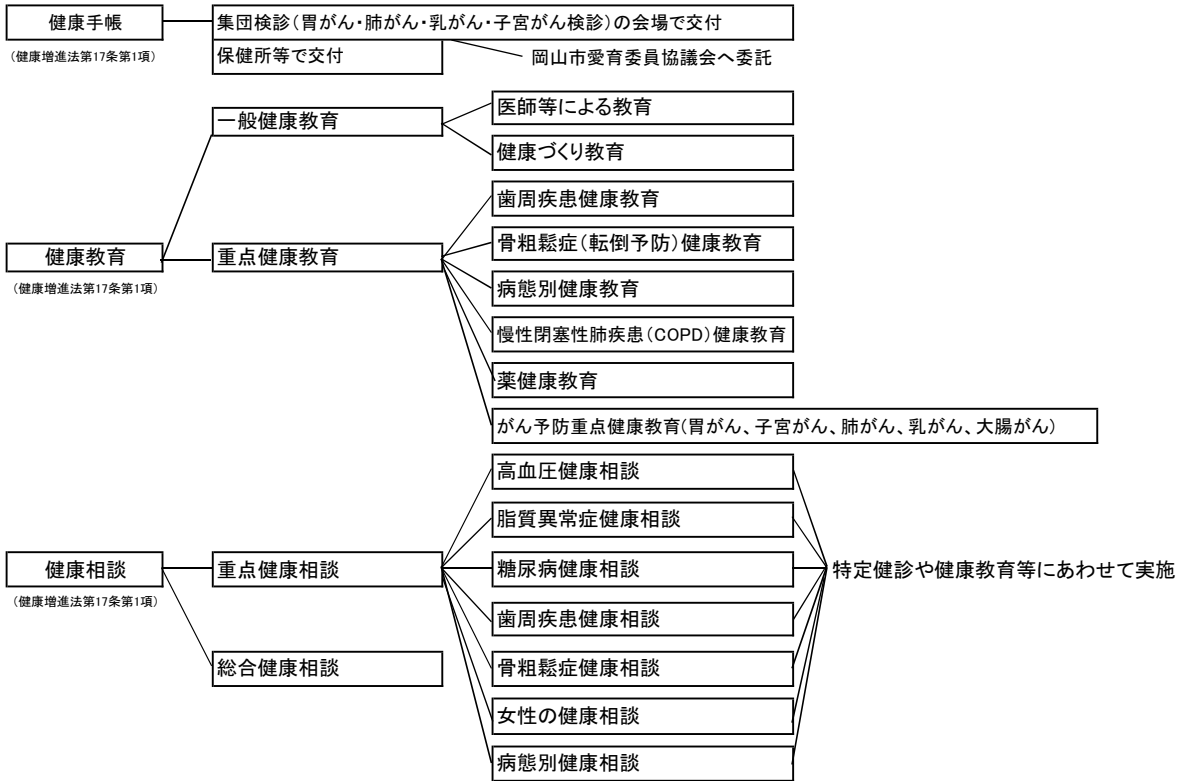
ウ 多職種連携等調査研究事業

がん患者における歯科治療や口腔ケアの方法等を集積し、標準的な方法を地域の歯科医療機関に広め、病院内および病院と診療所等の連携をすすめ、がん治療前、入院下でのがん治療中、術後フォローアップ中、外来通院がん治療中および緩和ケア中の歯科治療や口腔ケア等を実際に行うことができる歯科医療機関を増やすことによって、岡山市におけるがん治療の質を向上する。

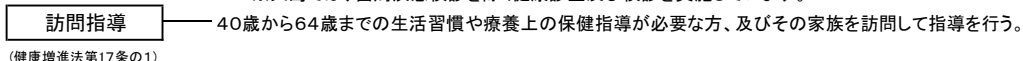
第3節 健康増進事業

健康増進法に基づき、生活習慣病等の予防や早期発見に関する健康増進事業を実施する。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき細かい保健事業を実施する。

I 健康増進事業（平成29年度）



※医療機関実施については居住地域に関係なく、岡山市内の医療機関(岡山大学病院を除く)で受診できます。
 ※子宮がん及び乳がんの集団検診は御津・建部の地域で実施しています。
 ※犬島では、歯周疾患検診を除く健康診査及び検診を実施しています。



1 年度別健康増進事業の実施状況

事業	年度		事業内容	27	28
健康手帳の交付	70歳以上			6,945	6,495
	40歳以上70歳未満			10,939	12,551
	20歳以上40歳未満			1,633	2,051
	計			19,517	21,097
健康教育	一般健康教育	回数		635	578
		受講者数		43,673	29,293
	重点健康教育	回数		294	265
		受講者数		9,538	9,434
	計	回数		929	843
		受講者数		53,211	38,727
健康相談	総合健康相談	回数		4,445	4,791
		受講者数		5,621	5,655
	重点健康相談	回数		205	190
		受講者数		291	364
	計	回数		4,650	4,981
		受講者数		5,912	6,019
健康診査	後期高齢者・生保健診			10,708	11,364
	肝炎ウイルス検査			8,823	7,767
	胃がん検診			28,909	16,713
	子宮がん検診			20,203	18,547
	乳がん検診			25,028	25,072
	肺がん検診			58,380	53,956
	大腸がん検診			52,655	44,229
	前立腺がん検診			13,801	13,363
訪問指導	実 人 員			264	284
	延 人 員			382	430

2 健康教育

健康教育は、生活習慣病の予防、健康増進等に関する正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に役立てることを目的として実施している。

平成 28 年度

区分	内 容	回数	受講者数	64歳以下 (再掲)
	一般健康教育	578	29,293	18,028
集団 健康 教育	歯周疾患	96	3,173	1,317
	骨粗鬆症	24	1,049	243
	病態別	139	5,044	1,868
	薬	0	0	0
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	6	168	95
	計	843	38,727	21,551

3 健康相談

健康相談は、心身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に役立てることを目的として実施している。

平成 28 年度

区分	内 容	回数	参加者数	64歳以下 (再掲)
重点 健康 相談	高 血 圧	23	31	4
	脂 質 異 常 症	9	9	1
	糖 尿 病	11	13	3
	歯 周 疾 患	126	267	147
	骨 粗 鬆 症	8	8	1
	女 性 の 健 康	7	30	30
	病 態 別	6	6	1
	総 合 健 康 相 談	4,791	5,655	4,440
合	計	4,981	6,019	4,627

4 健康診査

健康診査は、がん、心臓病、脳卒中等の疾病を予防する対策の一環として、これらの疾患の早期発見を図るため、これらの疾患の疑いのある者又は危険因子をもつ者をスクリーニングするとともに、単に医療を要する者の発見だけでなく、健康診査の結果、必要な者に対して栄養や運動等に関する保健指導、健康管理に関する正しい知識の普及を行うことによって、早期からの健康についての認識と自覚の高揚を図ることを目的として実施している。

(1) 健康診査年度別受診者数

区分	年度	26	27	28
後期高齢者・生保健診	集 団 検 診	2	2	6
	医 療 機 関	5,537	10,706	11,362
	計	5,539	10,708	11,368
肝炎ウイルス検査	集 団 検 診	0	0	0
	医 療 機 関	9,022	8,823	7,767
	計	9,022	8,823	7,767
胃がん検診	集 団 検 診	5,504	4,979	1,582
	医 療 機 関	25,408	23,930	15,131
	計	30,912	28,909	16,713
子宮がん検診	集 団 検 診	309	344	318
	医 療 機 関	24,897	19,859	18,229
	計	25,206	20,203	18,547
乳がん検診	集 団 検 診	387	434	1,026
	医 療 機 関	25,308	24,594	24,046
	計	25,695	25,028	25,072
肺がん検診	集 団 検 診	11,155	11,158	9,742
	医 療 機 関	46,896	47,222	44,214
	計	58,051	58,380	53,956
大腸がん検診	集 団 検 診	122	153	7
	医 療 機 関	50,690	52,502	44,222
	計	50,812	52,655	44,229
前立腺がん検診	集 団 検 診	1	0	2
	医 療 機 関	13,544	13,801	13,361
	計	13,545	13,801	13,363
歯周疾患検診	医 療 機 関	92	61	78

(2) 健康診査受診結果

ア 岡山市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導（平成 28 年度）

平成 29 年 3 月報告分現在

1. 特定健康診査受診者数

年齢	受診者数	(内訳)	
		男性	女性
40～44 歳	1,414	600	814
45～49 歳	1,194	508	686
50～54 歳	1,236	516	720
55～59 歳	1,484	536	948
60～64 歳	3,734	1,268	2,466
65～69 歳	10,256	4,067	6,189
70～74 歳	12,202	5,188	7,014
計	31,520	12,683	18,837

特定健診受診券交付総数 118,996 人 特定健診受診率 26.5 %

2. メタボリックシンドローム該当者数

年齢	基準該当		予備群 該当	
	数(人)	出現率	数(人)	出現率
40～44 歳	109	7.7%	133	9.4%
45～49 歳	111	9.3%	150	12.6%
50～54 歳	164	13.3%	142	11.5%
55～59 歳	217	14.6%	165	11.1%
60～64 歳	619	16.6%	411	11.0%
65～69 歳	2,093	20.4%	1,192	11.6%
70～74 歳	2,624	21.5%	1,411	11.6%
計	5,937	18.8%	3,604	11.4%

メタボリックシンドローム 非該当者数 21,975人 判定不能 4人
--

3. 血圧測定

区分	数(人)	構成比
至適血圧	8,314	26.4%
正常血圧	7,034	22.3%
正常高値血圧	7,235	23.0%
I 度高血圧	7,025	22.3%
II 度高血圧	1,610	5.1%
III 度高血圧	302	1.0%
計	31,520	100.0%

4. 健診項目別受診状況

検査項目		受診者数	有所見者 (受診勧奨判定値)		(参考基準値)
		(人)	(人)	出現率	
肥満	腹囲	31,513	10,628	33.7%	男性 85cm 以上、女性 90cm 以上
	BMI	31,518	7,571	24.0%	25 以上
脂質	LDL	31,520	9,228	29.3%	140mg/dl 以上
	HDL	31,520	446	1.4%	34mg/dl 未満
	中性脂肪	31,520	931	3.0%	300mg/dl 以上
肝機能	GOT	31,520	629	2.0%	51IU/l 以上
	GPT	31,520	1,085	3.4%	51IU/l 以上
	γ-GTP	31,520	1,396	4.4%	101IU/l 以上
代謝系	空腹時血糖	23,059	1,370	5.9%	126mg/dl 以上
	HbA1c	31,317	2,111	6.7%	6.5%以上 (NGSP 値)
尿腎機能	糖	31,501	781	2.5%	-、±以外
	蛋白	31,503	1,374	4.4%	-、±以外

5. 特定保健指導の実績 (国への報告値)

動機づけ支援	年度	対象者数	利用者数	利用率	終了者数
	平成 20 年度	3,313 人	734 人	22.2%	117 人
	平成 21 年度	2,967 人	323 人	10.9%	367 人
	平成 22 年度	2,615 人	252 人	9.6%	149 人
	平成 23 年度	2,638 人	214 人	8.1%	153 人
	平成 24 年度	2,618 人	399 人	15.2%	161 人
	平成 25 年度	2,678 人	380 人	14.2%	278 人
	平成 26 年度	2,851 人	353 人	12.4%	306 人
	平成 27 年度	2,883 人	306 人	10.6%	291 人

積極的支援	年度	対象者数	利用者数	利用率	終了者数
	平成 20 年度	905 人	108 人	11.9%	17 人
	平成 21 年度	857 人	45 人	5.3%	56 人
	平成 22 年度	769 人	41 人	5.3%	21 人
	平成 23 年度	788 人	35 人	4.4%	31 人
	平成 24 年度	779 人	74 人	9.5%	35 人
	平成 25 年度	702 人	64 人	9.1%	46 人
	平成 26 年度	720 人	74 人	10.3%	51 人
平成 27 年度	774 人	55 人	7.1%	49 人	

イ 後期高齢者・生保健診

◎受診者数

平成 28 年度

年齢（歳）	後期高齢一般	後期高齢無料券	その他無料券	合計
40～44 歳	X		46	46
45～49 歳			51	51
50～54 歳			62	62
55～59 歳			56	56
60～64 歳			79	79
65～69 歳	7	10	103	120
70～74 歳	15	13	90	118
75～79 歳	4,396	432	47	4,875
80～84 歳	3,267	270	39	3,576
85～89 歳	1,686	80	26	1,792
90～94 歳	472	27	3	502
95～99 歳	80	3	0	83
100 歳以上	8	0	0	8
計	9,931	835	602	11,368

◎血圧判定者数

平成 28 年度

区分	数（人）	構成比
至適血圧	2,022	17.8%
正常血圧	2,312	20.3%
正常高値血圧	2,763	24.3%
I 度高血圧	3,350	29.5%
II 度高血圧	780	6.9%
III 度高血圧	141	1.2%
計	11,368	100.0%

◎ 総合判定の要指導・要精検者数

平成 28 年度

項目	要指導数(人)・出現率		要精検・治療数(人)・出現率		計	
心疾患	85	0.7%	435	3.8%	520	4.6%
高血圧	1,493	13.1%	3,631	31.9%	5,124	45.1%
腎臓病	644	5.7%	304	2.7%	948	8.3%
糖尿病	1,186	10.4%	1063	9.4%	2,249	19.8%
肝臓病	779	6.8%	419	3.7%	1,198	10.5%
貧血	100	0.9%	84	0.7%	184	1.6%
脂質異常症	2,414	21.2%	2,633	23.1%	5,047	44.4%

異常なし：2,629 人 出現率 23.1%

出現率分母：総受診者数 11,368 人

ウ 肝炎ウイルス検査

平成 28 年度

節目検査	年齢 (歳)	受診者数				C 型				C型陽性 率 (%)	B 型		B型陽性 率 (%)
		総人数	C+B型	C型のみ	B型のみ	高力価	中低力価・ HCV核酸 陽性	中低力価・ HCV核酸 陰性	低力価		陽性	陰性	
	40	44	43	0	1	0	0	0	43	0.00%	0	44	0.00%
節目外 検査	年代 (歳)	受診者数				C 型				C型陽性 率 (%)	B 型		B型陽性 率 (%)
		総人数	C+B型	C型のみ	B型のみ	高力価	中低力価・ HCV核酸 陽性	中低力価・ HCV核酸 陰性	低力価		陽性	陰性	
	40	2,678	2,638	33	7	0	1	2	2,668	0.04%	7	2,638	0.26%
	50	1,741	1,700	29	12	0	1	6	1,722	0.06%	4	1,708	0.23%
	60	2,801	2,760	29	12	6	1	9	2,773	0.25%	19	2,753	0.69%
	70～	503	497	4	2	3	0	0	498	0.60%	1	498	0.20%
	小計	7,723	7,595	95	33	9	3	17	7,661	0.16%	31	7,597	0.41%
合計	7,767	7,638	95	34	9	3	17	7,704	0.16%	31	7,641	0.40%	

エ 胃がん検診

◎受診者数 (エックス線検査)

平成 28 年度

年代 (歳)	受診者数	要精検者数 (要精検率)	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数 (精検受診率)	異常認め ず	が ん	が ん の 疑 い	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	が ん 以 外 の 疾 患	早期がん	進行がん	不明
50	1,355	56 4.1%	39 69.6%	5	0	0	0	34	0	0	0
60	3,684	271 7.4%	212 78.2%	27	2	0	1	182	2	0	0
70～	6,250	387 6.2%	293 75.7%	39	11	1	0	242	4	7	0
計	11,289	714 6.3%	544 76.2%	71	13	1	1	458	6	7	0

◎受診者数 (内視鏡検査)

平成 28 年度

年代 (歳)	受診者数	要精検者数 (要精検率)	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数 (精検受診率)	異常認め ず	が ん	が ん の 疑 い	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	が ん 以 外 の 疾 患	早期がん	進行がん	不明
50	533	65 12.2%	58 89.2%	0	1	0	0	57	1	0	0
60	1,636	250 15.3%	221 88.4%	6	3	0	0	212	3	0	0
70～	3,255	470 14.4%	400 85.1%	14	10	2	0	374	9	1	0
計	5,424	785 14.5%	679 86.5%	20	14	2	0	643	13	1	0

オ 子宮がん検診

◎受診者数

平成 28 年度

年代 (歳)	受診者数(人)		要精検者数(人)				頸部精 検率(%)	精検	
	頸部	体部 (再掲)	視診・ 内診	頸部	体部	頸部 体部		精検受診数 (人)	精検受診率 (%)
20	702	6	3	22	0	0	3.1%	20	80.8%
30	2,228	79	22	52	0	0	2.3%	44	59.5%
40	5,480	458	67	93	2	0	1.7%	93	57.4%
50	4,058	512	54	31	1	0	0.8%	44	51.2%
60	4,039	292	25	16	2	0	0.4%	22	51.2%
70～	2,040	128	8	9	1	0	0.4%	10	55.6%
計	18,547	1,475	179	223	6	0	1.2%	233	57.1%

◎精密検査結果

平成 28 年度

年代(歳)	異常 認めず	異形成	子宮頸部 がん	子宮体部 がん	確定でき ず	その他の 疾病	総 計
20	6	10	0	0	1	3	20
30	17	18	0	0	3	6	44
40	34	27	3	0	2	27	93
50	12	6	0	0	0	26	44
60	6	2	2	2	1	9	22
70～	5	0	1	1	1	2	10
計	80	63	6	3	8	73	233

カ 乳がん検診

◎受診者数（視触診のみ）

平成 28 年度

年代(歳)	受診者数	構成比	要精検者数	要精検率
30	1,939	15.8%	66	3.4%
40	1,734	14.1%	56	3.2%
50	1,619	13.2%	29	1.8%
60	2,562	20.9%	27	1.1%
70～	4,405	35.9%	59	1.3%
計	12,259	100.0%	237	1.9%

◎受診者数（マンモグラフィ併用）

平成 28 年度

年代(歳)	受診者数	構成比	要精検者数	要精検率
40	5,198	40.6%	473	9.1%
50	2,524	19.7%	195	7.7%
60	3,265	25.5%	184	5.6%
70～	1,826	14.3%	98	5.4%
計	12,813	100.0%	950	7.4%

◎精密検査結果別人員及び乳がんTNM病期

平成 28 年度

年代(歳)	要精検者(人)	精検受診者(人)	精検受診率(%)	異常認めず	乳がん	その他(延)	TNM 病期					
							0	I	II	III	IV	不明
30	66	46	69.7	18	1	29	0	1	0	0	0	0
40	529	434	82.0	124	8	311	4	2	2	0	0	0
50	224	179	79.9	65	10	106	2	4	3	0	0	1
60	211	175	82.9	91	6	78	2	3	1	0	0	0
70～	157	124	79.0	64	8	53	5	3	0	0	0	0
計	1,187	958	80.7	362	33	577	13	13	6	0	0	1

キ 肺がん検診

◎受診者数

平成28年度

年代(歳)	受診者数(人) (喀痰再掲)		要精検者数 (人)	要精検率	精検受診数(人)	精検受診率
	読影	喀痰				
40	3,448	0	33	1.0%	26	78.8%
50	4,442	51	70	1.6%	50	71.4%
60	15,014	222	397	2.6%	327	82.4%
70～	31,052	450	1,255	4.0%	879	70.0%
計	53,956	723	1,755	3.3%	1,282	73.0%

◎精密検査結果別人員及び肺がん組織型

平成28年度

年代 (歳)	異常認めず	扁平上皮癌	腺癌	小細胞癌	大細胞癌	その他 (肺がん)	転移性 肺腫瘍	肺がん の疑い	肺良性 腫瘍	縦隔 腫瘍	肺結核(活 動・非活動)	胸膜プ ラーク	びまん 性胸膜 肥厚	その他
40	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
50	22	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	25
60	132	1	1	0	0	0	0	0	5	2	7	8	0	166
70～	258	3	9	1	0	4	3	4	6	2	28	22	9	509
計	425	4	10	1	0	5	3	5	11	4	36	30	9	713

ク 大腸がん検診

平成28年度

年代 (歳)	受診者数	要精検者数	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数	異常認めず	がん	がんの 疑い	その他 悪性腫瘍	がん以外 の疾患	早期 がん	進行 がん	不明
40	2,890	194	106	36	1	0	0	69	0	1	0
			6.7%								
50	3,750	215	97	21	2	0	0	74	0	2	0
			5.7%								
60	12,191	862	496	97	15	2	0	382	6	9	0
			7.1%								
70～	25,398	2,355	1,102	210	37	3	1	851	12	25	0
			9.3%								
計	44,229	3,626	1,801	364	55	5	1	1,376	18	37	0
			8.2%								

ケ 前立腺がん検診

平成28年度

年代 (歳)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診数	精検受診率	精密検査結果						
						生検			最終判断			
						施行	未施行	患者拒否	異常なし	前立腺がん疑い	前立腺がん	その他
50	1,073	35	3.3%	9	25.7%	3	6	0	3	0	3	3
60	4,241	274	6.5%	140	51.1%	38	95	7	24	18	15	83
70～	8,049	731	9.1%	263	36.0%	54	192	17	28	41	37	157
計	13,363	1,040	7.8%	412	39.6%	95	293	24	55	59	55	243

年齢	受診者数		判定		
	男	女	異常なし	要指導	要精密検査
30	0	10	1	2	7
35	1	10	1	2	8
40	2	28	5	2	23
45	2	15	1	4	12
50	0	10	4	0	6
計	5	73	12	10	56

サ がん検診精検受診勧奨事業

対象と方法：胃がん検診（エックス線検査）、肺がん検診、大腸がん検診の判定が「要精検」の者のうち、受診後数か月後でも精検報告書が返送されていない 75 歳未満の者に対し、（胃・肺）精検受診勧奨文とともに、精検受診状況調査票を送付し、受診状況の記入後の返送を依頼した。（大腸）精検受診勧奨文と精検内容の説明リーフレットを送付した。子宮がん検診の頸部細胞診または体部がん検診の要精検者で結果未把握の者の一次検診機関に対し、精検実施していて精検結果通知書が未提出であれば、その提出を依頼した。

結果：以下のように精検把握が進み、精検受診率は上昇した。（平成 29 年 4 月時点暫定値）

平成 28 年度	受診勧奨文送付数	精検受診把握数	精検受診率 <small>（医療機関から報告済のものと合わせた結果）</small>
胃がん検診	409	264	83.3%
肺がん検診	551	321	82.9%
大腸がん検診	1,701	—	55.3%
子宮がん検診	26 医療機関(112 名分)※	44	75.1%

※子宮がん検診については、精検結果通知書の作成提出依頼した医療機関数

シ 肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業

対象者：岡山市肝炎ウイルス検査陽性者（前年度以前の陽性者についてはフォローアップに同意かつ必要な者のみ）

方法：精密検査の受診勧奨文とともに、フォローアップ事業（検査や治療状況を把握）同意書や調査票を送付した。

平成 28 年度 送付分		送付数	返送数	同意数	医療機関 受診あり	受診等の状況把握 <small>（電話での聞き取りも含める）</small>
平成 28 年度 陽性者	HBV 感染	31	14	11	9	15
	HCV 感染	12	6	6	6	11
平成 27 年度 以前陽性者	HBV 感染	8	2	—	1	2
	HCV 感染	2	2	—	1	2

5 訪問指導

訪問指導は、療養上の保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対して保健師等が訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的として実施している。

平成 28 年度

区分		実人数	延人数
要指導者等		239	352
個別健康教育対象者		0	0
閉じこもり予防		2	2
介護家族者		1	1
寝たきり者	計	1	1
	口腔衛生指導(再掲)	0	0
	栄養指導(再掲)	0	0
認知症		4	5
その他		37	69
総計		284	430

6 元気の出る会

身近な小地域で、高齢者、障害者、ボランティアなどが集い、交流を図り、あたたかい共生のまちづくりをめざしている「元気の出る会」を支援している。

平成 28 年度

地区交流会	開催回数	参加人数(延)	地域別交流会	開催回数	参加人数(延)
	508	6,825		4	251

II 健康増進栄養事業

食事・運動・休養の調和のとれた生活習慣を基本として、自分の健康は自分で守るという認識のもとに、市民の健康増進意識を高め、疾病を予防し、QOLを向上させることを目的として、総合的な栄養改善・健康づくり対策を推進している。

1 栄養改善事業

乳幼児期から高齢期に至るまでの栄養指導や栄養相談を目的として実施するとともに、健康増進法に基づいて特定給食施設の指導などを実施している。

(1) 栄養運動指導実施状況（健康増進法第17条～第19条）

平成28年度

		個別指導人数(延)							集団指導人数(延)						
		栄 養 指 導	病 態 別 栄 養 指 導 (再掲)	訪 問 指 導 に よ る 栄 養 指 導 (再掲)	運 動 指 導	病 態 別 運 動 指 導 (再掲)	休 養 指 導	禁 煙 指 導	栄 養 指 導	病 態 別 栄 養 指 導 (再掲)	運 動 指 導	病 態 別 運 動 指 導 (再掲)	休 養 指 導	禁 煙 指 導	
実 施 数	妊産婦	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳幼児	101	0	14	0	0	0	0	3,000 (85回)	0	0	0	0	0	
	20歳未満 (乳幼児を除く)	0	0	0	0	0	0	0	825 (28回)	0	0	0	0	0	
	20歳以上 (妊産婦を除く)	397	47	12	0	0	0	0	6,441 (269回)	1,807 (85回)	462 (12回)	12 (1回)	0	0	

(2) 栄養相談実施状況（健康増進法第17条）

年 度	27	28
延 人 数	338	225

(3) 特定給食施設指導

ア 給食施設一覧

平成 28 年 9 月 30 日現在

		管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設 数	施設数 合計	管理栄養士・ 栄養士 合計	調理師のいる施設		調理師 のいない 施設
		施設数	管理栄養 士数	施設数	管理栄養 士数	栄養士 数	施設数	栄養士 数				施設数	調理師 数	
指定施設 ①	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	3	25	6	48	22	0	0	0	9	95	9	127	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯 正 施 設	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	4	26	6	48	22	0	0	0	10	96	9	127	1	
1 又は1日 300食以上 750食以上	学 校	58	59	0	0	0	17	17	0	75	76	74	175	1
	病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	1	3	1	2	3	2	7	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	1	1	1	1	0	0	0	2	3	2	5	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯 正 施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	59	60	1	1	1	18	20	1	79	82	78	187	1	
1 又は1日 100食以上 250食以上	学 校	14	14	0	0	0	14	14	2	30	28	27	45	3
	病 院	6	39	7	26	16	0	0	0	13	81	12	78	1
	介護老人保健施設	5	8	5	16	8	1	1	0	11	33	7	20	4
	老人福祉施設	3	6	5	9	15	0	0	0	8	30	6	19	2
	児童福祉施設	5	8	14	17	19	23	35	40	82	79	58	128	24
	社会福祉施設	3	4	1	5	1	0	0	0	4	10	3	11	1
	事 業 所	1	1	0	0	0	0	0	1	2	1	2	2	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯 正 施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 衛 隊	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	3	0	0	0	1	1	5	8	4	7	23	1	
計	40	84	32	73	59	39	51	48	159	267	123	329	36	
その他の給食施設	学 校	4	4	0	0	0	4	4	2	10	8	5	6	5
	病 院	26	41	13	22	19	4	4	6	49	86	26	68	23
	介護老人保健施設	5	10	4	5	7	0	0	0	9	22	8	11	1
	老人福祉施設	25	34	23	37	34	10	11	13	71	116	35	72	36
	児童福祉施設	8	8	3	3	6	8	8	25	44	25	30	50	14
	社会福祉施設	4	5	2	2	5	2	2	3	11	14	7	12	4
	事 業 所	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	3	3	3
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	3	4	3
	矯 正 施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2	2	0	0	0	0	0	2	4	2	3	12	1	
計	74	104	45	69	71	28	29	63	210	273	120	238	90	

イ 特定給食施設等の給食管理指導状況

特定給食施設等の、管理栄養士、栄養士、調理従事者に対して、栄養管理・衛生管理について集団又は個別の相談・指導を実施している。

また、特定給食施設栄養報告書を提出している施設の栄養士・給食責任者に対して、栄養管理について相談・指導を実施している。

平成 28 年度

	指 定 施 設										指定施設以外の 特定給食施設					その他の 給食施設		
	指導・ 助言件数		立 入 検 査 件 数	勸告 件数		命令 件数		罰則処 分件数		指 導 関 連 助 言 件 数	指 導 関 連 助 言 件 数	立 入 検 査 件 数	勸 告 件 数	命 令 件 数	罰 則 処 分 件 数	指 導 関 連 助 言 件 数	指 導 関 連 助 言 件 数	立 入 検 査 件 数
	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 に 関 する 再 掲 示 の 件 数		管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 に 関 する 再 掲 示 の 件 数	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 に 関 する 再 掲 示 の 件 数	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 に 関 する 再 掲 示 の 件 数									
学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	8	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	9	0	0	0	0	0	0	0

(4) 特別用途食品表示許可（健康増進法第 26 条）

平成 28 年度 0 件

(5) 食品表示基準（栄養成分表示等）及び誇大表示に関する相談・指導及び該当食品の収去

平成 28 年度

	件数
相談	51
指導	1
収去	0

(6) 「栄養成分表示の店」登録事業（県への協力事業）

外食時に栄養成分を知り、健康づくりに役立つよう、メニュー等に栄養成分を表示する店を登録している。

平成 28 年度末登録数（岡山市分） 370 店（平成 27 年度末登録数 369 店）

2 市民の健康づくり推進事業

市民の健康については、不適正な食生活や運動不足による高血圧、脂質異常症、肥満などが多く、生活習慣病が増加傾向にある。このため、岡山市栄養改善協議会に委託して各学区・地区で食生活改善事業を実施するとともに、栄養教室を開講して地区のボランティア活動を行う栄養委員の養成を実施している。

(1) 食生活改善事業実施状況

年度・区分	27		28	
	学区数(延)	参加数(延)	学区数(延)	参加数(延)
総数	332	17,262	344	17,560
食育の推進	83	4,070	86	3,310
男性のための料理講習会	83	1,737	86	1,821
骨粗鬆症予防講習会	29	674	34	754
独り暮らし高齢者食事訪問	42	6,168	41	6,974
健康づくり普及啓発イベント	11	1,610	12	1,427
生活習慣病予防講習会	51	1,350	50	1,474
高齢者食生活講習会	33	1,653	35	1,800

(2) 栄養教室開催状況

年度	区分	教室数	受講実人員	修了者数
27		7	186	177
28		7	183	177

3 健康づくりのための運動普及推進事業

健康増進の普及を図るため、公民館等でウォーキング講座等を実施している。運動普及員養成講座や運動普及応援団づくり講座の修了生を中心とした運動普及活動の場として、地域の公民館等で運動普及事業を開催している。

(1) 運動普及事業実施状況

平成 28 年度

事業名	事業場所	実施回数(回)	受講人数(延)
健康づくり応援団 定例会	西大寺ふれあいセンター	11	94
西大寺中学校区 元気の出る会	西大寺ふれあいセンター	3	42
ストレッチ西の会	南区西保健センター	3	25
西ふれあいまつり 健康学びの森	南区西保健センター	1	102
にこにこストレッチ	南ふれあいセンター	11	96
さわやか健康ひろば	南区南保健センター	1	20
栄養教室	南区南保健センター	1	32

4 たばこ対策事業

(1) 「禁煙・完全分煙実施施設」認定事業（県への協力事業）

受動喫煙を防止する環境づくりを進めることを目的として、平成 15 年 8 月から岡山県が実施している本事業の受付・相談業務に協力を行っている。

平成 29 年 3 月末 認定施設数（岡山市分） : 禁煙実施施設 612 件
完全分煙実施施設 20 件

Ⅲ 「健康市民おかやま21」関連事業

1 「健康市民おかやま21」推進会議

「健康市民おかやま21」を円滑に推進するために、平成15年から開催している。市民、ヘルスボランティア、専門団体、学校・園、職域、保険者などの代表者34名で構成している。

平成28年7月 平成28年度第1回健康市民おかやま21推進会議

・平成27年度の活動報告および、平成28年度の取り組みについてなど

平成29年2月 平成28年度第2回健康市民おかやま21推進会議

・ええとこ発見図作成を通じた新たなつながりや今後の展開、次年度の取り組みの方向性についてなど

2 「健康市民おかやま21」普及啓発部会

「健康市民おかやま21」の普及啓発を行うために平成18年度から普及啓発部会を立ち上げ、それまでのイベント実行委員会を移行させた。市民、ヘルスボランティア、専門団体、学校・園、職域などの代表者28名で構成している。

平成28年9月 平成28年度の運動を中心とした普及啓発活動の在り方等について協議・検討。

3 「健康市民おかやま21」活動評価部会

「健康市民おかやま21」の進捗管理、活動評価を行うために平成18年12月に設置した。

平成28年11月 平成29年度第2次計画の中間評価にむけて、方向性の確認・中間評価アンケートの実施内容等の検討。

4 職域・保険者連絡会

中間評価の結果、不規則な生活習慣が課題となった働き盛り世代の健康づくりを進めるために、各種団体との協議、情報交換の場として、職域・保険者連絡会を平成21年12月に立ち上げた。保険者、商工会議所、商工会など12名で構成している。

平成29年2月 職場のメンタルヘルス対策を中心に情報交換・協議を実施。

5 地域別推進会議

6保健センターエリアごとに推進組織が立ち上がり、それぞれの地域で目標・計画を立て、地域特性に沿った活動をしている。また中学校区や小学校区などの小単位で推進会議が立ち上がっている地域もある。地域推進会議のメンバーが中心となる「市民が主役！健康市民おかやま21地域広げ隊」を平成25年度に立ち上げ、地域全体の健康づくりを推進するためのきめ細やかな啓発活動を行っている。

6 「健康市民おかやま21」推進宣言施設等登録事業

「健康市民おかやま21」の主旨に賛同し、実施することを宣言した施設、団体及び個人を登録することにより市民の健康に対する意識を向上させ、「健康市民おかやま21」に基づいた市民の主体的な健康づくりを地域に広げることがを目的に実施している。

平成28年度末登録者数	施設	961	団体	392	個人	38,879
-------------	----	-----	----	-----	----	--------

7 平成28年度に実施したその他の主な事業

(1) ええとこ発見図作成を通じた地域力の創生

①ええとこ発見図実践発表会の開催（平成28年8月）：於 岡山コンベンションセンター
市内36中学校区全てで、各地域の組織団体等とネットワークを強化しながら、地域の見どころやウォーキングルートを掲載した「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を作成した経過やその後の活動の展開についての発表による情報交換を実施した。また、講師に四国医療産業研修所 所長 櫃本真聿医師を招き、「元気高齢者を生み出すまちづくり」と題した講演会を行った。

・参加人数：176人

②ええとこ発見図を活用したウォーキング大会（各小学校区・中学校区での開催）

平成28年度 実施回数：77回、延べ参加人数：4,275人

(2) 70万人市民トリオでウォーク

3人一組（もしくは2人以上）のグループで、全員がそれぞれ目標歩数（ファーストチャレンジ：30万歩、セカンドチャレンジ：40万歩）をクリアしながら、日ごろの歩数を意識し、日常生活で歩く習慣の定着化を促す事業である。

・参加グループ数（参加者数）：344組（891人）

・ファーストチャレンジ達成組数：264組

・セカンドチャレンジ達成組数：186組

(3) 学生健康づくり応援事業

20歳代の同世代からの野菜摂取を促す普及啓発活動（レシピ集、チラシの作成・配布、野菜料理教室の実施）を、健康市民おかやま21普及啓発部会に所属している学生を中心に行っている事業である。

(4) 高齢者のための低栄養予防アドバイス事業

①高齢者の低栄養を予防するため、岡山市栄養改善協議会へ委託し、一人暮らし高齢者に対して、訪問および高齢者食生活講習会で、アドバイスを行う事業である。

・実施学区・地区数：86学区・地区

・参加者数：11,674人

②地域で高齢者を見守る団体への低栄養予防の普及啓発を実施した。

・対象：民生委員・児童委員、愛育委員

(5) かるうま減塩普及啓発事業

「かるうま」とは、かるい塩加減なのにおいしい（うまい）の意。

かるい塩加減に慣れることで、40歳以降の高血圧性疾患等、生活習慣病を予防することを目的とした事業である。若い世代を中心に普及啓発を行うため、利用者数の多い商業施設で開催した。

- ・かるうま減塩フェスタの開催（平成29年1月）：於 イオンモール岡山
参加人数：約2,000人

IV 実習生・歯科医師臨床研修指導

1 実習生指導

保健師学生	岡山大学 9名×5週間 山陽学園大学 14名（12名×3週間、2名×1週間）
助産師学生	岡山医療センター附属岡山看護助産学校 6名×1週間
栄養士学生	川崎医療福祉大学 17名×1週間 くらしき作陽大学 18名×1週間 武庫川女子大学 1名×1週間
歯科衛生士学生	岡山高等歯科衛生専門学校 50名 朝日高等歯科衛生専門学校 45名

2 歯科医師臨床研修指導

岡山大学病院 53名

第4節 精神保健事業

複雑化する現代社会においては、ストレスが生じやすく、自殺やアルコール関連問題、青少年の不登校やひきこもり、認知症などあらゆるライフステージで、「心の健康」をめぐる問題があり、市民の健康づくりの課題となっている。これらのことをふまえ、精神保健福祉に関する普及啓発をすすめ、関係機関との連携を図りながら、地域における精神障害者の自立と、社会参加の促進、福祉の向上のために事業を展開している。

また、政令市移行に伴い精神保健福祉センターである「こころの健康センター」を開設し、岡山市の精神保健福祉に関する専門機関、技術の中核機関として、地域住民の精神的健康の保持増進、精神障害の予防、適切な精神医療の推進、社会復帰の促進等を目標にした業務を行っている。

I 保健所

1 精神障害者の医療

(1) 措置入院

市民や、警察官等から「自身を傷つけ、又は他人に害を及ぼすおそれがある」等との通報や申請に基づき、その状況を調査し、指定医による診察を行い、その結果入院が必要と認められた場合、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下この節において「法」という。）第29条の規定により指定都市の市長の権限で入院措置をとる。

岡山市保健所では、通報を受理すると職員が事前調査を行い、診察に同行し入院の可否に係る対応及び状況把握や保護者の指導等を行っている。

ア 通報等の処理状況（（）内は、通報等受理したもので、岡山市外に居住地がある者）

平成 28 年度

区分	申請通報届出件数（件）	調査により診察の必要がないと認められた者（人）	診 察 を 受 け た 者 （ 人 ）			
			法第29条該当症の者	法第29条該当症でなかった者	精神障害者でなかった者	精神障害者であった者
一般の申請	22条	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
警察官通報	23条	120(12)	49(3)	36(5)	35(4)	0(0)
検察官通報	24条	21(3)	10(1)	7(2)	4(0)	0(0)
矯正施設長通報	26条	60(3)	58(3)	2(0)	0(0)	0(0)
合計		201(18)	117(7)	45(7)	39(4)	0(0)

イ 措置入院患者の状況

（（）内は、通報等受理したもので、岡山市保健所が対応した岡山市外に居住地がある者）

区分	27年度末措置患者数	28年度新規措置患者数	28年度措置解除患者数	28年度末措置患者数
人数	10(1)	45(7)	48(8)	7(0)

(2) 医療保護入院

管内病院からの法第33条による医療保護入院者の入院届等を受理している。

法第33条に規定する医療保護入院に際して、精神障害者に家族等がないとき、又はその意思を表示することができない場合は、市長同意による医療保護入院となる。

○入退院届届出件数

平成 28 年度

区分	家族等の同意による入院届出件数	退院届出件数
件数	2,130	2,206

○市長同意届出件数・面接件数

平成 28 年度

	市長同意届出件数	面接実施件数
件数	67	30

2 障害者総合支援法及び精神障害者保健福祉手帳に係る事務

(1) 自立支援医療費（精神通院）

障害者総合支援法の規定に基づき、原則、通院に係る医療費総額の 9 割を保険者及び公費で負担する。各保健センター、分室においては、自立支援医療費（精神通院）申請や各種変更届等の受付を行っている。

申請受付数

平成 28 年度

申請窓口	北区中央 保健センター	北区北 保健センター	中区 保健センター	東区 保健センター	南区西 保健センター	南区南 保健センター	御津・建部 分室	合計
件数	6,878	1,898	1,608	1,827	1,243	2,217	113	15,784

(2) 自立支援医療費（精神通院）支払い事務

平成 28 年度

各医療機関、薬局等から請求のあった診療報酬の公費負担分について、支払い事務を行っている。

○支払い件数： 199,465 件 ○支払額：1,823,403 千円

(3) 自立支援給付（障害福祉サービス）・地域生活支援事業給付

障害者総合支援法の規定に基づき、保健所及び各保健センター、分室において、自立支援給付（障害福祉サービス）の申請や各種変更届等の受付・支給決定を行っている。

平成 28 年度

	介護給付		訓練等給付		地域相談支援給付		地域生活支援事業		計画相談事業	
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新
決定数	256	739	508	1139	28	58	206	465	307	861
合計	995		1,647		86		671		1,168	

(4) 精神障害者保健福祉手帳の交付

各保健センター、分室において、申請受付・交付事務を行っている（新規・更新・障害等級変更・市外転入）。

平成 28 年度

申請窓口	北区中央 保健センター	北区北 保健センター	中区 保健センター	東区 保健センター	南区西 保健センター	南区南 保健センター	御津・建部 分室	合計
申請受付数	1,426	370	278	340	191	446	19	3,070
窓口交付数	1,331	346	263	319	181	437	18	2,895

3 地域精神保健活動

(1) 普及啓発

精神保健福祉に関する知識の普及啓発により、住民の心の健康の保持増進を図るとともに、精神障害に対する偏見を解消し、障害者を地域で支える環境づくりを推進している。

平成 28 年度

	開催回数	参加者数
健康教育	62	1,852

(2) 相談・支援事業

保健所及び各保健センター、分室において、心の健康に関する相談や認知症高齢者、精神障害者の社会復帰等についての精神科医師や保健師等によるこころの健康相談や支援を実施している。また、在宅の精神障害者に対して、保健所保健師等による家庭訪問を実施している。

ア 保健所及び各保健センター、分室への来所相談の利用状況 平成 28 年度

区分	実施回数	相談件数	
		実件数	延件数
相談日	28	45	45
相談日以外	-	3,116	4,616
合計	28	3,161	4,700

注) 相談日は精神科専門医による相談。相談日以外は保健師による相談件数。

イ 来所相談結果（相談日における相談結果の分類） 平成 28 年度

相談結果	人数(延)	相談結果	人数(延)
F0 症状性を含む器質性精神障害	1	F6 成人のパーソナリティ・行動の障害	1
F1 精神作用物質による精神・行動の障害	2	F7 精神遅滞(知的障害)	0
F2 統合失調症、統合失調型障害等	4	F8 心理的発達の障害	8
F3 気分(感情)障害	1	F9 小児／青年期の行動・情緒障害等	1
F4 神経性障害、ストレス関連障害等	14	診断なし	7
F5 生理的障害および身体的行動症候群	1	その他	5

(重複あり)

ウ 支援状況（相談日における相談結果の分類） 平成 28 年度

区分	医療機関の紹介	相談継続	訪問指導	社会資源紹介	カウンセリング	その他
件数	12	5	0	3	17	8

注) 複数の支援を行った場合は重複掲載。

エ 電話相談実施状況

○相談延件数： 6,399 件

オ 保健師による訪問相談実施状況

平成 28 年度

区 分	実 件 数	延 件 数			
		認知症高齢者	その他の精神障害	アルコール依存	計
人 数	625	5	1,733	81	1,819

カ 精神科専門スタッフによる訪問相談事業

平成 28 年度

区 分	訪 問 実 件 数	訪 問 延 件 数	保 健 所 保 健 師 等	派 遣 人 員 内 訳	
				医 師	そ の 他
人 数	0	0	0	0	0

(3) 精神障害者地域交流事業

精神保健ボランティアグループ「愛月の会」が、西保健センターエリアに在住する精神障害者やその家族、また管内の家族会に呼びかけ、学習会や交流会を実施している。

○当事者・家族との交流 : 1 回

(4) 精神障害者社会参加地域啓発事業（共生のまちづくり事業）

精神障害者への理解を深め偏見除去を地域に広げるために、各保健センター毎にピアサポーターによる交流会、自主制作映画上映を実施している。

○交流会及び映画上映 実施回数 : 4 回
参加者数 : 365 人

(5) 地域精神保健福祉連絡会

保健、福祉、医療関係者等の連携、研修の場としての地域精神保健福祉連絡会を開催している。

○幹事会 : 3 回
○全体研修 : 1 回
○地域別研修 : H28 年度は体制見直しのため開催はなし

(6) ケース検討会

対応の困難な事例について、関係機関相互の連携を図り、適切な支援を継続するため実施している。

平成 28 年度

北区中央	北区北	中区	東区	南区西	南区南	御津・建部	その他	計
161	52	69	20	28	38	5	1	374

4 社会復帰対策

回復途上の精神障害者の社会復帰を促進するため、訪問等による相談・支援を行うとともに、障害者の就労に向けての援助を行っている。

○社会復帰相談指導件数 : 105 件

(1) 当事者会、家族会活動の支援

精神障害者の病状回復や社会復帰の促進、また、不安や悩みの軽減のため、精神障害者やその家族が互いに支えあい、ともに活動する場である当事者会、家族会の育成、支援を行っている。

ア 岡山市精神障害者家族会連絡会補助金

会員間の情報交換、市民への理解と啓発活動を行っている岡山市精神障害者家族会連絡会の活動費の一部を補助している。

イ 保健所中心で結成している当事者会、家族会の状況

平成 28 年度

担 当	当 事 者 会 の 状 況		担 当	家 族 会 の 状 況	
	名 称	活 動 状 況		名 称	活 動 状 況
北区北保健センター	ふれあいハート会	毎月第3水曜日開催 話し合い、レクリエーション等 10回、28人	北区中央保健センター	NPO法人 ふりこの会	毎月第3火曜日開催 総会、講演、情報交換会 研修報告、グループワーク等 9回、121人
東区保健センター	ピースハート	休会	東区保健センター	つばめの会	毎月第3木曜日開催 総会、話し合い、家族学習会等 12回、73人
南区西保健センター	たのしい会	休会	南区西保健センター	ひまわり会	毎月第4月曜日開催 総会、講演会、話し合い、施設見学等 9回、29人
	なのはな会 (当事者・家族合同)	毎月第3月曜日開催 話し合い、交流会、調理実習、 レクリエーション、研修会等 8回、52人		なのはな会 (当事者・家族合同)	毎月第4火曜日開催 話し合い、交流会、調理実習、 レクリエーション等 8回、52人
精神保健係	岡精連 (岡山市精神障害者団体連絡会)	毎月第3金曜日開催 話し合い、企画等 12回、182人	精神保健係	市家連 (岡山市精神障害者家族会連絡会)	毎月第2月曜日開催 役員会、代表者会、 家族ゼミナール等 12回、129人
当 事 者 会 ・ 家 族 会 の 状 況					
御津	みつの会	休会			

(2) 精神障害者ピアサポーター活動支援事業

平成 28 年度

精神障害のある当事者（ピア＝仲間）による相談支援が、精神障害者の不安解消や偏見解消に有効であることから、入院患者等の地域移行や在宅障害者の地域定着支援を促進する、ピアサポーターを養成する。また、平成 26 年度よりピアサポーターの派遣を拡充して実施している。

- 養成講座修了者数： 16人
- 派遣回数： 54回（医療機関、愛育委員会、家族会等）
- 派遣人数： 延 130人（ピアサポーターのみ）、149人（コーディネーター含む）

(3) 地域活動支援センターⅠ・Ⅱ・Ⅲ型事業所等への助成

平成 28 年度

作業・生活訓練とふれあいの場を提供し、社会適応能力の向上を図る地域活動支援センターⅠ・Ⅱ・Ⅲ型事業所等に対して運営に要する経費等を補助し、地域活動支援センターⅠ・Ⅱ型事業所を除き、通所のための交通費の一部を助成している。

- 補助施設数： 12

II こころの健康センター

1 精神保健福祉相談・支援

精神保健及び精神障害者福祉に関する相談及び指導のうち、複雑又は困難なものについて、相談を実施する。

(1) 専門相談

平成 28 年度

	依存症相談	思春期相談	自死遺族相談
相談者数(実)	17	0	0
相談者数(延)	247	0	0

(2) こころの電話相談

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
26	30	9	21	8	/	40	198	116	/	/	1,560	1,982
27	54	1	31	4	5	38	151	42	1	0	2,211	2,538
28	40	1	22	6	10	38	297	64	19	0	2,174	2,671

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(3) 来所相談

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
26	0	3	14	0	/	83	45	19	/	/	831	995
27	3	3	34	0	6	84	72	30	0	0	775	1,007
28	0	1	12	4	4	85	87	36	0	0	945	1,536

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(4) 訪問

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
26	13	564	142	0	/	30	61	22	/	/	952	1,784
27	11	458	81	0	5	45	84	58	0	0	788	1,530
28	2	259	40	0	0	47	62	39	3	0	942	1,435

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(5) 診察

区分 年度	診察		往診	
	実人数	延人数	実人数	延人数
26	57	363	27	533
27	64	325	24	459
28	85	410	34	552

2 地域での支援体制の基盤づくり

(1) 地域関係機関への技術援助

地域精神保健活動を推進するため、関係諸機関に対し専門的立場から、積極的な技術指導及び技術援助を行う。

○技術指導及び技術援助件数

区分 年度	保健所	市町村	福祉事 務所	医療施 設	介護老 人施設	社会復 帰施設	社会福 祉施設	その他	計
26	297	58	133	850	26	31	196	535	2,126
27	415	114	135	970	20	22	88	1,006	2,770
28	442	97	122	1,067	22	38	15	1,559	3,362

(2) 人材育成

精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修等の人材育成を行い、技術水準の向上を図る。

○研修会

- ・アルコール依存症支援者専門研修 開催回数 4回 参加者数 152人(延)
- ・退院支援の研修会(ケアマネジメント研修・危機介入研修・実践報告会)
開催回数 12回 参加者数 478人

○関係機関等への講師派遣

- ・講演会 講師派遣回数 5回

(3) 精神障害者地域支援システム整備事業

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に沿った生活を送るため、地域生活への移行並びに地域生活を継続するために必要な支援システムを構築する。

○地域移行・地域定着支援事業

- ・退院意欲向上支援

精神科病院への長期入院などにより退院意欲が低下している入院患者を対象に、病院と協働して退院意欲の向上に取り組んでいる。

◇集団への支援(グループ活動)

平成28年度

病院数	実施回数	参加人数(延)	企画会議実施回数
2	1回	50人	8回

◇個別への支援

平成28年度

	対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内訳		
			訪問	電話	機関相談
意欲向上	7	218	114	13	91

- ・地域移行・地域定着支援

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向が尊重され充実した生活ができるように保健・医療・福祉などの関係機関が連携して支援を行い、地域生活への移行と地域生活を継続するための支援を行っている。

平成 28 年度

	対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内訳			
			訪問	電話	機関相談	往診
移行	16	584	170	95	319	0
定着	8	310	93	26	168	23

・精神障害者地域交流会

地域で生活している精神障害者や入院中の精神障害者と地域住民が直接交流する機会をつくることで、精神疾患に関する理解の普及啓発に努め、精神障害者の地域生活が安定する環境づくりを行っている。

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
実施日	平成 28 年 7 月 5 日	平成 28 年 11 月 25 日	平成 29 年 3 月 1 日
会場	多機能型事業所 クラシヲ	岡山県総合グラウンド グラウンドクラブ第 2 研修室	岡山市保健福祉会館 栄養指導室
内容	事業所の紹介・見学 プログラム参加	会食 意見交換	一人ぐらしに向けた調理実習・意見交換
参加者数	13 人	15 人	15 人

・被保護精神障害者退院面接、市長同意入院者面接

被保護精神障害者、市長同意入院者へ福祉事務所・病院などと連携をとりながら、退院に向けた面接等の支援を行っている。

平成 28 年度

	対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内訳		
			面接	電話	機関相談
被保護	83	303	172	14	117
市長同意	18	91	53	1	37

○地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業

地域生活の維持・継続が困難となっている精神障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように地域支援を行っている。

平成 28 年度

対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内容内訳				
		訪問	面接	診察 往診	機関相談	電話
4	119	54	0	16	46	3

(4) こころの健康早期支援事業

市内の中学生が精神疾患に対する正しい知識を習得することで、その誤解や偏見を防止し、更に、自らが精神的不調や疾病を抱えた際に早期に専門医療や相談支援に結びつくことを目的として、教師が精神疾患をテーマに授業を行っている。

- ・平成 28 年度実施校：岡山市立石井中学校・岡山市立高島中学校
岡山市立桑田中学校・岡山市立御津中学校

○人権教育での取り組み（授業）

人権教育の中で精神疾患について学び、正しい知識を得ることを目的に授業を実施する。

中学校名	授業回数	対象
岡山市立高島中学校	2回	2年生 189名
岡山市立石井中学校	2回	2年生 126名
岡山市立桑田中学校	3回	1年生 251名
岡山市立御津中学校	2回	2年生 61名

○専門研修（教職員対象）

精神疾患に関する理解を深め、早期支援に必要な知識を得るために教職員を対象に専門研修を実施する。

中学校名	回数	参加人数
岡山市立高島中学校	1回	10名
岡山市立石井中学校	1回	120名
岡山市立桑田中学校	1回	150名
岡山市立御津中学校	1回	20名

○実践評価検討会

精神科医、教育委員会、学校関係者などで学習内容などの評価検討を行う。

中学校名	回数	参加者(実人数)	参加者(延人数)
岡山市立高島中学校	2回	11名	21名
岡山市立石井中学校	2回	8名	15名
岡山市立桑田中学校	2回	14名	27名
岡山市立御津中学校	2回	7名	13名

○専門相談

精神疾患の疑いのある生徒に関して生徒自身やその家族、または教員に対し、精神科医などを派遣し専門相談を実施する。

- ・平成28年度：実施校なし

(5) 児童思春期精神保健対策事業

○思春期精神保健専門研修会

開催回数：2回 参加者数（延）：104人

○思春期精神保健事例に対するケースマネジメント

さまざまな思春期の問題に効果的な支援を行うため、教育・保健・医療・福祉・司法等の関係機関が連携しながら多職種の有機的な連携を支援するためケースマネジメントを行う。

- ・件数 6件
- ・アセスメント会議 回数：15回

○当事者グループ活動

開催回数：1回 参加人数：1人（延）

(6) ひきこもり対策推進事業

岡山市ひきこもり地域支援センターにおいて、ひきこもり本人や家族等への支援を実施する（一部事業は社会福祉法人あすなろ福祉会へ委託）。

○相談支援

・延べ相談件数 平成 28 年度

電話相談	来所相談	訪問
1,428	642	234

・対応ケース数（実）：193 ケース

（対象者男女別） 平成 28 年度

男性	女性	計
150	43	193

（対象者年齢別） 平成 28 年度

19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計
23	89	52	27	2	0	193

○家族教室（全 2 回）

参加者数：49 人（延）

○ひきこもりサポーター派遣事業

・ひきこもりサポーター養成セミナー（全 2 回）

参加者数：サポーター希望 13 名

・ひきこもりサポーター

平成 28 年度登録人数 15 名

○居場所・就労支援（委託）

利用者数 19 人（実）

○ひきこもり支援従事者研修（委託）

開催回数：1 回 参加者数：48 人

○ミニ交流会

実施回数：3 回 参加者数 11 人（延）

(7) 依存症対策推進事業

○職域依存症対策推進事業

働き盛りの時期の多量飲酒者に早期に介入し、依存症への移行を予防するための対策を推進する。

・アルコール依存症予防早期介入実践プログラム「おいしくお酒を飲むための教室」の実施

プログラムA （初期介入プログラム） 講義＋グループワーク			フォローアップ （継続的介入プログラム） グループワーク			プログラムB 講義		
事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数
9	10	223	3	3	51	3	3	147

- ・職域依存症対策推進事業評価検討（プログラム検討班）会議 開催回数：1回
 - 一般医療機関・アルコール専門病院ネットワーク化事業
 - 一般医療機関とアルコール専門病院の連携により、一般医療機関を受診するアルコール関連問題を有する患者を、より早期にアルコール専門医療に導入するためのネットワークシステムを構築する。
 - ・一般医療機関アルコール専門研修 開催回数：1回 参加者数：104人
 - ・事例に学び事例でつながるアルコール専門研修 開催回数：3回 参加者数：317人
 - ・岡山アルコール依存症早期支援ネットワーク会議 開催回数：5回
- ※うち1回は調査ワーキング会議

- 薬物関連対策
 - 薬物依存に関する知識の習得と関係機関の連携体制を構築する。
 - ・薬物依存対策研修 開催回数：1回 参加者数：29人
 - ・薬物依存対策推進会議 開催回数：1回

(8) 自殺予防情報センター事業

(※平成29年4月1日から「地域自殺対策推進センター事業」に変更)

平成21年度から取り組んできた自殺予防対策の業務内容を継続・強化し、自殺ハイリスク者支援を行うため、平成27年4月に「岡山市自殺予防情報センター」を開設した。

- 相談支援
 - ・対応事例数（実）：70
 - ・相談件数（延）

来所	訪問	電話	関係機関からの相談
173	171	403	178

- 機関連携
 - ・救急外来への巡回相談・・・岡山市内9病院（延）25回
 - ・精神科病院への巡回相談・・・岡山市内1病院（延）1回
 - ・警察署への巡回相談・・・（延）3回
 - ・自殺未遂者・希死念慮者に対する相談支援モデル事業（弁護士派遣事業）・・・4件
 - ・暮らしとところの相談会の開催・・・2回（実）13人（延）13人
- 人材育成
 - ・自殺予防のための支援者研修会 開催回数：1回 参加者数：67人
 - ・自殺予防対策ゲートキーパー研修 講師派遣回数：2回 受講者数（延）：300人
- 自死遺族支援
 - ・わかちあいの会（自死遺族の集い）の開催
 - 毎月1回開催 参加人数（実）4人（延）11人
 - ・自死遺族交流会の開催
 - 開催回数：1回 参加者数：4人
- うつ病集団認知行動療法プログラム 1クール全8回 参加人数（実）：7人

3 こころの健康についての普及啓発

支援者に対し、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識について普及啓発を行う。

内 容	参加者数
こころの健康講演会 それってボーダーライン？ ～境界性人格障害と発達障害の違いと対応～	209 人

4 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定、発行

精神疾患により通院が必要な患者の医療費の自己負担割合が原則 1 割となる制度。こころの健康センターにおいて、支給認定及び受給者証発行業務を行っている。

(平成 29 年 3 月 31 日現在 支給認定者数)

障 害 名	ICDカテゴリー	人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	396
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	339
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	F2	3,586
気分(感情)障害	F3	3,852
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	1,532
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	73
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	52
精神遅滞(知的障害)	F7	109
心理的発達の障害	F8	1,308
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	F9	321
てんかん	G4	667
その他の精神障害	F99	0
合 計		12,235

5 精神障害者保健福祉手帳の判定、発行

一定の精神障害のある方に対して、その障害を認定して手帳を交付することにより、各種の支援が受けられ、自立と社会参加の促進を図ることを目的とした制度。こころの健康センターにおいて判定及び手帳発行業務を行っている。

(平成 29 年 3 月 31 日現在 手帳所持者数)

等 級	1級	2級	3級	合計
人 数	469	3,083	1,731	5,283

6 精神医療審査会の運営

自発的意思によらず入院している精神障害者（措置入院、医療保護入院）の人権に配慮し、適正な医療及び保護を確保するために、患者の入院の適否、処遇等について専門的かつ独立的に審査を行う機関。医療委員 18 名、法律家委員 8 名、有識者委員 8 名で構成される。こころの健康センターに事務局を置く。又、精神科病院の病棟からの専用電話回線を事務局内に設置し、患者からの病院での処遇等に関する相談にのっている。

(1) 精神医療審査会審査件数 平成 28 年度

種 類	件 数
措置入院者の定期病状報告	11
医療保護入院者の定期病状報告	1,124
医療保護入院届	2,433
退院請求	67
処遇改善請求	6

(2) 専用電話回線による入院患者からの相談延件数 575 件

III その他

1 精神科救急医療体制整備事業

緊急な医療を必要とする精神障害者等のための精神科救急医療体制を確保するため、次の事業を実施している。（岡山県と共同実施）

(1) 精神科救急情報センター事業

本人、家族、警察、消防機関等からの電話による救急相談や診察・入院依頼等を早期に最も適切な救急医療に結びつけるために、県下の救急医療情報や急患の発生状況を収集し、緊急な対応を要する精神障害者等に関する相談及び指導を行うとともに、必要に応じて情報の提供や利用者と医療機関等との連絡調整を行っている。

ア 運営時間

休日（土曜日を含む）：午前 8 時 30 分～翌日の午前 8 時 30 分

平日：午後 5 時～翌日の午前 8 時 30 分

イ 実施主体

岡山県及び岡山市（委託先：地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

ウ 運営体制

医師 1 名（オンコール）・医療スタッフ 2 名・事務職 1 名

エ 相談者数

年度	市内在住	市外在住（県内）	県外	不明	計
26	697	467	36	787	1,987
27	1,232	868	35	1,424	3,559
28	1,176	972	39	1,330	3,517

(2) 精神科病院群輪番体制整備事業

休日及び夜間に緊急な対応を要する精神障害者に対して、迅速かつ適切な医療を提供するため、精神科病院群の輪番体制により、休日及び夜間の診療体制を確保している。

ア 運営時間

休日：午前 8 時 30 分～翌日の午前 8 時 30 分

平日：午後 6 時～翌日の午前 8 時 30 分

イ 当番病院

県内を県南・県北の 2 圏域に分け、各圏域に 1 か所ずつ精神科病院による当番病院を置き、岡山県精神科医療センターが全体のバックアップを行う。

区分	当番病院	圏域構成市町村
県南圏域	河田病院、慈圭病院、林病院、万成病院、山陽病院、倉敷仁風ホスピタル、ももの里病院 (7病院)	岡山市、倉敷市、玉野市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、総社市、笠岡市、井原市、浅口市、吉備中央町、和気町、早島町、里庄町、矢掛町 (10市5町)
県北圏域	たいよの丘ホスピタル、向陽台病院、積善病院、希望ヶ丘ホスピタル (4病院)	津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町 (5市5町2村)

ウ 当番病院において入院に至った相談者数（平成 28 年度）

(単位：人)

区分	市内在住	市外在住	県外在住	不明	計
県南圏域	39	35	7	0	81
県北圏域	1	36	1	0	38
計	40	71	8	0	119

(3) 精神科救急常時対応型医療施設事業

24 時間 365 日、重度の症状を呈する精神科急性期患者に対応するため、地方独立行政法人岡山県精神科医療センターに医師や看護師を常時配置し、病床を確保することで、休日及び夜間の診療体制を確保している。

ア 運営時間

休日：午前 8 時 30 分～翌日の午前 8 時 30 分

平日：午後 6 時～翌日の午前 8 時 30 分

イ 実施主体

岡山県及び岡山市（委託先：地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

ウ 入院に至った相談者数

(単位：人)

年度	市内在住	市外在住	県外在住	不明	計
28	228	119	15	1	363

2 精神科病院に対する実地指導及び実地審査

精神科病床を有する病院を対象に、精神保健福祉法及び通知等が遵守され、入院患者の人権に配慮した適正な精神医療が提供されるよう審査・調査し、指導を行っている。

○ 実施回数:定期8回、臨時4回

病院名	精神科 病床数(床)	応急入院 病床数(床)	病院名	精神科 病床数(床)	応急入院 病床数(床)
岡山県精神科医療センター	216	36	万成病院	500	15
岡山大学病院	34	0	岡山ひだまりの里病院	180	0
慈圭病院	570	20	林道倫精神科神経科病院	278	10
河田病院	648	30	山陽病院	204	10

(H29. 3. 31 現在)

3 岡山市認知症疾患医療センター

地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、岡山市認知症疾患医療センターを指定している。

指 定 先 岡山赤十字病院 (岡山市北区青江二丁目 1 番 1 号)

指定期間 平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

※最初の指定年月日 平成 23 年 10 月 1 日

事業内容 鑑別診断や急性期対応など認知症専門医療の提供、認知症に関する医療相談など

平成 28 年度実績

○鑑別診断件数：644 件

○専門医療相談件数：電話相談 456 件 面接相談 187 件

4 岡山市障害者生活支援センター “こらーれ” (平成 28 年度分)

地域で生活する障害者の日常生活の相談支援、日中活動の場の提供、地域交流事業、普及啓発活動などを行い、障害者の地域生活支援、社会参加を支援している。

○ 施設利用状況 登録者数 19 人 (未登録者あり) 延利用者数 3,082 人

○ 相談支援状況 延相談件数 1,997 件

・面接 1,178 件 ・電話 325 件 ・訪問 447 件 ・時間外相談件数 49 件 ・サテライト相談 0 回

○ 日中活動の場 ・ミニ作業・奉仕活動・趣味の会 ・食事づくりの日等 180 回

○ ボランティア活動支援 25 回

○ 組織育成・他団体との連携

・家族会 21 回 ・当事者会 0 回 ・作業所等 20 回 ・個別支援会議・連携会議 104 回

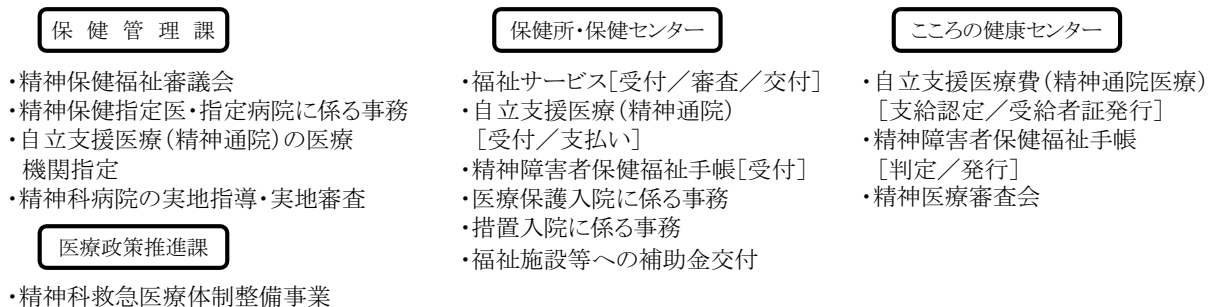
○ 普及啓発 ・機関紙発送 13 回 ・地域交流会 11 回

5 岡山市精神保健事業の体系

(平成29年4月1日現在)



【その他の精神保健福祉法・障害者総合支援法関連業務】



第5節 特定保健対策事業

原因が不明で治療法が確立されていない、いわゆる難病の患者及びその家族に対して、また原子爆弾被爆者に対して、各種施策を実施している。

1 難病対策事業

(1) 医療費等の助成制度

ア 特定疾患治療研究事業による医療費助成

特定疾患治療研究事業に指定されている4疾病の医療費を助成する特定疾患医療受給者証交付申請書の受付等を行う。

特定疾患治療研究事業年度末人員(平成29年3月末現在)

疾病	認定患者数
スモン	33
難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
重症急性膵炎	1
プリオン病	0
合計	34

イ 特定医療費（難病法）による医療費助成

「難病の患者に対する医療費に関する法律」が平成27年1月1日から施行されたことに伴い、306疾病の医療費を助成する特定医療費（指定難病）支給認定申請書の受付等を行う。

特定医療費（指定難病）年度末人員（平成29年3月末現在）

疾病		患者数	疾病		患者数	疾病		患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	55	再発性多発軟骨炎	3	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
2	筋萎縮性側索硬化症	52	56	ベーチェット病	105	110	ブラウ症候群	0
3	脊髄性筋萎縮症	4	57	特発性拡張型心筋症	290	111	先天性ミオパチー	0
4	原発性側索硬化症	0	58	肥大型心筋症	38	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
5	進行性核上性麻痺	93	59	拘束型心筋症	0	113	筋ジストロフィー	28
6	パーキンソン病	964	60	再生不良性貧血	67	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
7	大脳皮質基底核変性症	31	61	自己免疫性溶血性貧血	8	115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
8	ハンチントン病	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	116	アトピー性脊髄炎	0
9	神経有棘赤血球症	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	143	117	脊髄空洞症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	118	脊髄髄膜瘤	0
11	重症筋無力症	156	65	原発性免疫不全症候群	9	119	アイザックス症候群	0
12	先天性筋無力症候群	0	66	IgA腎症	64	120	遺伝性ジストニア	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	119	67	多発性嚢胞腎	43	121	神経フェリチン症	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	45	68	黄色靱帯骨化症	29	122	脳表へモジゲリン沈着症	0
15	封入体筋炎	4	69	後縦靱帯骨化症	329	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
16	クロウ・深瀬症候群	2	70	広範脊柱管狭窄症	74	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
17	多系統萎縮症	74	71	特発性大腿骨頭壊死症	133	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	120	72	下垂体性ADH分泌異常症	9	126	ペリー症候群	0
19	ライソゾーム病	1	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	127	前頭側頭葉変性症	7
20	副腎白質ジストロフィー	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	12	128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
21	ミトコンドリア病	8	75	クッシング病	4	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0
22	もやもや病	120	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	130	先天性無痛無汗症	0
23	プリオン病	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	24	131	アレキサンダー病	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	78	下垂体前葉機能低下症	77	132	先天性核上性球麻痺	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2	133	メビウス症候群	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	80	甲状腺ホルモン不応症	0	134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
27	特発性基底核石灰化症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5	135	アイカルディ症候群	0
28	全身性アミロイドーシス	20	82	先天性副腎低形成症	0	136	片側巨脳症	0
29	ウルリッヒ病	0	83	アジソン病	0	137	限局性皮質異形成	0
30	遠位型ミオパチー	2	84	サルコイドーシス	144	138	神経細胞移動異常症	1
31	ベスレムミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	67	139	先天性大脳白質形成不全症	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	24	140	ドラベ症候群	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
34	神経線維腫症	20	88	慢性血栓性肺高血圧症	31	142	ミオクロニー欠神てんかん	0
35	天疱瘡	30	89	リンパ脈管筋腫症	6	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
36	表皮水疱症	2	90	網膜色素変性症	85	144	レノックス・ガストー症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	14	91	バッド・キアリ症候群	0	145	ウエスト症候群	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	92	特発性門脈圧亢進症	1	146	大田原症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0	93	原発性胆汁性肝硬変	164	147	早期ミオクロニー脳症	0
40	高安動脈炎	36	94	原発性硬化性胆管炎	6	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
41	巨細胞性動脈炎	0	95	自己免疫性肝炎	31	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
42	結節性多発動脈炎	23	96	クローン病	303	150	環状20番染色体症候群	0
43	顕微鏡的多発血管炎	77	97	潰瘍性大腸炎	1,089	151	ラスマッセン脳炎	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	19	98	好酸球性消化管疾患	5	152	PCDH19関連症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
46	悪性関節リウマチ	23	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	154	徐波睡眠期持続性徐波を示すてんかん性脳症	0
47	バージャー病	45	101	腸管神経節細胞僅少症	0	155	ランドウ・クレフナー症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	156	レット症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	329	103	CFC症候群	0	157	スタージ・ウェーバー症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	137	104	コステロ症候群	0	158	結節性硬化症	2
51	全身性強皮症	185	105	チャージ症候群	0	159	色素性乾皮症	0
52	混合性結合組織病	45	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	160	先天性魚鱗癬	0
53	シェーグレン症候群	44	107	全身型若年性特発性関節炎	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
54	成人スチル病	10	108	TNF受容体関連周期性症候群	1	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10

	疾 病	患者数	疾 病	患者数	疾 病	患者数	
163	特発性後天性全身性無汗症	2	左心低形成症候群	1	259	リンチンコレステロールアシトランスフェラーゼ欠損症	0
164	眼皮膚白皮症	0	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
167	マルファン症候群	1	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
169	メンケス病	0	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
170	オクスピタル・ホーン症候群	0	アルポート症候群	4	266	家族性地中海熱	0
171	ウィルソン病	4	ギャロウエイ・モト症候群	0	267	高IgD症候群	0
172	低ホスファターゼ症	0	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
173	VATER症候群	0	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
174	那須・ハコラ病	0	一次性ネフローゼ症候群	44	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
175	ウィーバー症候群	0	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	11
176	コフィン・ローリー症候群	0	紫斑病性腎炎	7	272	進行性骨化性線維異形成症	0
177	有馬症候群	0	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	1
179	ウィリアムズ症候群	0	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0
180	ATR-X症候群	0	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	1
181	クルーゼン症候群	0	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
182	アペール症候群	0	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(顔部顔面病変)	0
183	ファイファー症候群	0	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(顔部口腔咽頭びまん性病変)	1
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(顔部顔面又は四肢病変)	0
185	コフィン・シリス症候群	0	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
187	歌舞伎症候群	0	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
188	多脾症候群	0	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
189	無脾症候群	0	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
190	鰓耳腎症候群	0	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
191	ウェルナー症候群	2	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
192	コケイン症候群	0	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
194	ソトス症候群	0	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
195	ヌーナン症候群	0	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプリング病(全結腸型又は小腸型)	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
197	1p36欠失症候群	0	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
198	4p欠失症候群	0	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
199	5p欠失症候群	0	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
201	アンジェルマン症候群	0	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
203	22q11.2欠失症候群	0	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
204	エマヌエル症候群	1	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
205	脆弱X症候群関連疾患	0	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
206	脆弱X症候群	0	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
207	総動脈幹遺残症	0	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
208	修正大血管転位症	0	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
209	完全大血管転位症	0	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
210	単心室症	1	ガラクトース-1-リン酸クリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	40
						合計	6,527

特定医療費（指定難病）年齢別年度末人員（平成29年3月末現在）

0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
4	73	298	545	932	841	1,314	2,520	6,527

- ウ スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業
 スモン患者のはり、きゅう等の施術費を助成する治療受給申請書の受付等を行う。
 ○申請者数：10人（平成28年度）

(2) 地域療養の支援

- ア 保健師等による相談人数（延） 平成28年度

面 接	電 話
7,950	3,631

- イ 在宅療養支援計画策定・評価事業

難病患者に対し、個々の実態に応じて、きめ細かな支援を行うため、関係機関のスタッフが共同で在宅療養支援計画を作成し、各種サービスの適切な提供に努めている。

また、支援計画については、適宜、評価を行い、その改善を図っている。

- 開催回数：23回（平成28年度）

- ウ 訪問相談事業

在宅の難病患者・家族が抱える日常生活上及び療養上の問題について、個別の相談、指導、助言等を行うため、保健師や看護師等を派遣している。

- 訪問人数：実人数52人、延人数168人（平成28年度）

- エ 医療相談事業

難病患者等の療養上の不安の解消を図り、適切な情報を提供するため、難病に関する専門の医師、社会福祉士等による医療福祉相談を実施している。

平成28年度

実施回数	参加実人員
5回	31人

- オ 訪問指導（診療）事業

在宅の難病患者やその家族に対して、在宅療養に必要な医学的指導等を行うため、専門の医師、対象疾患の主治医、保健師、看護師、理学療法士等による訪問指導（診療）班を構成し、訪問指導（診療）事業を実施している。

- 訪問人数：実人数2人、延人数2人（平成28年度）

- カ 難病患者・家族のつどい

南保健センター管内の女性難病患者会を支援している。（ふる一つの会）

平成28年度

実施回数	参加実人員	参加延人員
8回	8人	52人

(3) 福祉施策の推進

障害者総合支援法の規定に基づき、難病患者等の障害福祉サービス等の申請及び支給認定を行っている。

平成 28 年度

	介護給付		訓練等給付		地域相談支援給付		補装具
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	
決定数	3	10	9	12	0	0	5
合計	13		21		0		5

	地域生活支援事業		
	日常生活用具	その他	
		新規	更新
決定数	29	2	4
合計	35		

(4) 患者会への支援

各患者会が研修会を開催する際に講師を派遣している。

○開催回数：4回（SCD・MSA 友の会、リウマチ友の会、膠原病友の会、岡山県難病団体連絡協議会）

(5) 小児慢性特定疾病

治療が長期間に及び、医療費の負担も高額となる小児慢性特定疾病について、対象疾病をもつ 18 歳未満の児童（継続して治療を要する場合は、20 歳未満まで延長あり）を対象として、治療研究を推進することにより、医療の確立と普及を図る。併せて患者家族の医療費の負担軽減を図ることを目的として、医療費の自己負担部分を公費負担している。（所得に応じた自己負担あり）

また、児童の健全育成、福祉の向上に役立てるため、「小児慢性特定疾病児手帳」を希望者に交付している。

平成 27 年 5 月から岡山市小児慢性特定疾病児童等相談支援センターを開設し、相談事業等も実施している。

◎ 小児慢性特定疾病認定患者数

疾病 年度	総数	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	先天異常症候	皮膚疾患
28	787	73	38	16	86	350	24	42	12	17	8	75	36	8	2

◎ 日常生活用具給付事業 平成 28 年度

利用実人数	4 人
給付品目	4 品目

(6) 心臓病児医療附帯療養費支給人数

年度	支給人数
27	8人
28	5人

2 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対して、健康の保持増進を図るため健康診断を実施するとともに、手帳及び手当等に関する各種申請を受付けている。(手帳の交付・手当の支給は県)

(1) 被爆者健康手帳交付状況

平成28年度

区 分	人 数
被爆者健康手帳交付者数	633
健康診断受診者証交付者数	4

(2) 被爆者健康診断実施状況

年度	区分	一 般 検 査			精 密 検 査			
		対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	
27	一般健康診断	第1回	663	151	22.7	18	5	27.7
		第2回	645	129	20.0	20	4	20.0
		計	1,308	280	21.3	38	9	23.8
	がん検診	645	103	15.9	23	7	30.4	
28	一般健康診断	第1回	627	135	21.5	9	4	44.4
		第2回	596	112	18.7	10	3	30.0
		計	1,223	247	20.2	19	7	37.2
	がん検診	596	81	13.5	26	1	3.8	

(3) 各種手当の支給状況

平成28年度

区 分	実 人 数
医 療 特 別 手 当	14
特 別 手 当	6
原 子 爆 弾 被 爆 者 小 頭 症 手 当	0
健 康 管 理 手 当	460
保 健 手 当	36
介 護 手 当	2
葬 祭 料	48

第6節 感染症対策事業

各種感染症の発生及びまん延を予防するとともに感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うために各種事業を実施している。

1 予防接種事業

予防接種法第5条第1項に基づき、A類疾病の定期接種としてBCG・ポリオ・四種混合・三種混合・二種混合・麻しん・風しん・日本脳炎・子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌・水痘・B型肝炎を、またB類疾病の定期接種としてインフルエンザ・高齢者用肺炎球菌を個別接種方式で実施している。

B型肝炎は、平成28年10月から法定接種化となった。

A類疾病の予防接種の実施状況

(単位：件)

種別	年度		27	28	接種の対象者及び方法	
B	C	G	6,384	6,309	生後0か月～12か月未満	
B型肝炎	1回目			4,730	生後0か月～12か月未満 27日以上の間隔をおいて2回接種後、1回目から139日以上の間隔をおいて3回目を接種 ※平成28年10月～開始	
	2回目			4,119		
	3回目			1,422		
四種混合 百日せき ジフテリア 破傷風 ポリオ	I期	初	1回目	6,457	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） ※平成24年11月～開始	
		回	2回目	6,481		6,320
		回	3回目	6,532		6,347
		追 加	6,101	6,415		
三種混合 百日せき ジフテリア 破傷風	I期	初	1回目	52	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける）	
		回	2回目	54		0
		回	3回目	68		2
		追 加	194	11		
二種混合 ジフテリア 破傷風	I期	初 回	0	0	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） II期：11～13歳未満 ※但しI期初回、I期追加については三種混合が受けられない人が対象	
		追 加	0	0		
	II期	3,789	4,215			
ポリオ	I期	初	1回目	88	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） ※平成24年9月～開始	
		回	2回目	203		89
		回	3回目	272		125
		追 加	649	306		
麻しん・風しん	I期		6,235	6,153	I期：生後12か月～24か月未満 II期：5歳以上7歳未満の人であって、小学校就学前の1年間にある人 ※麻しん単独、風しん単独の接種も可	
	II期		6,028	6,135		
麻しん	I期		2	1		
	II期		5	31		
風しん	I期		11	10		
	II期		4	30		
日 本 脳 炎			23,792	26,267		I期初回：生後6か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後約1年あける） II期：9～13歳未満 ※実施期間は4～6月が望ましい ※平成23年5月20日から積極的勧奨差し控えによる未接種者（H7.4.2～H19.4.1生まれ）への特例措置開始
子宮頸がん			108	65		小学6年生(12歳相当)～高校1年生(16歳相当)の女子、3回接種

種別	年度	27	28	接種の対象者及び方法
ヒブ		25,808	25,065	生後2月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種後7月以上の間隔で1回接種
小児用肺炎球菌		25,703	25,182	生後2月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種から60日以上の間隔で1回接種
水痘		13,884	11,768	1歳以上3歳未満 (標準的な接種) 1回目接種後6ヶ月から1年の間隔をおいて2回目を接種 *平成26年度のみ経過措置 3歳以上5歳未満(1回接種)

B類疾病の予防接種の実施状況

(単位：人)

種別	年度	27	28	接種の対象者及び方法
インフルエンザ		83,265	86,751	・満65歳以上 ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)
高齢者用肺炎球菌		11,766	13,872	・当該年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人 (平成26年度のみ100歳以上の人も対象) ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)

2 感染症対策事業

感染症の予防知識を普及するため啓発活動に努めているほか、発生動向を医療機関の協力を得るなどして調査し関係機関に情報提供している。感染症発生時には患者等の人権尊重に配慮した疫学調査、健康診断及び消毒等の実施、必要時病原体検査等実施している。また、必要に応じ入院を勧告し患者を指定医療機関に搬送している。

感染症発生動向調査の対象感染症は全数把握感染症(1, 2, 3, 4類感染症及び5類のうち全数把握対象)と特定の医療機関を指定して調査する定点把握感染症(5類のうち定点把握対象)に分類される。

法改正により、平成26年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」、「水痘(入院例に限る)」、「播種性クリプトコックス症」が全数把握対象疾患(5類感染症)に追加され、「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更された。

平成27年1月21日、「中東呼吸器症候群」、「鳥インフルエンザ(H7N9)」が、指定感染症から全数把握対象疾患に変更となった。平成28年2月15日、「ジカウイルス感染症」が、四類感染症に追加された。

(1) 感染症予防対策

- 健康教育等による啓発活動・・・各地区における活動として
愛育委員、おやこクラブ、栄養委員、元気の出る会、民生委員、また一般市民を対象にして、0157、インフルエンザ等の予防について啓発を行った。

(2) 一、二類感染症発生状況（平成 28 年中に届出があったもの）

区分	一類 感染症	二類感染症						
		急性灰 白髄炎	結核	ジフテ リア	重症急性 呼吸器症候群 (SARS に限る)	中東呼吸器 症候群 (MERS に限る)	鳥インフ ルエンザ (H5N1)	鳥インフ ルエンザ (H7N9)
届出数	0	0	77	0	0	0	0	0

(3) 三類感染症（5 疾病）発生状況（平成 28 年中に届出があったもの）

感染症名	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
届出数	0	0	20	0	0

(4) 病原体検査実施状況

年度 区分		28							
		赤痢菌		腸管出血性大腸菌		腸チフス		インフルエンザ	
		検体	陽性	検体	陽性	検体	陽性	検体	陽性
総	数	0	0	95	7	0	0	38	28
患	者等	0	0	28	4	0	0	38	28
接	触者	0	0	67	3	0	0		

(5) 四、五類感染症発生状況（平成 27, 28 年中に届出があったもの）

ア 全数把握対象

四類感染症	27	28	五類感染症	27	28
A 型肝炎	4	1	アメーバー赤痢	11	11
E 型肝炎	2	1	ウイルス性肝炎 (A・E 型以外)	6	1
日本紅斑熱	2	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	24	21
日本脳炎	0	1	急性脳炎 (ウエストナイル・日本脳炎以外)	11	10
テング熱	1	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	2
マラリア	2	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3
レジオネラ症	7	13	後天性免疫不全症候群	7	6
合計	18	16	ジアルジア症	4	0
			侵襲肺炎球菌感染症	13	11
			水痘 (入院例に限る)	3	2
			梅毒	14	24
			播種性クリプトコックス症	0	2
			破傷風	0	2
			合計	95	95

イ 定点把握対象（五類）

32 の医療機関から週報又は月報により対象 26 疾病の発生動向を調査している。

平成 28 年中の報告数（1 定点あたり年間件数）

(小児科14施設)		(内科8 小児科14施設)		(基幹1施設)	
咽頭結膜熱	22.3	インフルエンザ(鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ除く)	238.0	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌・肺炎球菌・インフルエンザ菌を除く)	0.0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36.8	(眼科5施設)		無菌性髄膜炎	3.0
感染性胃腸炎	360.0	急性出血性結膜炎	0.8	マイコプラズマ肺炎	16.0
水痘	21.1	流行性角結膜炎	14.4	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1.0
手足口病	31.9	(STD5施設)		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19.0
伝染性紅斑	14.3	性器クラミジア感染症	20.0	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.0
突発性発しん	31.1	性器ヘルペスウイルス感染症	8.0	薬剤耐性緑膿菌感染症	1.0
百日咳	0.1	尖形コンジローマ	14.4	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	16.0
ヘルパンギーナ	48.7	淋菌感染症	5.0		
流行性耳下腺炎	85.1				
RSウイルス感染症	32.0				

ウ 社会福祉施設等における感染症等の発生時対応

通常の発生動向を上回る感染症の発生が疑われた場合など、社会福祉施設等からの報告を受け、積極的疫学調査の実施と衛生上の指導を行っている。

平成 28 年度 相談件数

種 別	感染性胃腸炎			インフルエンザ			その他			
	相談件数	立ち入り施設数		相談件数	立ち入り施設数		相談件数	立ち入り施設数		
		実数	延べ		実数	延べ		実数	延べ	
介護・老人福祉関係施設	特別養護老人ホーム	3	0	0	10	0	0	0	0	0
	養護老人ホーム	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	認知症グループホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料老人ホーム	0	0	0	4	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	3	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設	保育園	17	0	0	46	0	0	7	0	0
	乳児院・児童院等	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	15	0	0	1	0	0	
合計	20	1	1	79	0	0	8	0	0	

3 結核予防事業

結核予防法が廃止となり、結核は平成 19 年 4 月 1 日に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で二類感染症に位置づけられた。法律に基づき、結核患者の登録管理及び医療費の公費負担を行うとともに、接触者の健康診断及び一般の方の定期健診を実施し早期発見に努めている。

結核登録者数

区分 年次	人 口	新登録患者						別掲 転 入	登録除外者						年末現在登録数											
		患者 総 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 活 動 性	り 患 者 率		潜 在 性 結 核 感 染 症	除 外 総 数	死 亡 結 核	治 癒 他 症	転 出 症	そ の 他	登 録 者 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 活 動 性	不 明 率						
			喀 痰 塗 布 陽 性	そ の 他 の 菌 陽 性	計											登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性	登 録 時 そ の 他 の 菌 陽 性	計								
																					陰 性	・ そ の 他	登 録 時 菌 陰 性	・ そ の 他		
26	714,583	94	32	23	55	18	21	13.2	61	13	97	8	25	47	6	7	4	237	21	18	39	12	10	176	0	33.2
27	707,472	81	36	20	56	11	14	11.4	57	3	121	6	33	65	12	3	2	210	25	14	39	8	10	153	0	29.7
28	708,709	77	28	15	43	14	20	10.9	49	9	82	8	14	44	6	7	3	217	18	15	33	7	14	163	0	30.6

(1) 健康診断

患者発見のため、事業所、学校及び施設においてはその長及び事業者が、それ以外の一般住民については市長が実施義務者となり、また患者の接触者に対しては、市長が実施責任者となって接触者健康診断を実施している。

ア 健康診断実施状況（法第 53 条の 2 第 3 項）

（単位：人）

区分 年度	定期健康診断(法第53条の2第3項)									
	対 象 者 数	間 接 撮 影 者 数	直 接 撮 影 者 数	受 診 者 数	要 精 密 検 査 者 数	精密検査			被発見者数	
						直 接 撮 影 者 数	断 層 撮 影 者 数	喀 痰 検 査 者 数	結 核 患 者 数	あ ら わ れ た 結 核 発 病 の お お ろ そ の 他 の 者 が
26	188,725	11,099	44,447	55,546	622	-	-	-	0	0
27	189,218	11,024	47,189	58,213	492	-	-	-	0	0
28	189,515	9,755	44,181	53,936	327	-	-	-	0	0

イ 接触者検診実施状況（法第 17 条）

（単位：人）

区分 年度	受診者数					検診結果	
	保 健 実 施	所 分	受託医療機関 実 施 分	連 絡 の 票 他	計	結核患者数	*結核の発病のお それのあるもの
26	0	0	901	193	1,094	0	89
27	0	0	1,156	54	1,210	1	91
28	0	0	722	202	924	1	78

ウ 岡山市結核健康診断費等補助金交付状況（法第 60 条第 1 項）

○ 交付対象事業：学校又は施設（国公立の学校又は施設を除く）の長が実施する定期の健康診断

（法第 53 条の 2 第 1 項）。平成 19 年度から交付対象に直接撮影を追加。

○ 平成 28 年度交付施設数：79 施設

○ 平成 28 年度事業実施状況：受診者数 11,113 人

（間接撮影 6,567 人、直接撮影 4,546 人）

(2) 患者管理

結核患者の症状、受診状況を把握し、治癒できるように支援するとともに周囲への感染防止を図り、必要な者に対し管理検診を実施している。（法第 53 条の 13）

管理検診実施状況

（単位：人）

年度	受診者数					検診結果		
	保 実	健 施	所 分	受託医療機関 実 施 分	その他(H24年度 から連絡票を含 む)	計	結核患者数	結核の発病の おそれのあるもの
26			0	155	138	293	1	216
27			0	175	120	295	1	185
28			0	137	130	267	0	158

(3) 結核医療費

一般患者の医療費に対して（法第 37 条の 2）と、法第 19 条、20 条に基づく勧告・措置入院患者に対して（法第 37 条）、公費負担制度が設けられている。

ア 法第 37 条の 2 による医療費の公費負担件数（一般患者）

（単位：人）

年次	被用者保険						国民健康保険			生活保護法			後期高齢者医療			その他		
	本人			家族			申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認
	申請	合格	承認	申請	合格	承認												
26	40	40	40	7	7	7	31	31	31	7	7	7	58	58	58	1	1	1
27	23	23	23	7	7	7	37	37	37	9	9	9	61	61	61	0	0	0
28	22	22	22	9	9	9	33	33	33	8	8	8	51	51	51	0	0	0

平成 28 年度支払延件数・・・ 957 件

イ 第 37 条による医療費の公費負担件数（勧告・措置入院患者）

（単位：人）

年次	区分	前年末現在	本年承認数	本年解除件数	本年末現在
26		8	39	40	7
27		7	52	49	10
28		10	32	31	11

4 エイズ対策事業

エイズのまん延を防止するため、抗体検査やカウンセリング、正しい知識の普及啓発活動を実施している。

(1) エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座 (岡山市エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座実施要綱)

地域住民、学校、企業等がエイズに関する理解を深める学習会等を開催する場合に、専門講師(出前講座)や保健所職員等(ミニ講座)の派遣を行っている。

実施状況

年度	区分	出 前 講 座		ミ ニ 講 座	
		回 数	受 講 者 数	回 数	受 講 者 数
26		78	16,000	15	452
27		76	15,716	7	314
28		77	14,989	2	330

(2) エイズ対策研修会

男性同性間の性的接触による HIV 感染者、エイズ患者報告数が増加傾向にある。また、エイズは治療薬の進歩により慢性疾患化しており、患者への長期的な支援体制の整備が必要とされている。そのため、それぞれ医療関係者を対象に研修会を実施した。

岡山県・倉敷市と共催

日時：平成 28 年 4 月 26 日 (火) 13:30~16:30

「MSM 検査対応向上研修」

日時：平成 28 年 12 月 14 日 (水) 19:00~20:30

「HIV/エイズ患者の現状と地域で支えていくために」

(3) 世界エイズデーにおける普及啓発活動

世界エイズデー(12月1日)にあたり、エイズ・HIVに関する知識普及、感染予防の理解及び差別偏見の払拭などについて総合的かつ集中的な啓発活動を行っている。

平成 28 年度世界エイズデー啓発テーマ

AIDS IS NOT OVER~知っていても 分かっていても~

〔世界エイズデーin 岡山〕 大学祭において実施

日時：山陽学園大学 平成 28 年 10 月 22 日 (土)、23 日 (日) 11:00~17:00

中国学園大学 平成 28 年 10 月 15 日 (土)、16 日 (日) 11:00~15:00 (16日は14:00まで)

就実大学・就実短期大学 平成 28 年 10 月 22 日 (土) 11:00~14:00

内容：エイズカフェ、エイズキルト・パネル展示等

〔エイズキルト・パネル展示〕岡山市役所 1 階市民ホール

日時：平成 28 年 12 月 1 日 (木)・12 月 2 日 (金)

〔夜間無料エイズ・性感染症相談、検査〕岡山市保健所

日時：平成 28 年 12 月 5 日 (月) 17:00~20:00、12 月 6 日 (火) 17:00~20:00

(4) HIV 検査普及週間における普及啓発活動

HIV 検査普及週間（6月1日～6月7日）、利便性の高い検査体制の構築と、HIV 検査の浸透・普及啓発活動。

〔夜間無料エイズ・性感染症相談、検査〕岡山市保健所

日時：平成28年6月6日（月）17:00～20:00

6月7日（火）17:00～20:00

5 特定感染症検査等事業

HIV 抗体検査及びエイズに関する相談、C型肝炎検査、性感染症検査を同時に実施することで受検者の利便性を高め、これら感染症のまん延の防止及び発生の予防等を図るため実施している。

年度	区分	来所・電話による相談件数		抗体等検査数	
			うちエイズホットライン	検査内容	
27		1,856	873	エイズ	486
				クラミジア女性	140
				クラミジア男性	306
				淋菌	446
				梅毒	486
				B型肝炎	9
				C型肝炎	9
				合計(件)	1,882
28		1,580	649	エイズ	378
				クラミジア女性	80
				クラミジア男性	198
				淋菌	278
				梅毒	378
				B型肝炎	10
				C型肝炎	10
				合計(件)	1,332

(1) 特定感染症検査等事業

検査日時：第1・第3月曜日 13:00～16:00、第1・第3水曜日 9:00～12:00

第1月曜日（夜間即日検査）17:00～20:00

（平成18年2月から夜間検査、平成28年6月から夜間即日検査実施）

(2) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

ウイルス性肝炎のまん延防止及び治療対策の推進を図ることを目的とし、保健所と一次専門医療機関（122医療機関）でウイルス性肝炎検査を実施している。

年度	区分	保健所		一次専門医療機関		会場検査	
		B型	B型	C型	C型	B型	C型
26		5	311	311	5	-	-
27		9	1,122	1,125	9	-	-
28		10	792	359	360	433	433

第7節 地域保健活動

1 地区組織育成

市民が主体的に保健衛生活動に参加できるよう、ボランティア団体の育成支援を行っている。

(1) 岡山市愛育委員協議会

母子保健及び老人保健を中心に、訪問活動や健康相談・健康診査事業等への協力、市からの委託事業などを行っている。平成28年度は学区・地区愛育委員会数98学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	の一世受 人 帯 け あ 数 持 た ち り	主体活動					協力活動		委託活動	
			会議		研修会		訪問	回数	協力 委員数	回数	協力 委員数
			回数	参加人数(延)	回数	延人員	参加人数(延)				
27	5,605	56.1	1,998	39,950	985	21,959	348,306	5,912	24,036	2,215	26,395
28	5,555	57.3	2,030	38,497	919	19,918	394,751	5,921	23,314	2,212	25,905

(2) 岡山市栄養改善協議会

地区の食生活改善のための普及活動、健康教育への協力、市からの委託事業などを行っている。平成28年度の学区・地区栄養改善協議会数は86学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	一人あたりの 受け持ち 世帯数	主体活動		協力活動		委託活動	
			回数	参加人数(延)	回数	協力 委員数	回数	協力 委員数
27	1,847	171.2	2,619	116,702	59	958	440	3,558
28	1,878	169.4	2,914	115,655	59	945	455	3,747

2 保健師活動

地域の身近な相談者として、質の高い保健サービスが提供できるよう資質の向上や体制づくりに努めると共に、それぞれの健康レベルやライフステージに応じた保健活動とソーシャルキャピタルの醸成による市民主体の健康なまちづくりを推進している。

家庭訪問の稼働時間割合は12.63%であり、対象別訪問状況は8,763人であった。例年0.1~0.2%のその他の保健福祉事業は1.46%に増えた。稼働時間割合の一位を占める「ケア・コーディネーション」は平成27年度と同様程度であるが、そのうち「地域」の割合と研修参加が増えた。これらは、平成28年度4月17日より約2か月間、保健師27名が熊本震災派遣で被災地支援活動を行ったことや平成27年度から生活支援体制整備事業を通じて地域包括ケアシステムの構築をめざし、関係機関との地域のネットワークづくりに重点をおいて活動したことが大きいのではないかと考えられる。

対象別訪問状況では、母子保健(乳幼児・妊産婦・児童虐待)の延べ人数が約7割を占めており、平成27年度と同様の傾向である。

対象別活動状況では、個別コーディネイトの延べ人数の約5割を児童虐待が占めており、平成27年度(約3割)より増えた。

(1) 保健師活動状況

区分	年度	平成27年度 (6月・10月の2か月間集計)		平成28年度 (6月・10月の2か月間集計)	
		稼働時間	割合(%)	稼働時間	割合(%)
家庭訪問		4,622.5	15.48	3,441.5	12.63
機能訓練		21.0	0.07	15.0	0.06
グループワーク		555.5	1.86	483.5	1.77
健康相談		1,587.0	5.32	1,636.0	6.00
面接		5,056.0	16.93	4,304.0	15.79
電話					
組織育成		2,625.0	8.79	2341.0	8.59
健康教育		896.5	3.00	870.5	3.19
健康診査		1,676.5	5.62	1,577.0	5.79
ケア・コーディネーション	個別	2,952.5	9.89	2,422.5	8.89
	地域	5,617.0	18.81	5,478.5	20.10
地区管理		193.5	0.65	128.0	0.47
調査研究		183.0	0.61	165.0	0.61
研修企画		187.0	0.63	150.0	0.55
研修参加		1,101.5	3.69	1,912.0	7.01
業務管理		718.5	2.41	649.0	2.38
実習生指導		104.0	0.35	128.0	0.47
予防接種		25.0	0.08	4.0	0.01
業務連絡・事務		1,596.0	5.35	1,045.5	3.84
他の保健福祉事業		50.0	0.17	397.0	1.46
その他		87.0	0.29	109.0	0.40
計		29,855.5	100.00	27,257.0	100.00

*稼働時間は、平成26年度から6月・10月の2か月間集計

(2) 対象別訪問状況（延人数）

区分 年度	感	結	認	そ	ア	思	生	そ	未	新	乳	幼	児	妊	産	心	小	難	ね	そ	計
	染	核	知	の	ル	春	活	の	熟	生	児	児	童	婦	婦	身	児	病	た	の	
27	2	183	9	2,221	113	3	278	21	237	506	1,720	1,769	1,556	257	1,340	100	7	129	0	105	10,556
28	9	297	5	1,799	81	1	309	36	161	477	1,387	1,377	1,337	255	976	76	4	105	2	69	8,763

(3) 対象別活動状況 (延人数)

(人)

	家 庭 訪 問	面 接	電 話	健 康 相 談	健 康 診 査	健 康 教 育	グ ワ ル ー プ	機 能 訓 練	組 織 育 成	コーディネイト		計
										個 別	地 域	
感 染 症	8	315	902	0	0	9,787	0	0	0	70	92	11,174
結 核	297	337	2,604	0	0	0	0	0	0	780	325	4,343
エ イ ズ	1	583	701	0	0	30	0	0	0	16	46	1,377
妊 産 婦	1,231	1,995	1,447	0	0	0	0	0	0	593	153	5,419
乳 児	2,025	141	2,081	8,468	0	526	0	0	0	169	102	13,512
幼 児	1,377	370	5,171	286	12,040	0	1,216	0	10,629	521	455	32,065
児 童 虐 待	1,337	330	2,327	0	0	531	145	0	0	5,662	936	11,268
成人・高齢者	347	13,192	4,059	281	40	10,704	0	0	0	531	558	29,712
思 春 期	1	22	135	0	0	6,276	0	0	0	4	26	6,464
精 神 保 健	1,885	1,462	5,959	31	0	2,118	388	0	0	1,743	620	14,206
小児特定慢性疾患	4	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	12
心身障害児者	76	102	366	0	0	0	0	0	0	113	11	668
難 病	105	7,598	3,517	0	0	287	0	0	0	434	91	12,032
そ の 他	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
健 康 一 般	0	1,860	2,083	707	0	17,691	4,896	0	37,779	595	2,875	68,486
計	8,763	28,308	31,359	9,773	12,080	47,950	6,645	0	48,408	11,231	6,290	210,807

- ・保健所・保健センター、障害者生活支援センターの保健師活動状況をまとめたものである。
- ・ケア・コーディネーションとは、「保健・医療及び福祉の連携のもとで最適なサービスを総合的に提供するための調整を行う」ことである。

3 地域保健推進会議

住民・医療機関・保健・福祉関係者等から身近な意見を聞いたり、情報交換をすることにより地域特性をふまえた地域保健福祉活動を効果的総合的に推進するため、平成10年度から保健センター毎に設置した。

<委 員>

- (1) 保健・福祉・医療関係団体等
 - (2) 地区住民ボランティア組織等
 - (3) 保健・福祉行政機関職員
 - (4) その他地域で保健福祉活動をしている者
- 上記(1)～(4)から代表者を選出
任期は2年(再任を妨げない)

<開催状況>

各保健センターで年1回以上開催する。

※ 平成28年度各保健センター共通議題

- ① 保健センターの概況について
- ② 保健センターの重点活動について
- ③ 意見・情報交換
- ④ その他

※ 平成28年度保健センター別開催状況

保 健 セ ン タ ー	実 施 月 日	出 席 者 数
北 区 中 央	9月5日(月)	32人
北 区 北	9月6日(火)	26人
中 区	8月30日(火)	30人
東 区	9月1日(木)	33人
南 区 西	9月8日(木)	27人
南 区 南	8月31日(水)	26人